HITACHI
Inspire the Next

Prius
Bモデル

始めよう!
アプリケーション

マニュアルはよく読み、保管してください。

■製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

■このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

FLORA

こんな使い方ができます

このマニュアルでは、次のアプリケーションの紹介と立ち上げ方、簡単な使い方を説明しています。詳しい使い方は、各アプリケーションのヘルプをご参照ください。

お断り

- 機種によっては、付属していないアプリケーションもあります。あらかじめご了承ください。
- 本書では紹介していないアプリケーションもあります。これらのアプリケーションの使い方は、各アプリケーションのヘルプおよび付属のマニュアルをご参照ください。
- アプリケーションのお問い合わせ先は、『困った時のQ&A』をご参照ください。

アプリケーションの立ち上げについて P.5

わくわくナビ

インターネットやアプリケーションを楽しむ

わくわくナビ P.8

はがき

年賀はがきなどを作って、印刷

筆ぐるめ P.22

デジタル写真

デジタル写真を活用

デジカメNinja2001 P.39

エンターテインメント

動画の取り込み、編集

MotionDV STUDIO P.53

DVD-RAMの再生、編集
NO 770B DVD-ROM、570B、530B、200B

DVD-MovieAlbumSE P.60

DVD-RAMとハードディスク間でデータをコピー
NO 770B DVD-ROM、570B、530B、200B

DVD-MovieAlbum コピーツール P.62

DVDビデオの作成
NO 770B DVD-ROM、570B、530B、200B

DVDit! LE P.63

アナログ機器からの音楽の録音

PriusサウンドREC P.78

オリジナルCDを作成

Easy CD Creator P.80

DVDの再生
NO 770B

WinDVD P.89

インターネットおたすけソフト

ホームページを作成

ホームページNinja P.103

iモード用ホームページを作成

i-Maker for Win P.116

ゲーム

囲碁対局

囲碁 P.123

将棋対局

将棋 P.123

麻雀対戦

麻雀 P.124

NO このマークのあとのモデルには添付されていません。
例えば、「NO 770B DVD-ROM」では、770B DVD-ROMモデルには添付されていません。

未インストール このマークのあるアプリケーションは、インストールされていません。使うときは、インストールしてください。

参照 インストールの方法について→『パソコン応用』第4章の「アプリケーションのセットアップ」

重要なお知らせ

・使用している画面例は2002年１月現在のものです。
・セットアップされたアプリケーションは著作権法によって保護されています。セットアップされたパソコン以外にはコピーすることはできません。
・本書で使用されているアプリケーションの画面例は、出荷時のものと一部異なる場合があります。また、仕様は事前の予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
・本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

音楽

BeatJam XX-TREME
CDを編集する
P.70

BeatStream
ストリーミングファイルの映像・音声の再生
P.91

お役立ち

PriusAVランチャー
すぐにアプリケーションを立ち上げる
P.21

ラベル王
CDレーベルを作る
P.83

ハイパーダイヤ
旅先までの旅費を調べる
NO 570B、530B、200B
P.92

家庭の医学
病気や症状を調べる
NO 770B、570B、530B
P.96

Super Mapple Digital
地図で目的地を調べる
NO 770B、570B、530B
P.98

らくらく家計簿 ゆとりちゃん5
家計簿を作る
NO 570B、530B、200B
P.100

VirusScan 未インストール
コンピューターウイルスをチェック
P.121

専用マニュアルを参照するアプリケーション

次のアプリケーションは、専用のマニュアルもご参照ください。

Microsoft Office XP Personal
Word（ワープロソフト）、Excel（表計算ソフト）などが入っています。
参照 パッケージに添付のマニュアル

MotionDV STUDIO
カメラから動画を取り込み、編集します。
参照 「MotionDV STUDIO取扱説明書」

Prius Navistation
TVを見たり、録画します。770Bに入っています。
参照 『始めよう！ TVエンターテインメント』

3 このマニュアルの使い方

このマニュアルは、わくわくナビや筆ぐるめなどのアプリケーションを使うための案内書です。

ここでは、このマニュアルの使い方や読み進め方を説明します。

「アプリケーションを立ち上げよう」
アプリケーションの立ち上げ方や終わり方を説明します。

「便利なホームページを開こう」
ホームページをすぐに見れる「わくわくナビ」などの使い方を説明します。

「年賀状などを作成しよう」
オリジナルの年賀状などが作れる「筆ぐるめ」の使い方を説明します。

「デジカメの写真を加工しよう」
デジタルカメラで撮った写真をパソコンで加工する「デジカメNinja2001」などの使い方を説明します。

「映像データを収録、編集、保存しよう」
TV番組の映像やデジタルビデオカメラなどで撮った映像をパソコンに取り込んで編集し、DVD-RAMやDVD-Rに保存する方法を説明します。

「オリジナルＣＤ、ＭＤを作成しよう」
CDやMDに音楽を録音する「BeatJam」の使い方や、CD-Rにデータをコピーする「Easy CD Creator」、CDのラベルを作る「ラベル王」を説明します。

「ＤＶＤホームシアターを楽しもう」
DVDの映像をホームテレビで見る方法を説明します。

「旅先までの交通費と交通手段を調べよう」
旅先までの経路や料金を調べる「ハイパーダイヤ」の使い方を説明します。

「ほかのアプリケーションを使おう」
そのほかのアプリケーションをまとめて説明します。

「付録」
用語の解説やさくいんを記載しています。

マニュアルの表記について

重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
参照	参照先を示します。
◆	このマークがある用語は付録の「用語集」で解説します。

マニュアルで使用している画面およびイラストは一例です。機種によっては、異なる場合があります。また、説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、省略している場合があります。

もくじ

アプリケーションを立ち上げよう

メールを送ったり、年賀はがきなどを作るときは、アプリケーション◆を立ち上げます。

ここでは、アプリケーションの立ち上げ方などを紹介します。

アプリケーションを立ち上げる

アプリケーションを立ち上げるには、次の方法があります。

- [スタート]ボタン◆からメニューを選んで立ち上げる
- ショートカットから立ち上げる
- 「わくわくナビ」から立ち上げる
- 「PriusAVランチャー」から立ち上げる

[スタート]ボタンからメニューを選んで立ち上げる

アプリケーションは、[スタート]ボタンの[すべてのプログラム]メニューに登録されています。[スタート]ボタンからメニューを選んでアプリケーションを立ち上げましょう。

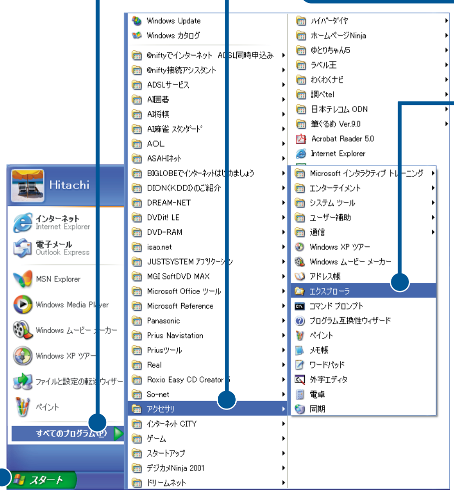
1 [スタート]ボタンをクリック◆

2 [すべてのプログラム]をポイント◆

3 立ち上げたいアプリケーションのフォルダー◆をポイント

4 アプリケーション名をクリック

▼アプリケーションが立ち上がります。



ヒント

★「わくわくナビ」は、メニュー別にアプリケーションが分類されています。ボタンをクリックするだけでアプリケーションを立ち上げることができます。

参照

「わくわくナビ」について→「便利なホームページを開こう」の「ホームページやアプリケーションを立ち上げる」

ヒント

★「PriusAVランチャー」は、音楽やデジカメ、ムービーなどのマルチメディアのアプリケーションが分類されています。ボタンをクリックするだけでアプリケーションを立ち上げることができます。
また、説明ファイルも開くことができます。

参照

「PriusAVランチャー」について→「便利なホームページを開こう」の「すぐにアプリケーションを立ち上げる」

ヒント

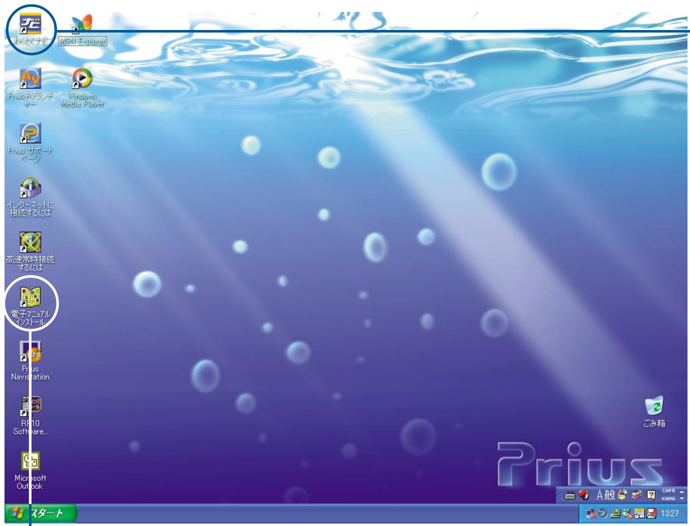
★左の立ち上げ方を、次のように表記します。
エクスプローラを立ち上げる場合
[スタート]ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[エクスプローラ]をクリック

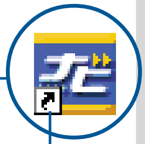
ショートカットから立ち上げる

ショートカット◆は、デスクトップ◆画面に置かれた便利なアイコン◆です。
ショートカットを使うと、アプリケーションを立ち上げることができます。

1 デスクトップにあるアプリケーションのショートカットをダブルクリック◆

▼アプリケーションが立ち上がります。





ショートカットには、↗が付いています。

電子マニュアルをインストールします。

ヒント

★アプリケーションは、わくわくナビとPriusAVランチャーからも立ち上げられます。

参照

立ち上げ方→「便利なホームページを開こう」の「わくわくナビを立ち上げる」、「すぐにアプリケーションを立ち上げる」

アプリケーションを終了する

アプリケーションでの作業が終わったら、アプリケーションを終了しましょう。



1 ×をクリック

▼アプリケーションの画面が閉じます。

ヒント

★データを保存していないときは、保存を確認する画面が表示されることがあります。指示に従って操作を行ってください。

★メニューバーのある画面では、[ファイル]メニュー－[ｘｘの終了]をクリックしても終了できます。

便利なホームページを開こう

便利なホームページ◆やアプリケーションなどを開くには、「わくわくナビ」を使います。メニュー別にあらかじめ登録されているアイテムをクリックするだけで、ホームページを見たり、アプリケーションを立ち上げることができます。
「わくわくナビ」によく見るホームページを追加したり、アイテムを編集してオリジナルのメニューを作ることもできます。

ここでは、わくわくナビの使い方などを紹介します。



ユーザーボタン
ほかのメニューに切り替えるボタンです。

メニュー
目的別にアイテムをまとめたボタン。関連するホームページやアプリケーションなどのアイテムが登録されています。

アイテム
クリックすると、ホームページやアプリケーションが立ち上がります。
左上に マークがあるものは、インターネットに接続することを示します。

重要
◎ **わくわくナビを使う場合は、現在「標準のブラウザ」に設定されているブラウザー◆以外に変更しないでください。わくわくナビの一部の機能が使えなくなります。**

わくわくナビを立ち上げる

わくわくナビを立ち上げましょう。

1 デスクトップ画面の ナビ をダブルクリック

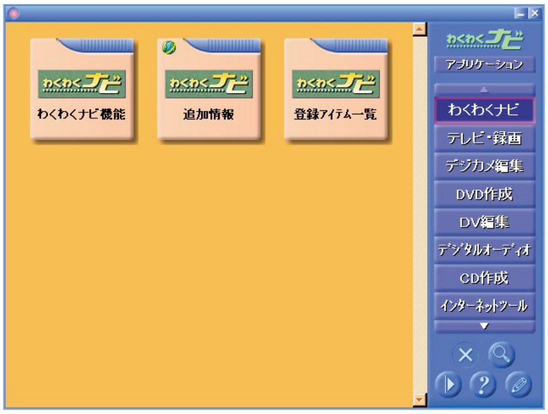
▼[わくわくナビ]画面が表示されます。





2 ◀をクリック

▼選択していたメニューの画面が表示されます。



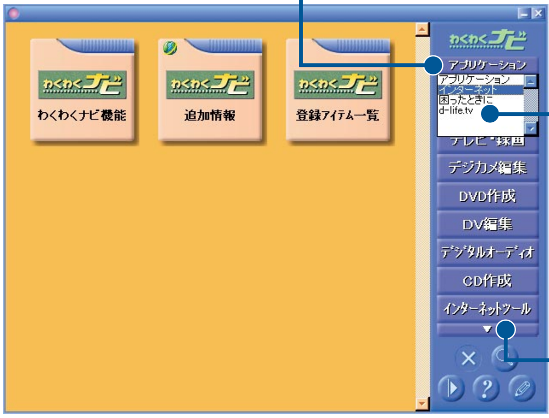
ヒント

★ ナビ をダブルクリックすると、直接左の画面が表示されることもあります。

ホームページやアプリケーションを立ち上げる

わくわくナビを使って、ホームページを見たり、アプリケーションを立ち上げましょう。

1 [アプリケーション]をクリック



2 見たいホームページや立ち上げたいアプリケーションのある[アプリケーション]、[インターネット]、[困ったときに]、[d-life.tv]をクリック

▼ほかのメニューに変わります。

ここでは、[インターネット]をクリックします。

3 [▼]ボタンをクリック

4 見たいメニューをクリック

▼選んだメニューにあるアイテムが表示されます。

ここでは、[情報検索]をクリックします。

5 立ち上げたいアイテムをクリック

▼ホームページやアプリケーションが立ち上がります。

ここでは、[地図検索]アイテムをクリックし、インターネット地図検索サービスMapFan Webのホームページを開きます。



メニューを切り替えます。



(2002年1月現在)

ヒント

★ ホームページを見るには、あらかじめインターネットの設定が必要です。付属の『始めよう! インターネット』を参照して設定してください。

重要

◎ パソコンを一括セットアップ◆し直したとき、最初に入っていたアプリケーションの一部はセットアップされません。このため、わくわくナビにアイテムが登録されていても、セットアップされていないアプリケーションは立ち上がりません。このようなときは、立ち上がらないアプリケーションをセットアップしてください。アプリケーションを使わないときは、そのアイテムを削除することもできます。

自分用に「わくわくナビ」を変える

使い慣れてきたら、ユーザー、メニュー、アイテムを追加・変更・削除して、自分用にわくわくナビを変えましょう。

ユーザーを編集する

ユーザーを追加・変更・削除しましょう。

●ユーザーを追加する

新しいユーザーを追加しましょう。

1 [わくわくナビ]画面の をクリック

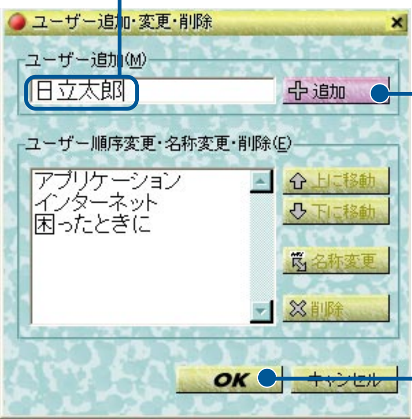
2 [ユーザー追加・変更・削除]をクリック

▼[ユーザー追加・変更・削除]画面が表示されます。



3 [ユーザー追加]欄に新しいユーザー名を入力

4 [追加]ボタンをクリック



5 [OK]ボタンをクリック

[キャンセル]ボタンをクリックすると、元に戻ります。

ヒント

★ユーザー名をクリックし、[上に移動]ボタンや[下に移動]ボタンをクリックすると、表示される順番が変わります。

●ユーザー名を変更する

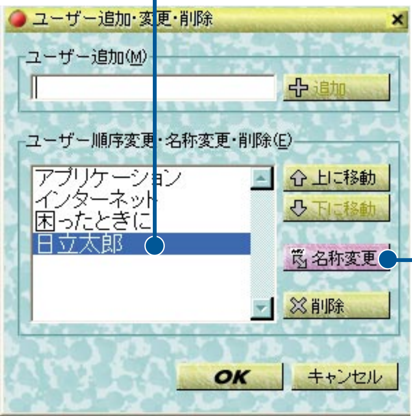
ユーザー名を変更しましょう。

1 「ユーザーを追加する」の手順2までを行い、[ユーザー追加・変更・削除]画面を表示する

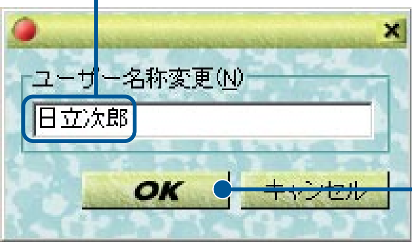
2 名前を変更するユーザーをクリック

3 [名称変更]ボタンをクリック

▼[ユーザー名称変更]画面が表示されます。



4 ユーザー名を変更する

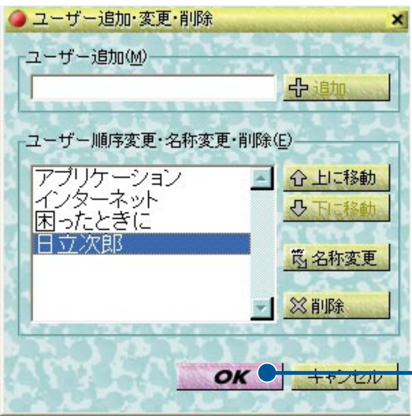


5 [OK]ボタンをクリック

▼[ユーザー追加・変更・削除]画面に戻ります。

6 [OK]ボタンをクリック

[キャンセル]ボタンをクリックすると、元に戻ります。



●ユーザーを削除する

追加したユーザーを削除しましょう。

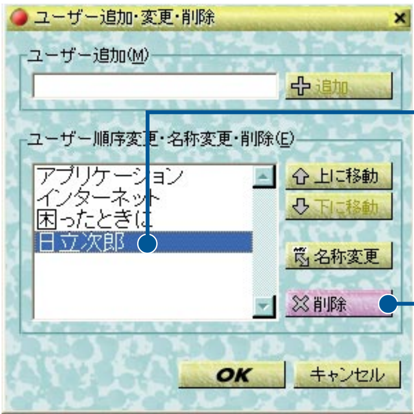
1 [わくわくナビ]画面の[インターネット]ボタンをクリックし、削除するユーザー以外のユーザー名をクリック



2 をクリック

3 [ユーザー追加・変更・削除]をクリック

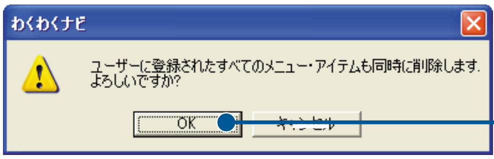
▼[ユーザー追加・変更・削除]画面が表示されます。



4 削除するユーザー名をクリック

5 [削除]ボタンをクリック

▼削除確認のメッセージが表示されます。



6 [OK]ボタンをクリック

▼[ユーザー追加・変更・削除]画面に戻ります。

7 [OK]ボタンをクリック

[キャンセル]ボタンをクリックすると、元に戻ります。

メニューを編集する

メニューを追加・変更・削除しましょう。

●メニューを追加する

新しいメニューを追加しましょう。

1 [わくわくナビ]画面の[インターネット]ボタンをクリック



2 メニューを追加するユーザー名をクリック



3 をクリック

4 [メニュー追加・変更・削除]をクリック

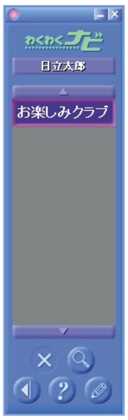
▼[メニュー追加・変更・削除]画面が表示されます。

5 [メニュー追加]欄に新しいメニュー名を入力

6 [追加]ボタンをクリック

▼新しいメニューが追加されます。





7 [OK]ボタンをクリック

[キャンセル]ボタンをクリックすると、元に戻ります。

ヒント

★ メニュー名をクリックし、[上に移動]ボタンや[下に移動]ボタンをクリックすると、表示される順番が変わります。

●メニュー名を変更する

メニュー名を変更しましょう。

1 「メニューを追加する」の手順４までを行い、[メニュー追加・変更・削除]画面を表示する

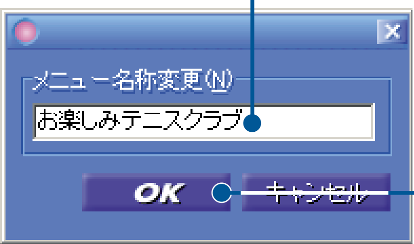
2 変更するメニュー名をクリック



3 [名称変更]ボタンをクリック

▼[メニュー名称変更]画面が表示されます。

4 メニュー名を変更する



5 [OK]ボタンをクリック

▼[メニュー追加・変更・削除]画面に戻ります。

6 [OK]ボタンをクリック

[キャンセル]ボタンをクリックすると、元に戻ります。



●メニューを削除する

メニューを削除しましょう。

1 「メニューを追加する」の手順４までを行い、[メニュー追加・変更・削除]画面を表示する

2 削除するメニュー名をクリック

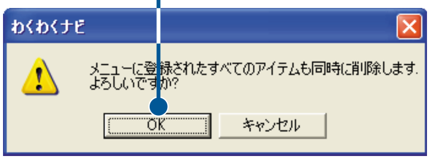


3 [削除]ボタンをクリック

▼削除確認のメッセージが表示されます。

4 [OK]ボタンをクリック

▼[メニュー追加・変更・削除]画面に戻ります。





5 [OK]ボタンをクリック

[キャンセル]ボタンをクリックすると、元に戻ります。

重要

◎アイテムを登録しすぎないようにしてください。登録しすぎると、わくわくナビの動きが遅くなったり、メモリーを多く使用するアプリケーションが正しく動かないことがあります。

アイテムを編集する

ホームページやアプリケーションなどのアイテムを追加・削除・移動しましょう。

●アイテムを追加する

アイテムを追加しましょう。

1 [わくわくナビ]画面の[インターネット]ボタンをクリック

2 アイテムを追加するユーザー名をクリック

3 をクリック

▼[ファイル検索]画面が表示されます。

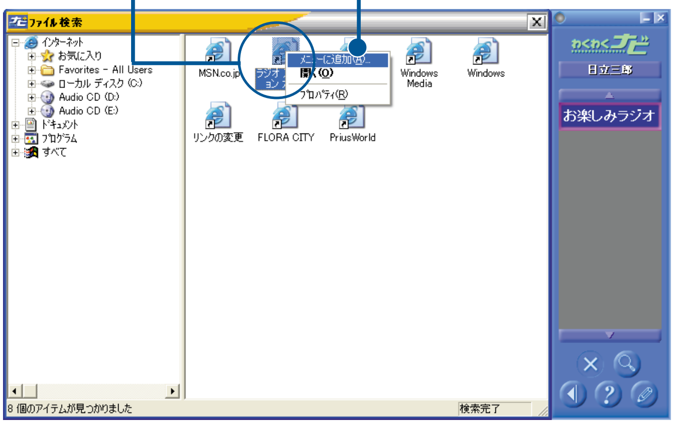


ヘルプ

4 追加するホームページやアプリケーションを右クリック

5 [メニューに追加]をクリック

▼[メニューに追加]画面が表示されます。



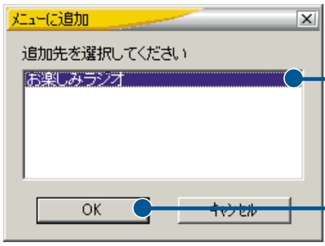
ヒント

★コントロールパネルで作った新しいユーザーでわくわくナビを立ち上げたとき、クリックしても立ち上がらないアイテムがあります。このときは、そのアイテムを削除し、新しくアイテムを追加してください。

★アイテムの追加について詳しくは、ヘルプをご参照ください。

ヒント

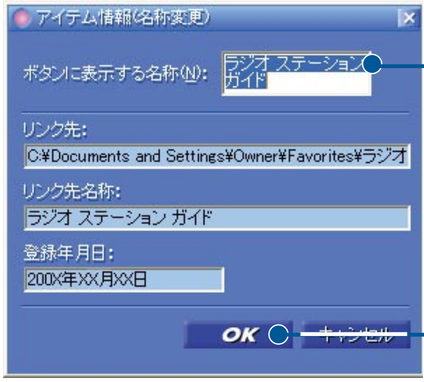
★[ファイル検索]画面は[×]ボタンをクリックすると閉じます。



6 アイテムを追加するメニューをクリック

7 [OK]ボタンをクリック

▼[アイテム情報(名称変更)]画面が表示されます。



8 アイテムの名称を確認

アイテムの名称を変更することもできます。

9 [OK]ボタンをクリック

▼[ファイル検索]画面に戻ります。

10 × をクリック

▼[わくわくナビ]画面に戻ります。

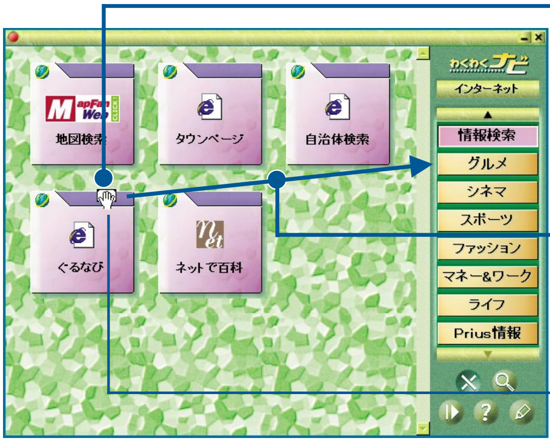


クリックすると、アイテムを表示する/しないを切り替えます。

●アイテムを移動する

アイテムをほかのメニューに移動しましょう。

1 移動したいアイテムの右上をポイント



2 移動したいメニューまでドラッグ◆

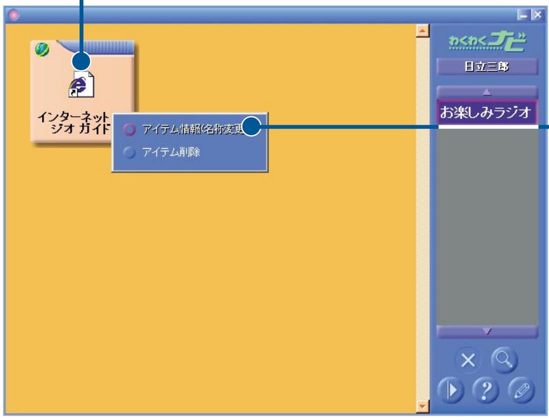
▼アイテムが移動します。

マウスポインターの形が変わったら、移動できます。

●アイテムの名称を変える

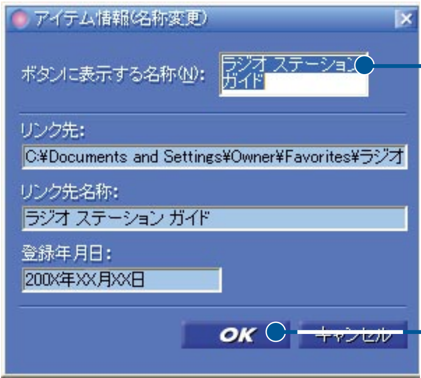
アイテムの名称を変えましょう。

1 名称を変えるアイテムを右クリック



2 [アイテム情報(名称変更)]をクリック

▼[アイテム情報(名称変更)]画面が表示されます。



3 アイテムの名称を変更する

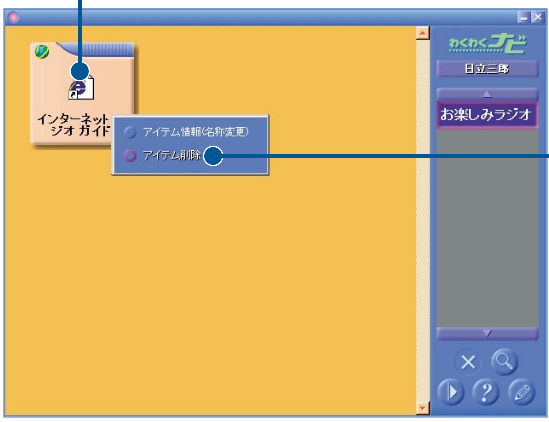
4 [OK]ボタンをクリック

▼アイテムの名称が変わります。

●アイテムを削除する

アイテムを削除しましょう。

1 削除するアイテムを右クリック

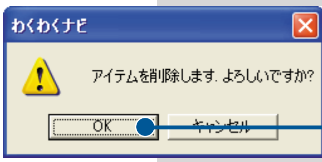


2 [アイテム削除]をクリック

▼削除確認の画面が表示されます。

3 [OK]ボタンをクリック

▼アイテムが削除されます。



ヒント

★わくわくナビに標準で登録されているアイテムを誤って削除したときは、[わくわくナビ]メニューの[登録アイテム一覧]アイテムをクリックし、削除したアイテムを確認し、登録し直してください。

画面のイメージを変える

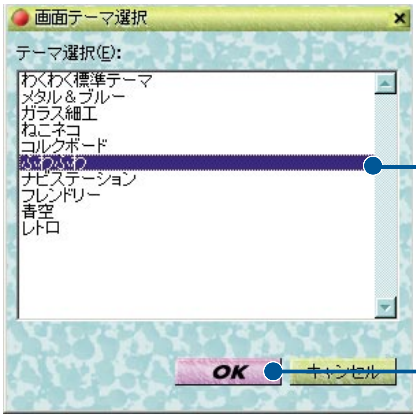
わくわくナビの画面イメージを変えましょう。

1 [わくわくナビ]画面の ボタンをクリック



2 [画面テーマ選択]をクリック

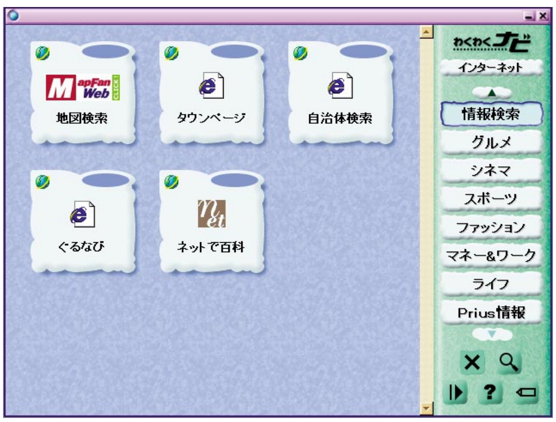
▼[画面テーマ選択]画面が表示されます。



3 変更したいテーマをクリック

4 [OK]ボタンをクリック

▼選択した画面イメージに変わります。



[ふわふわ]を選択したときの画面

アイテムの一覧を見る

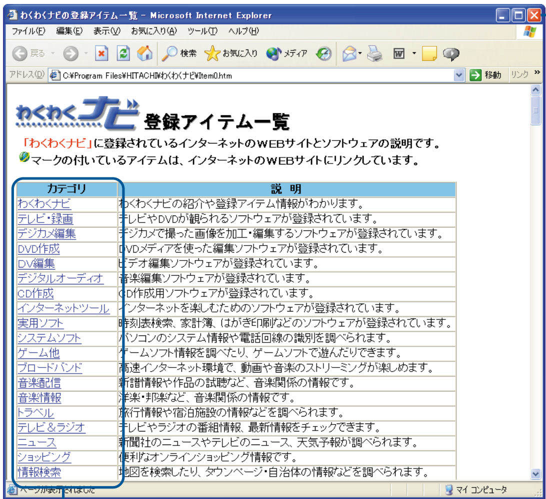
わくわくナビに登録されているホームページやアプリケーションの一覧を見てみましょう。

1 [わくわくナビ]をクリック



2 [登録アイテム一覧]をクリック

▼[わくわくナビの登録アイテム一覧]画面が表示されます。



終了するときは、ここをクリックします。

この部分をクリックすると、その項目に分類されているアプリケーションなどの一覧が表示されます。

すぐにアプリケーションを立ち上げる

音楽やデジカメ、ムービーなどのマルチメディア関連のアプリケーションを立ち上げるときは、PriusAVランチャーを使います。

1 [スタート]ボタン－[すべてのプログラム]－[Priusツール]－[PriusAVランチャー]をクリック

▼[PriusAVランチャー]画面が表示されます。

アプリケーションを分類するタイトル



終了するときは、ここをクリックします。

2 をクリック

▼アイコンの一覧が表示されます。

2 を数回クリックし、立ち上げたいアプリケーションのアイコンを表示





3 立ち上げたいアイコンをクリック

▼アプリケーションが立ち上がります。

ヒント

★ をクリックすると、ミュージックランチャー、デジカメランチャー、ムービーランチャーの順に画面が切り替わります。

ヒント

★ をクリックするたびに一覧表示と1行表示が切り替わります。

3

年賀状などを作成しよう

年賀状や暑中見舞いなどを作って印刷するには、「筆ぐるめ」を使います。あらかじめ用意されているイラストや文例集を利用すると、簡単に年賀状などを作ることができます。
デジタルカメラで撮った写真を入れることもできます。住所録を作ると、はがきに宛名を印刷することもできます。
「筆ぐるめ」では、年賀状のほかに、名刺、カレンダー、ビデオテープのラベルなどを作ることもできます。

ここでは、「筆ぐるめ」で年賀状を作り、印刷するまでの操作を説明します。

筆ぐるめを立ち上げる

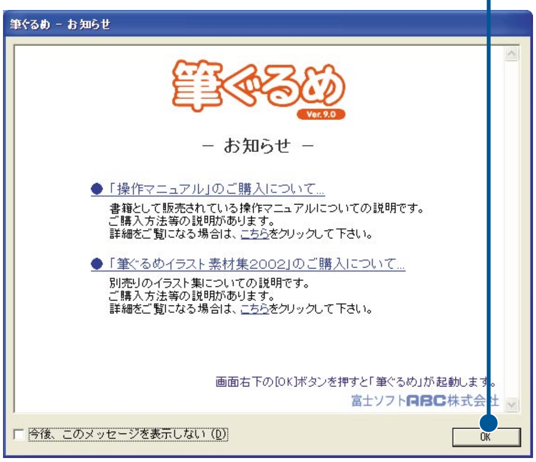
筆ぐるめを立ち上げましょう。

1 **[わくわくナビ]画面で[アプリケーション]、[▼]ボタン、[実用ソフト]メニュー、[筆ぐるめ Ver.9.0]アイテムをクリック**

▼[筆ぐるめ－お知らせ]画面が表示されます。

2 **[OK]ボタンをクリック**

▼[筆ぐるめ－ナビゲーション－シナリオ選択]画面が表示されます。



ヒント

★ 印刷するにはプリンターが必要です。

ヒント

★ 表面（以下、宛名面）



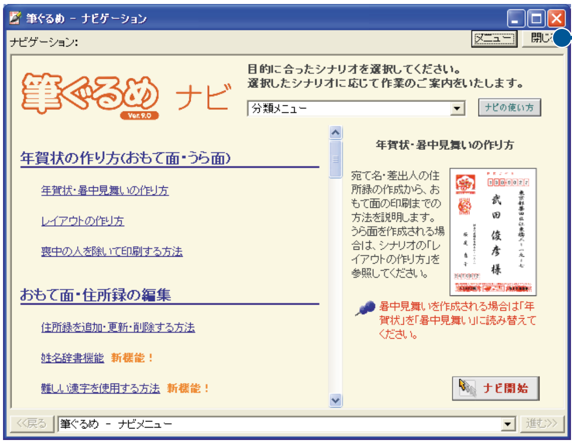
★ 裏面（以下、文面）

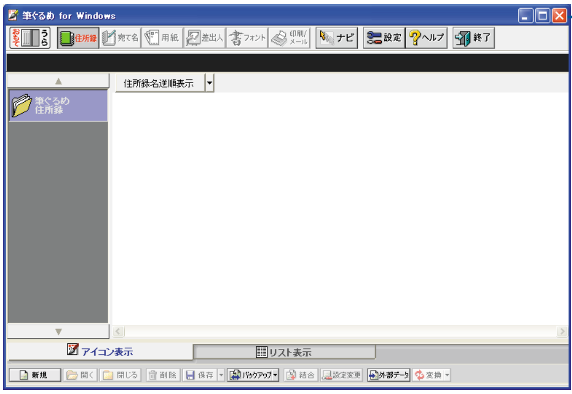


ヒント

★ [今後、このメッセージを表示しない]の□をクリックして、□を☑にすると、次回以降この画面が表示されません。

3 [閉じる]ボタンをクリック





終了するときは、
ここをクリックします。

年賀状の文面を作る

筆ぐるめに用意されているイラストなどを使って年賀状の文面を作りましょう。

年賀状の文面を作る

年賀状の文面を作りましょう。
ここでは、次の順番で「白紙（はがき　たて）」の年賀状を作ります。

・レイアウトを選ぶ
・背景を選ぶ
・イラストを選ぶ
・文章を書く
・レイアウトを保存する

●レイアウトを選ぶ

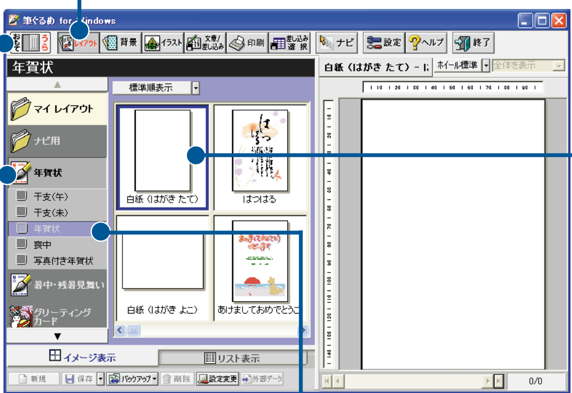
年賀状の文面のレイアウトを、「白紙（はがき　たて）」にします。

1 [おもて うら]ボタンをクリック

▼[おもて うら]ボタンの[うら]が赤色になります。

[うら]が赤色でない場合は、[おもて　うら]ボタンをクリックします。クリックするたびに、文面と宛名面が切り替わります。

2 [レイアウト]ボタンの文字が赤色になっていることを確認



3 [年賀状]をクリック

4 [年賀状]をクリック

5 [白紙(はがき　たて)]をクリック

●背景を選ぶ

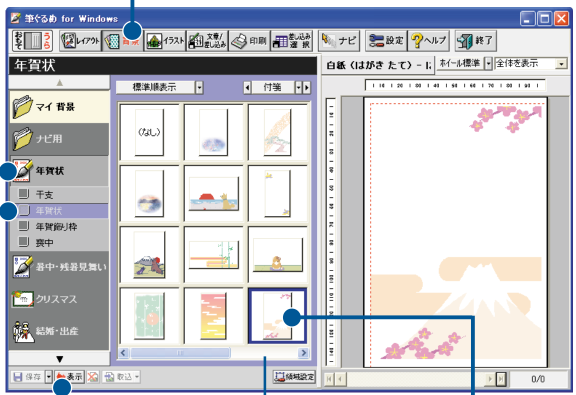
年賀状の文面の背景を選びます。

1 [背景]ボタンをクリック

▼背景の一覧が表示されます。

2 [年賀状]をクリック

3 [年賀状]をクリック



スクロールすると、隠れている背景を表示できます。

4 [表示]ボタンをクリック

▼背景のサイズが小さく一覧表示されます。

5 使いたい背景をクリック

▼右側に選んだ背景が表示されます。

ヒント

★ [表示]ボタンをクリックするたびに、背景のサイズが小または大に変わります。

●イラストを選ぶ

年賀状の文面に迎春のイラストを入れます。

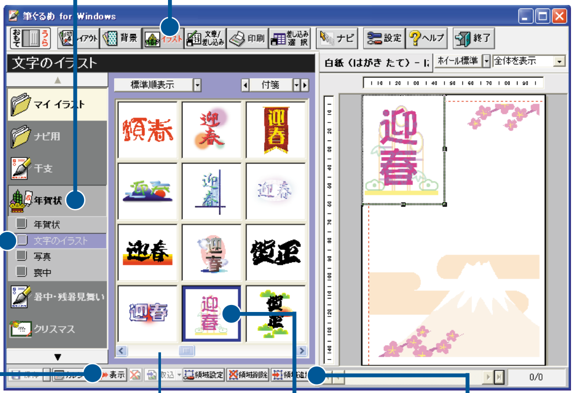
1 [イラスト]ボタンをクリック

▼イラストの一覧が表示されます。

2 [年賀状]をクリック

3 [文字のイラスト]をクリック

▼文字のイラストが表示されます。



スクロールすると、隠れているイラストを表示できます。

4 [表示]ボタンをクリック

▼イラストのサイズが小さく一覧表示されます。

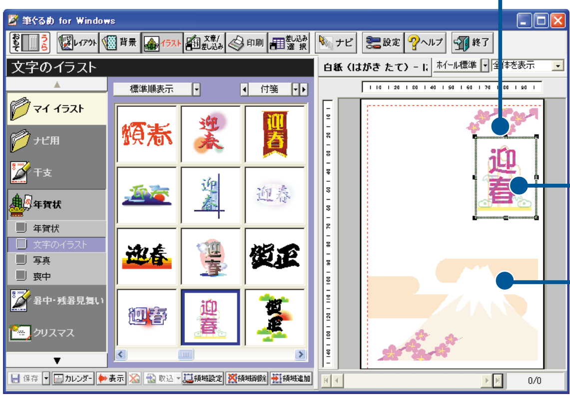
5 使いたいイラストをクリック

6 [領域追加]ボタンをクリック

▼はがきの左上に選んだイラストが表示されます。

7 イラストをポイントし、マウスポインターの形を✣に変え、好みの場所にドラッグ

8 イラストの周りの■をポイントし、マウスポインターの形を⤡などに変え、好みの大きさにドラッグ



9 イラスト枠以外のところをクリック

▼イラストの場所と大きさが確定します。

ヒント

★[表示]ボタンをクリックするたびに、イラストのサイズが小または大に変わります。

ヒント

★追加したイラストを取り消すときは、イラストをクリックして選択し、[Delete]キーを押します。

●文章を書く

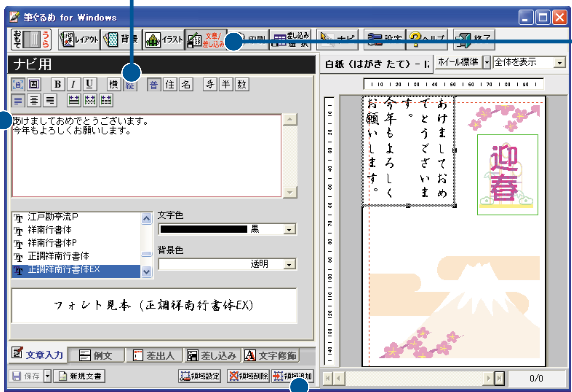
年賀状の文面に、「あけましておめでとうございます。……」の文字を書きます。

1 [文章/差し込み]ボタンをクリック

▼文字を入力する画面が表示されます。

2 挨拶の文章を入力

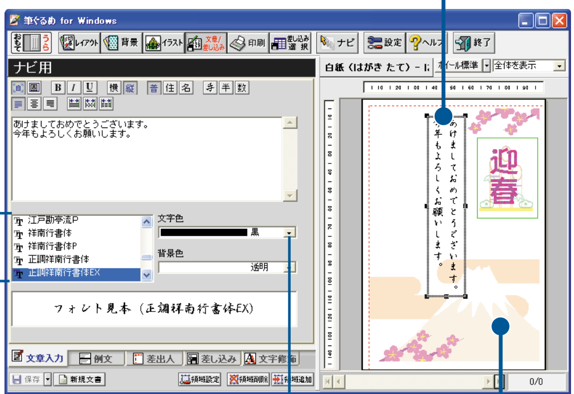
3 [縦]ボタンをクリック



4 [領域追加]ボタンをクリック

▼はがきの左上に入力した文章が表示されます。

5 イラストと同じように、好みの場所や大きさを変える



文字の書体を変えます。

文字の色を変えます。

6 文章枠以外のところをクリック

▼文章の位置と大きさが確定します。

ヒント

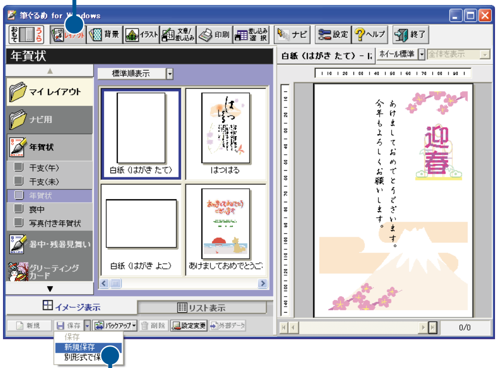
★追加した文章を取り消すときは、文章枠をクリックして選択し、[Delete]キーを押します。

●レイアウトを保存する

これまで作成した年賀状のレイアウトを保存します。

1 [レイアウト]ボタンをクリック

▼レイアウトの一覧画面が表示されます。



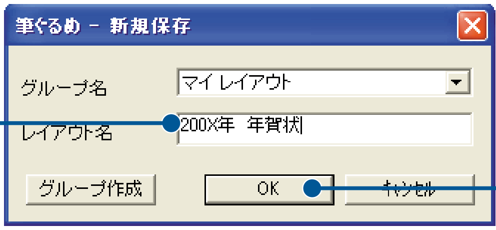
2 [保存▼]ボタンの ▼ をクリックし、[新規保存]をクリック

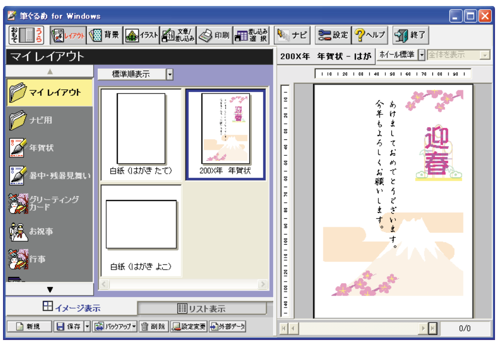
▼[筆ぐるめ－新規保存]画面が表示されます。

3 [レイアウト名]欄にレイアウト名を入力

4 [OK]ボタンをクリック

▼新しい年賀状のレイアウトが保存されます。





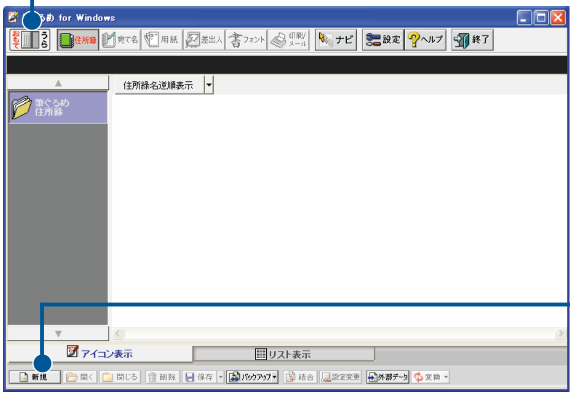
住所録を作る

年賀状を出す人の住所録を作りましょう。
住所録は、個人用や会社用などと、用途別に作ることができます。

住所録を作る

年賀状などを送る宛先を住所録に入力します。

1 **[おもて　うら]ボタンをクリック**
▼[おもて]が赤色になります。



2 **[新規]ボタンをクリック**
▼[筆ぐるめー住所録設定]画面が表示されます。

3 **[アイコン選択]欄で新しい住所録用のアイコンをクリック**

4 **[住所録名]欄に新しい住所録の名前を入力**



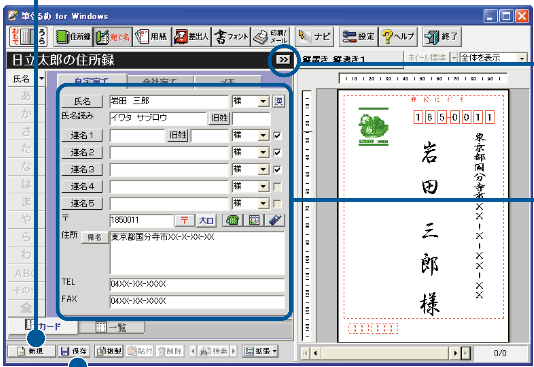
5 **[OK]ボタンをクリック**
▼住所録の入力画面が表示されます。

6 **氏名、住所、TEL、FAX、個人情報などを入力**

[<<]ボタン、[>>]ボタンをクリックすると、住所録の表示を切り替えることができます。

7 **続けて次の宛先を入力するときは、[新規]ボタンをクリック**

▼入力した宛先が保存され、新しい入力画面が表示されます。



8 **住所録の入力が終わったら、[保存]ボタンをクリック**

▼作成した住所録が保存されます。

ヒント

★[〒]欄に郵便番号を入力するときは、「－」を入れずに郵便番号を続けて入力します。郵便番号がわからないときは、[住所]欄に住所を入力したあと、[〒]ボタンをクリックすると、自動的に郵便番号が入力されます。

差出人を入力する

年賀状の宛名面に印刷する差出人を入力しましょう。

1 **[差出人]ボタンをクリック**

▼差出人の入力画面が表示されます。

2 **差出人の名前や住所を入力**

▼入力した内容がはがきの宛名面に表示されます。



差出人2に切り替え、別の差出人を入力することができます。差出人は5人まで登録できます。

ヒント

★差出人に入力した内容は自動的に登録されます。

年賀状を印刷する

年賀状を印刷しましょう。
年賀状は、宛名面と文面を別々に印刷します。

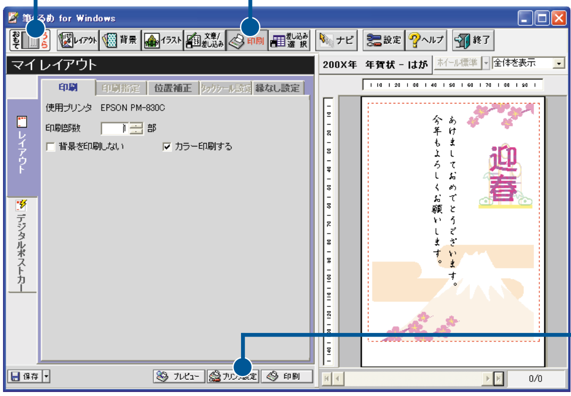
印刷の設定をする

印刷するはがきの方向などを設定します。
ここでは、文面を印刷する方法を設定します。

1 [おもて　うら]ボタンをクリック
▼[うら]が赤色になります。

2 [印刷]ボタンをクリック
▼[印刷]画面が表示されます。

宛名面では[印刷/メール]ボタンをクリックします。

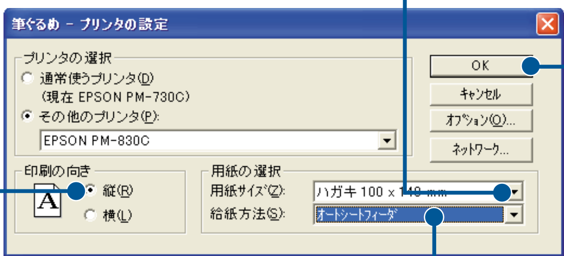


3 [プリンタ設定]ボタンをクリック
▼[筆ぐるめ－プリンタの設定]画面が表示されます。

4 [印刷の向き]で[縦]が◉になっていることを確認する

○のときは、○をクリックして◉にします。

5 [用紙サイズ]で▼をクリックし、[ハガキ]をクリック



6 [給紙方法]ではがきの給紙方法を確認する

7 [OK]ボタンをクリック
▼プリンターが設定されます。

ヒント
★プリンターによって印刷の向き、用紙サイズ、給紙方法の設定が異なります。詳しくはプリンターに付属のマニュアルをご参照ください。

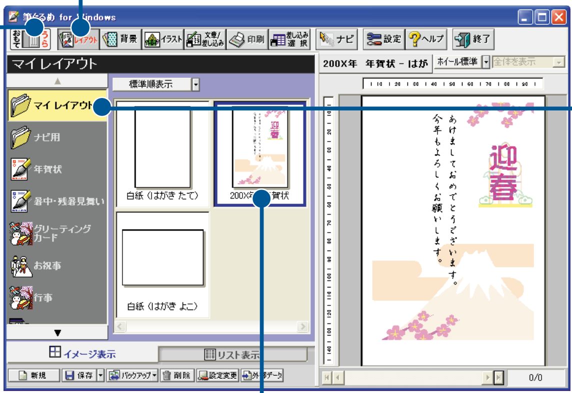
文面を印刷する

年賀状などの文面に作成したレイアウトを印刷しましょう。

1 [おもて　うら]ボタンの[うら]が赤色になっていることを確認する

[うら]が赤色でないときは、[おもて　うら]ボタンをクリックします。

2 [レイアウト]ボタンをクリック



3 [マイレイアウト]をクリック

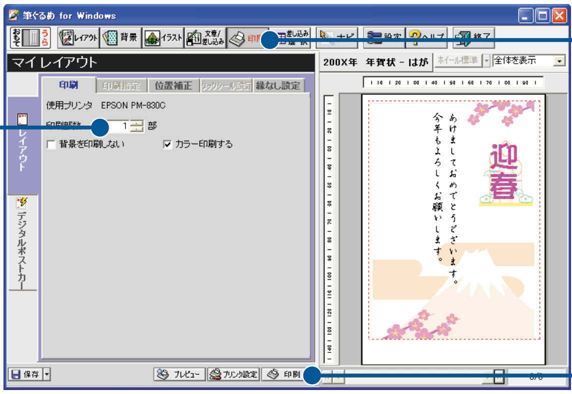
4 印刷するレイアウトをクリック

5 [印刷]ボタンをクリック

▼印刷の設定画面が表示されます。

6 [印刷部数]欄に印刷する部数を入力

7 印刷するはがきをプリンターにセットする



8 [印刷]ボタンをクリック

▼はがきの文面にレイアウトが印刷されます。

ヒント

★ はがきに印刷するときは、最初に、使い古しのはがきなどに試し印刷されることをお勧めします。

ヒント

★ カラープリンターの場合は、[カラー印刷する]の先頭が☑になっていることをご確認ください。

★ はがきのセット方法はプリンターによって異なります。はがきのセットについては、プリンターに付属のマニュアルをご参照ください。

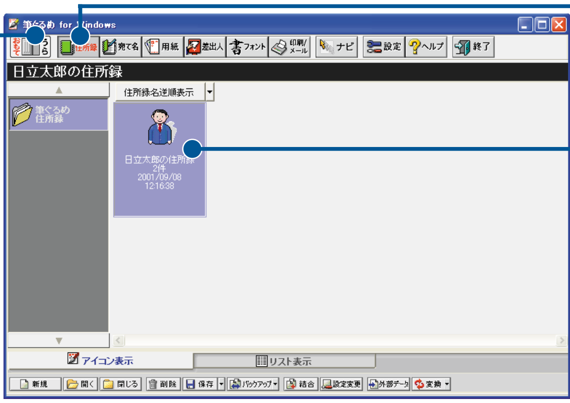
宛名面を印刷する

年賀状などの宛名面に、住所録から宛先を選び印刷しましょう。

1 [おもて　うら]ボタンをクリック

▼[おもて]が赤色になります。

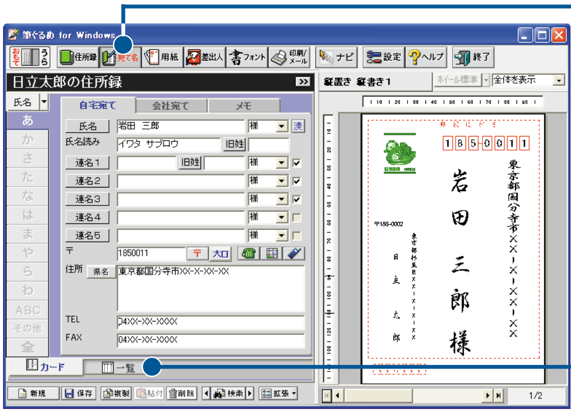
2 [住所録]ボタンをクリック



3 宛名を印刷する住所録をダブルクリック

4 [宛て名]ボタンをクリック

▼選択した住所録に登録されている宛名が表示されます。

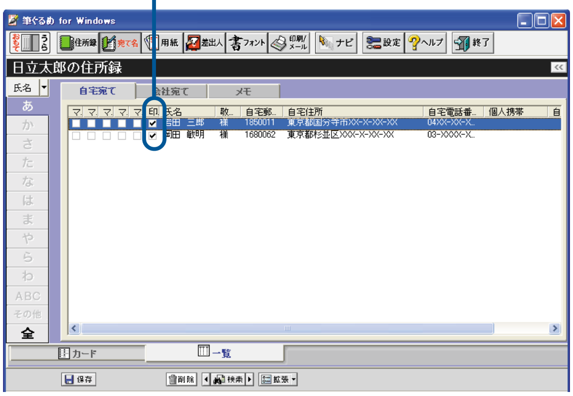


5 [一覧]タブをクリック

▼住所録の一覧が表示されます。

6 宛先として印刷する人の[印]欄をクリックし、□を☑にする

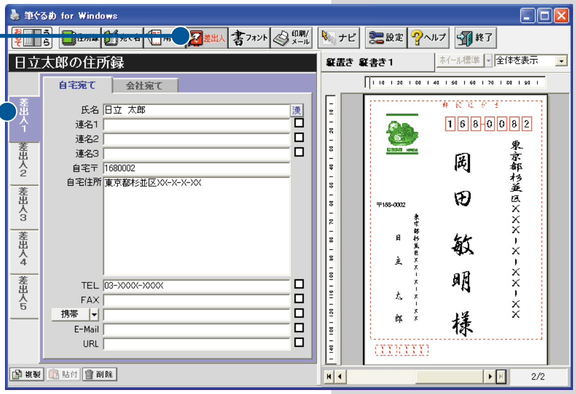
印刷しない人は□にします。



7 **[差出人]ボタンをクリック**

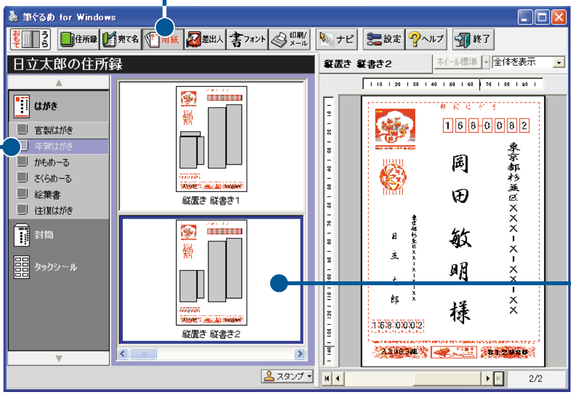
▼[差出人]画面が表示されます。

8 **差出人にするタブをクリック**



9 **[用紙]ボタンをクリック**

▼[用紙選択]画面が表示されます。



10 **印刷するはがきの種類をクリック**

11 **宛名と差出人の印刷スタイルをクリック**

▼選択した印刷スタイルに合わせたイメージが表示されます。

12 **[印刷/メール]ボタンをクリック**

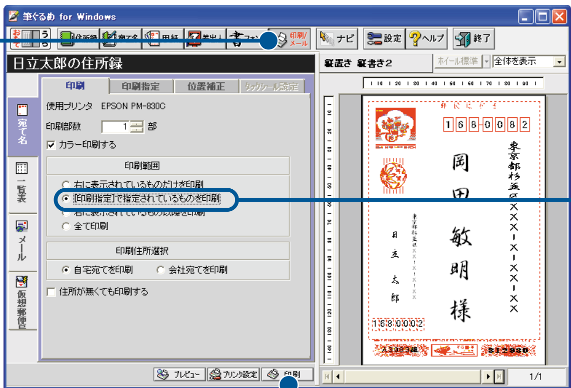
▼印刷方法の画面が表示されます。

13 **[印刷範囲]で、[[印刷指定]で指定されているものを印刷]をクリックして○を●にする**

14 **印刷するはがきをプリンターにセットする**

ヒント

★はがきのセット方法はプリンターによって異なります。はがきのセットについては、プリンターに付属のマニュアルをご参照ください。



15 **[印刷]ボタンをクリック**

▼はがきの宛名面に宛名と差出人が印刷されます。

デジタル写真を文面に入れる

デジタルカメラで撮った写真を、はがきの文面にはり込みましょう。
デジタル写真を使えるようにするには、レイアウトに新しいグループを追加し、その中に写真データを登録します。

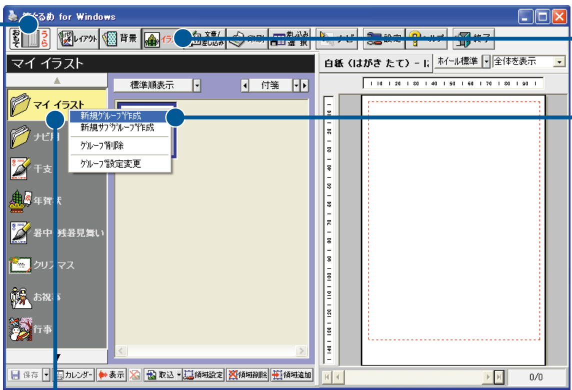
デジタル写真のグループを作る

「200X年年賀状写真」というグループを作りましょう。

1 **[おもて　うら]ボタンをクリック**

▼[うら]が赤色になります。

2 **[イラスト]ボタンをクリック**



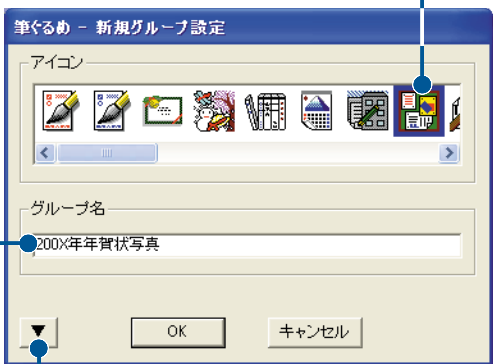
3 **[マイ　イラスト]などが表示されているリスト部分を右クリック**

4 **[新規グループ作成]をクリック**

▼[筆ぐるめ－新規グループ設定]画面が表示されます。

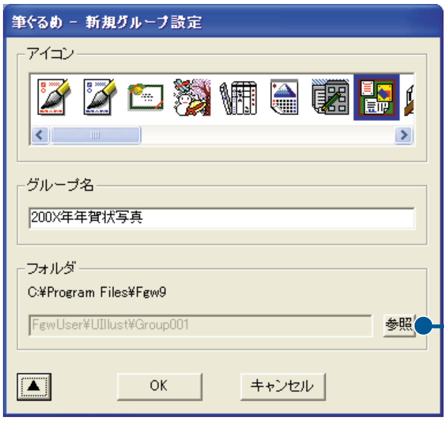
5 **[アイコン]欄で新しいグループ用のアイコンをクリック**

6 **グループ名を入力**



7 **▼をクリック**

▼[筆ぐるめ－新規グループ設定]画面が広がり、[フォルダ]が表示されます。



8 [参照]ボタンをクリック

▼[フォルダの参照]画面が表示されます。

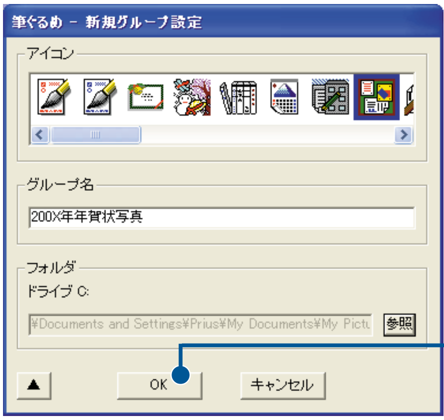


9 デジタル写真が入っているフォルダーを指定する

ここでは、[マイドキュメント]の[マイ ピクチャ]フォルダーを選択します。

10 [OK]ボタンをクリック

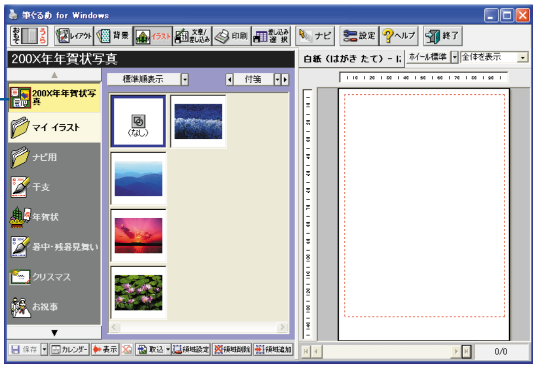
▼[筆ぐるめ－新規グループ設定]画面に戻ります。



11 [OK]ボタンをクリック

▼新しいグループが作成され、登録されます。

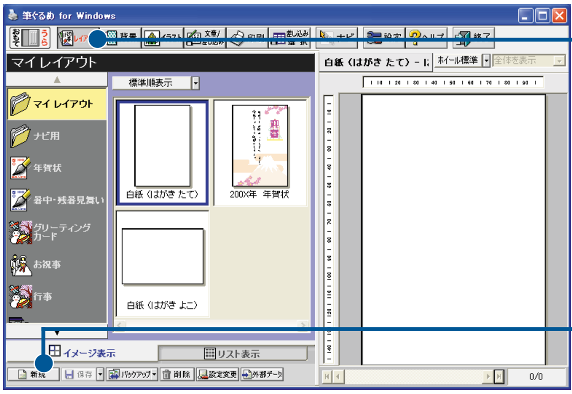
作成した新しいグループ



これで、レイアウトにデジタル写真用のグループが登録されました。

作成したグループの写真を使う

新しく作成したグループに写真を使うレイアウトを作りましょう。



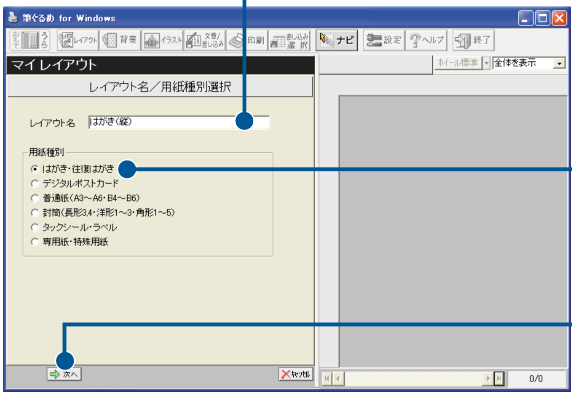
1 **[レイアウト]ボタンをクリック**

2 **[新規]ボタンをクリック**

▼[レイアウト名／用紙種別選択]画面が表示されます。

3 **[レイアウト名]欄にレイアウト名を入力**

ここでは、「はがき(縦)」と入力します。



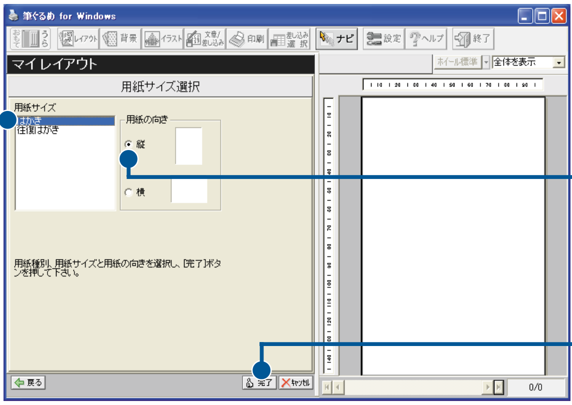
4 **[用紙種別]で[はがき・往復はがき]の先頭がになっていることを確認**

[はがき・往復はがき]がになっている場合は、をクリックしてにしてください。

5 **[次へ]ボタンをクリック**

▼[用紙サイズ選択]画面が表示されます。

6 **[用紙サイズ]で[はがき]が選択されていることを確認**



7 **[用紙の向き]で[縦]の先頭がになっていることを確認**

8 **[完了]ボタンをクリック**

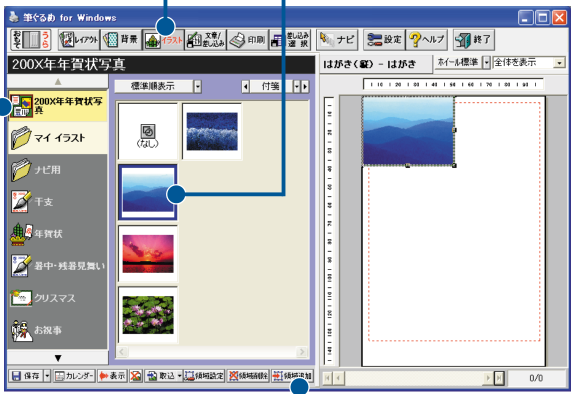
▼レイアウト画面が表示されます。

9 [イラスト]ボタンをクリック

10 使いたい写真が入っているグループをクリック

▼指定されているフォルダーに入っている写真や画像データが表示されます。

11 使いたい写真をクリック



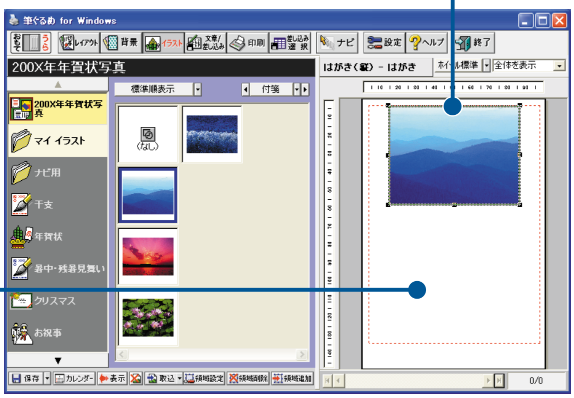
12 [領域追加]ボタンをクリック

▼はがきの左上に選んだ写真が表示されます。

13 写真の大きさを調整し、好きな場所までドラッグ

14 写真以外のところをクリック

▼写真の場所と大きさが確定します。



このあと、「年賀状の文面を作る」と同じようにしてイラストや文章を入れ、レイアウトを保存します。

デジカメの写真を加工しよう

デジタルカメラで撮った写真をパソコンで使うには、「デジカメNinja2001」を使います。デジタル写真のノイズを取り除き、ザラつき感のない写真にすることができます。
「一発！自動補正」機能を使うと、写真を美しく鮮やかに自動補正できます。写真の一部だけを切り抜いたり（トリミング）、フィルター効果を使って味わいのある写真に変えることもできます。

ここでは、デジカメNinja2001の使い方などを紹介します。

デジカメNinja2001を立ち上げる

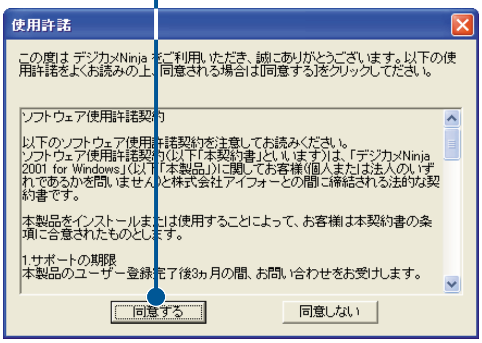
デジカメNinja2001を立ち上げましょう。

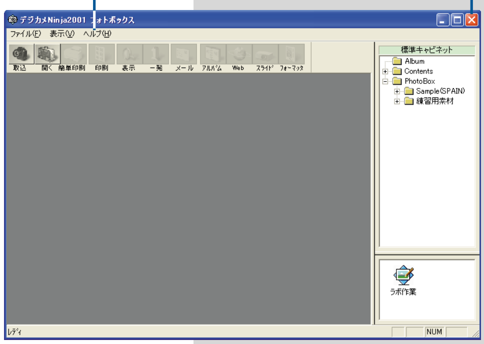
1 **[わくわくナビ]画面で[アプリケーション]、[デジカメ編集]メニュー、[デジカメNinjaフォトボックス]アイテムをクリック**

▼使用許諾の画面が表示されます。

2 **[同意する]ボタンをクリック**

▼[デジカメNinja2001 フォトボックス]画面が表示されます。





ヒント

★ デジカメNinja2001の詳しい使い方については、ヘルプをご参照ください。

★ 取扱説明書（有償）が必要な場合は、株式会社アイフォーの営業部窓口までお問い合わせください。

参照

お問い合わせ先について→『困った時のQ&A』

デジカメの写真を使えるようにする

デジタルカメラで撮った写真をパソコンで使えるようにしましょう。
写真データを使えるようにするには、次のような方法でパソコンに取り込みます。

・コンパクトフラッシュカード◆などを、パソコンのPCカードスロット◆に差し込んで取り込む
・デジタルカメラとパソコンをケーブルで接続して取り込む

1 デジタルカメラで撮った写真データをパソコンに取り込む

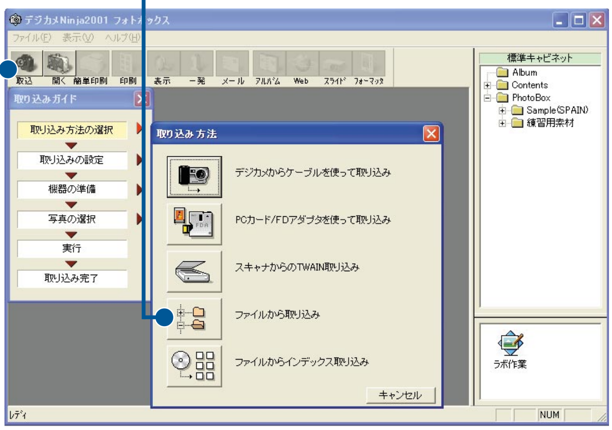
ここでは、[マイドキュメント]の[マイ ピクチャ]フォルダーの[Sample Pictures]フォルダーに取り込んだことにします。

2 [取込]ボタンをクリック

▼[取り込みガイド]の[取り込み方法]画面が表示されます。

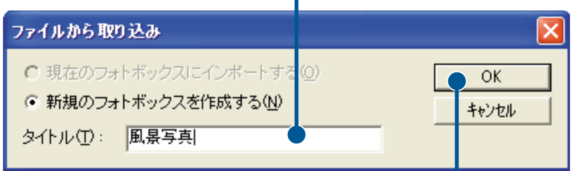
3 [ファイルから取り込み]の左のボタンをクリック

▼[取り込みガイド]の[ファイルから取り込み]画面が表示されます。



4 [タイトル]欄に、写真データを入れるフォルダー名を入力

ここでは、「風景写真」と入力します。



5 [OK]ボタンをクリック

▼[ファイルを開く]画面が表示されます。

ヒント

★パソコンへの写真データの取り込みは、デジタルカメラに付属のマニュアルなどをご参照ください。

6 取り込みたい写真が入っているフォルダーを開く

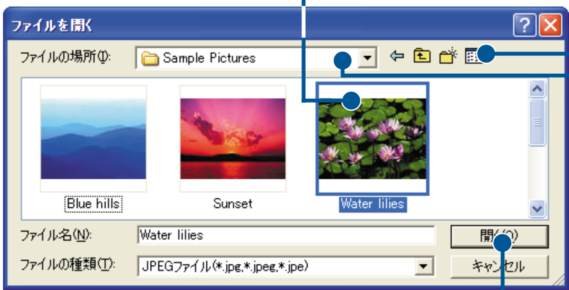
ここでは、[マイドキュメント]の[マイ ピクチャ]フォルダーの[Sample Pictures]フォルダーを開きます。

7 をクリックし、[縮小版]をクリック

▼縮小版で表示されます。

8 取り込みたい写真をクリック

複数の写真を選択するときは、[Ctrl]キーを押しながら写真をクリックして追加します。

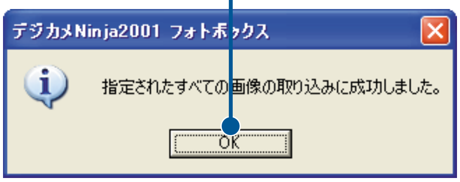


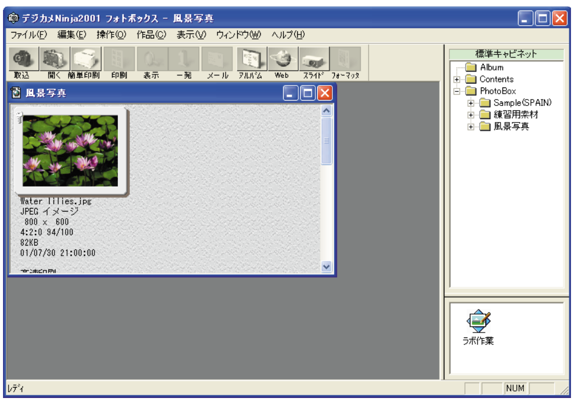
9 [開く]ボタンをクリック

▼取り込み成功のメッセージが表示されます。

10 [OK]ボタンをクリック

▼[フォトボックス]画面に指定した写真が表示されます。





ヒント

★［ファイルの種類］で取り込むデータの種類を選択してください。

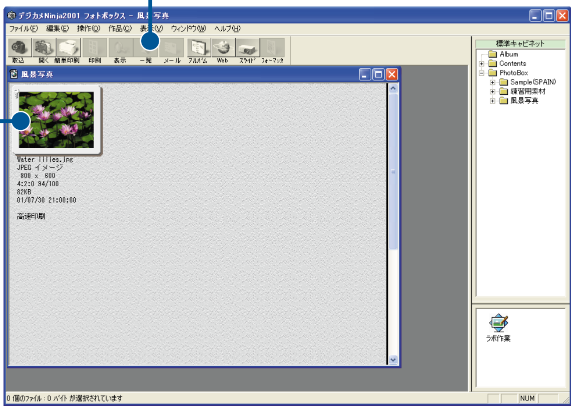
美しく鮮やかな写真に自動補正する

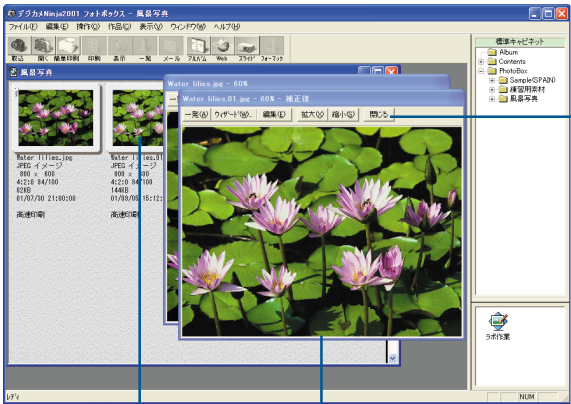
「一発!自動補正」機能を使って、美しく鮮やかな写真に自動補正しましょう。

1 [フォトボックス]画面で自動補正したい写真をクリック

2 [一発]ボタンをクリック

▼「一発!自動補正」機能で自動補正された写真の画面が表示されます。





閉じるときは、ここをクリックします。

自動補正された写真　拡大表示

ヒント

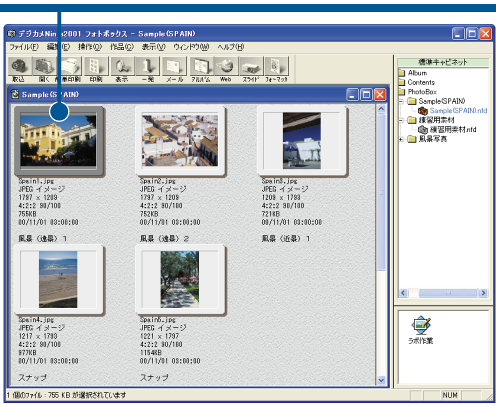
★「一発!自動補正」機能で補正された写真は、自動的に保存されます。その写真を削除するときは、削除する写真をクリックし、[編集]メニューの[写真の削除]をクリックし、[はい]ボタンをクリックします。

写真の一部を切り取る

写真の一部を切り取り、保存しましょう。
一部を切り取ることを「トリミング」と呼びます。

1　[フォトボックス]画面で一部を切り取りたい写真をダブルクリック

▼写真の画面が表示されます。



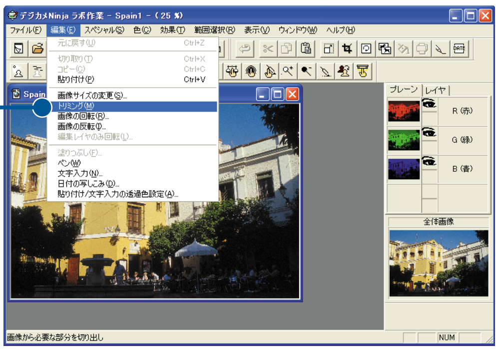
2　[編集]ボタンをクリック

▼ラボ作業が立ち上がり、[デジカメNinjaラボ作業]画面が表示されます。



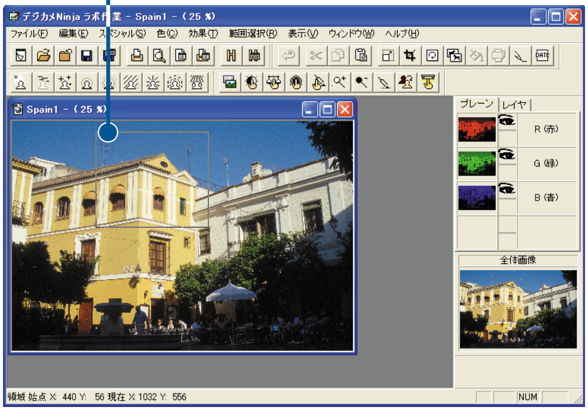
3　[編集]メニュー－[トリミング]をクリック

▼マウスポインターの形が から に変わります。



4 切り取りたい部分をドラッグ

▼[トリミング]画面が表示されます。





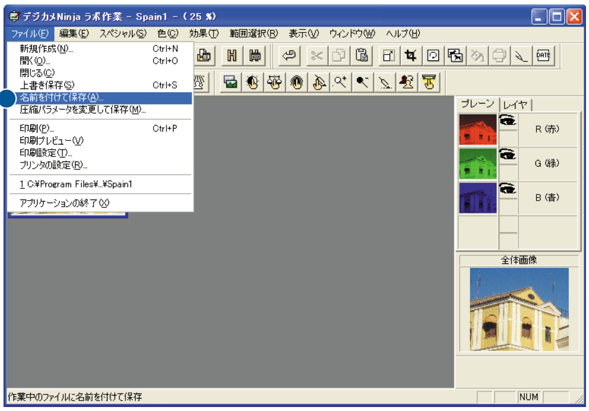
切り取る部分の指定をやり直します。

5 [OK]ボタンをクリック

▼写真が切り取られます。

6 [ファイル]メニュー－[名前を付けて保存]をクリック

▼[名前を付けて保存]画面が表示されます。



7 ファイル名を入力して[保存]ボタンをクリック

▼ファイルが保存されます。

ヒント

★[表示]メニュー－[表示倍率]－[200%]などをクリックすると、写真が拡大され、切り取る部分を正確に指定できます。

写真をはり込む

写真をワープロの文書などにはり込みましょう。
写真のはり込みは、[コピー]と[貼り付け]を使います。

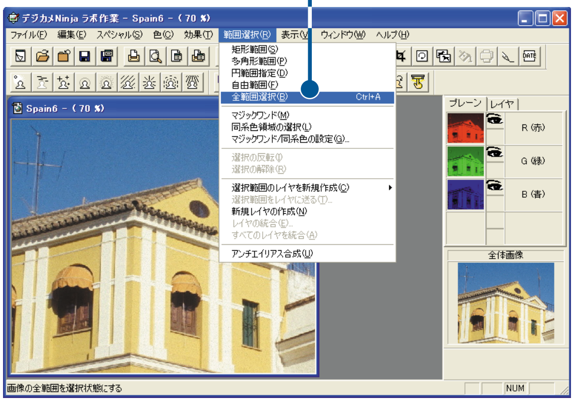
1 写真をはり込みたいアプリケーションのファイルを開き、はり込みたい位置を表示する

2 デジカメNinja2001を立ち上げ、[フォトボックス]画面ではり込みたい写真をダブルクリックし、[編集]ボタンをクリック

▼[デジカメNinjaラボ作業]画面に写真が表示されます。

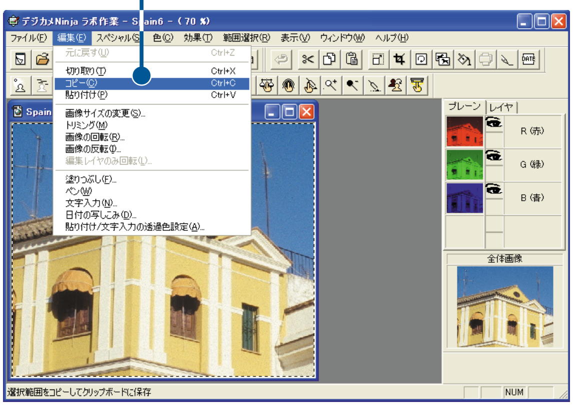
3 [範囲選択]メニュー－[全範囲選択]をクリック

▼写真の全範囲が選択されます。



4 [編集]メニュー－[コピー]をクリック

▼選択した写真がクリップボードにコピーされます。



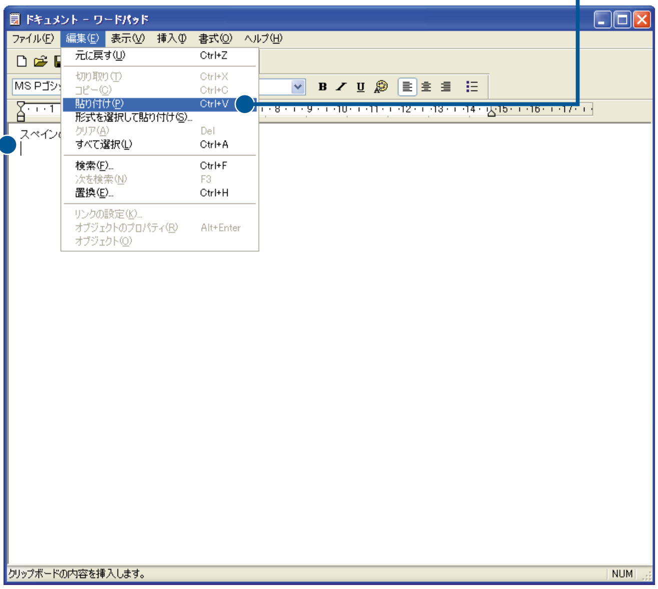
5 写真をはり込みたいアプリケーションに切り替える

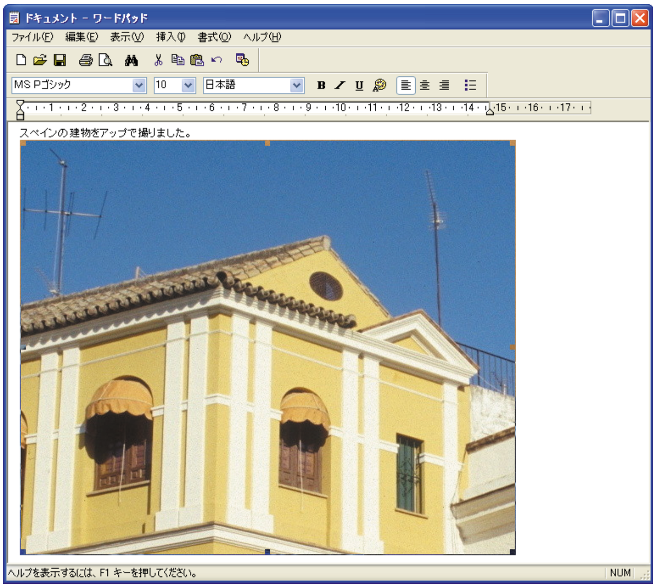
6 はり込みたい位置をクリック

▼写真をはり込みたい位置にカーソルが表示されます。

7 [編集]メニュー－[貼り付け]をクリック

▼写真がはり込まれます。





映像データを収録、編集、保存しよう

テレビ番組の映像や、ビデオカメラで撮った映像などをパソコンに取り込んで編集し、DVD-RAMなどに保存することができます。

ここでは、映像データ(MPEG形式)の取り込み、映像データの編集、映像データの保存などを説明します。

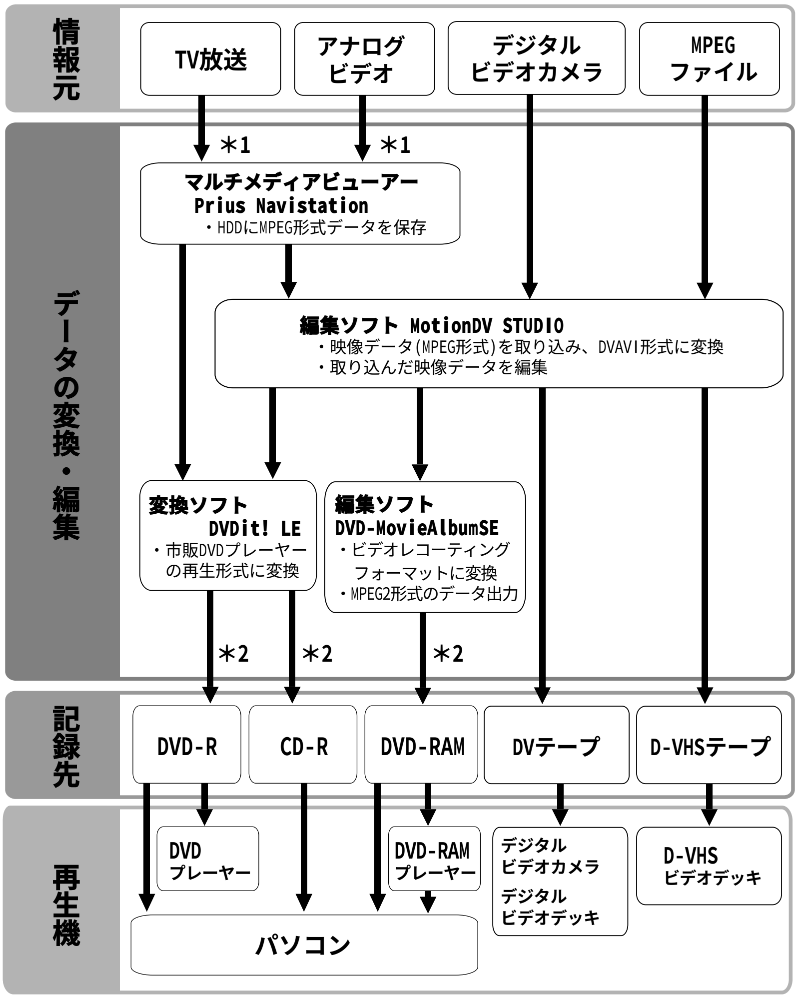
重要

◎ Prius570、530、200では、TV放送、アナログビデオからの入力、DVDディスクの作成はできません。

◎ Prius770のDVD-ROMモデルでは、DVDディスクの作成はできません。

映像データを収録、編集、保存する流れ

次の流れで、映像データの収録、編集、保存を行います。



＊1:Prius770のみ
＊2:Prius770 DVD-RAM/Rモデルのみ

映像データを収録、編集、保存しよう

映像データをパソコンに取り込む

テレビの映像やアナログビデオテープの映像、デジタルビデオテープの映像、MPEG形式のデータをパソコンに取り込みます。

TVの映像を録画する(TVモデル)

テレビ番組を録画するには、「Prius Navistation(以下、Navistation)」を使います。

●テレビ番組を録画する

1 [わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[テレビ・録画]、[Prius Navistation]アイテムをクリック

▼[Navistation]画面が表示されます。

2 [テレビ&録画]ボタンをクリック

▼テレビの映像が表示されます。



3 ▲、▼をクリックし、録画したい番組を表示

4 録画したい番組が映っている状態で、●をクリック

▼録画が始まります。

5 録画を停止するときは、■をクリック

▼録画が終了します。

ヒント

★パソコンでテレビを見るには、Navistationに受信するチャンネルを設定しておきます。詳しくは、『始めよう! TVエンターテインメント』1章の「準備をしよう」をご参照ください。

ヒント

★電子番組ガイドを使って予約したり、時間を指定して予約することもできます。詳しくは、『始めよう! TVエンターテインメント』3章の「番組をパソコンに録画する」をご参照ください。

ヒント

★録画した番組は、ハードディスクに保存されます。1時間録画すると、録画品質[標準]の場合に約1.8GB、[高画質]の場合に約3.6GBのハードディスクを使用します。

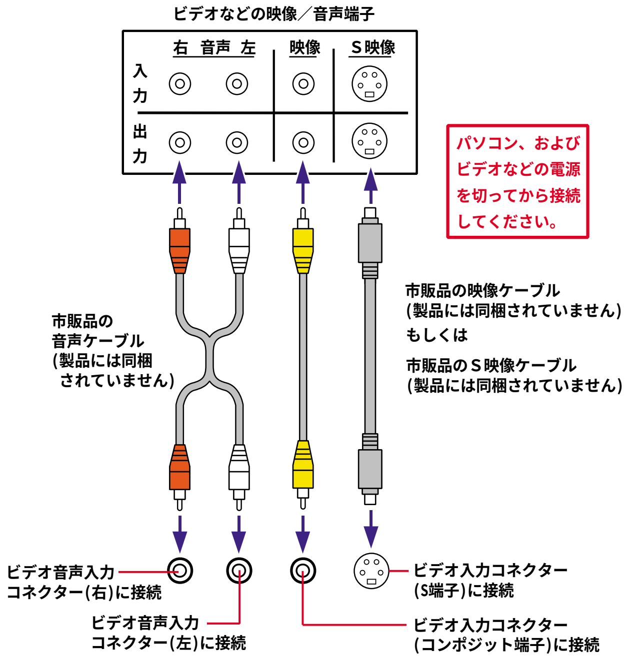
アナログビデオテープの映像を取り込む(TVモデル)

アナログビデオカメラやビデオデッキ(以下、外部機器)のアナログビデオテープに入っている映像をパソコンに取り込むには、Navistationを使います。

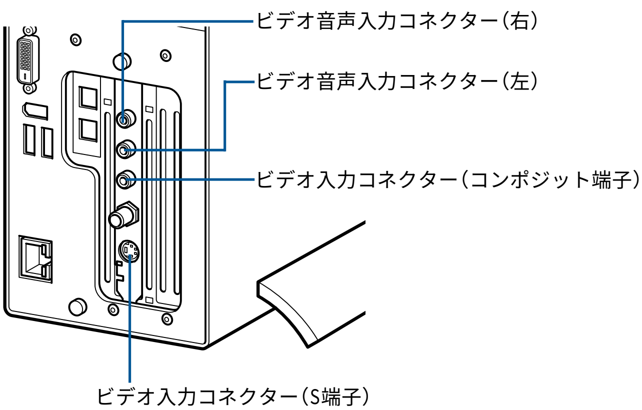
●接続する

1 パソコンとビデオなどの外部機器の電源を切る

2 パソコンとビデオなどの外部機器を接続する



■背面コネクターの一例



3 外部機器、パソコンの順に電源を入れる

重要
◎この方法で、デジタルビデオカメラの映像を取り込むことはできません。

重要
◎機器により端子は異なります。それぞれのマニュアルをご参照ください。

参照
コネクターの位置について→『接続と準備』の「5.いろいろな使い方をするために」「各部の名前とはたらきを知っておこう」

●Navistationの設定をする



1 Navistationを立ち上げる

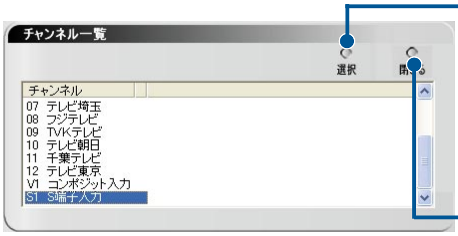
2 赤丸部分をクリック

▼チャンネル一覧が表示されます。

3 接続するコネクターに合わせたチャンネルをクリック

ここでは、背面のビデオ入力コネクター（S端子）にS映像ケーブルを接続する場合を例にします。

接続するパソコンのコネクター	選択するチャンネル
背面のビデオ入力コネクター（S端子）	S端子入力1
背面のビデオ入力コネクター（コンポジット端子）	コンポジット入力1



4 [選択]ボタンをクリック

5 [閉じる]ボタンをクリック

●映像の取り込みを開始する

1 外部機器側の再生ボタンを押す

2 次の点を確認する

・[Navistation]画面に映像が表示されている

・スピーカーから音声が聞こえている



3 取り込みたい映像が表示されたら、[Navistation]画面の をクリック

▼取り込みが始まります。

4 取り込みを停止するときは、 をクリック

参照

Navistationの立ち上げについて→「TVの映像を録画する」

ヒント

★音量の調整は、Windowsで行います。

参照

設定の詳細について→『パソコン応用』1章の「Windowsの音量を調整する」

参照

設定方式の詳細について→『始めよう！ TVエンターテインメント』6章の「設定を変えて、もっと使いやすく」

MPEG形式データとして取り込む

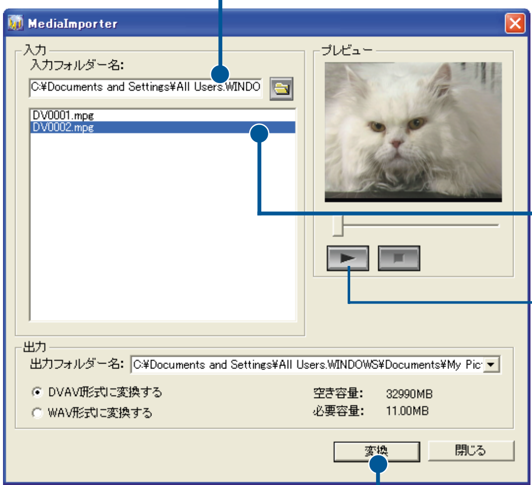
MPEG形式データとして取り込みます。
TVモデルの場合、Navistationでパソコンに録画したテレビ番組などの映像をMotionDV STUDIOに取り込んで編集できます。

1 MotionDV STUDIOを立ち上げる

2 [ファイル]メニュー－[入力]－[メディアインポート]をクリック

▼[MediaImporter]画面が表示されます。

3 MPEG形式◆のデータが保存されているフォルダー名を入力



4 取り込みたい画像をクリック

クリックすると、プレビューされます。

5 [変換]ボタンをクリック

6 変換が終わったら[OK]ボタン、[閉じる]ボタンをクリック

▼取り込んだ映像はライブラリー画面の[動画]タブに表示されます。

参照

MotionDV STUDIOの立ち上げについて→「デジタルビデオテープの映像を取り込む」の「MotionDV STUDIOを立ち上げる」

重要

◎MPEG2形式のデータはプレビューできません。

ヒント

★データの大きさによって変換にかかる時間が異なります。

★MPEG形式のデータは、DVAVI形式のデータに変換されて取り込まれます。

★ライブラリー画面の[MPEG/ASF]タブで表示されるファイルは編集できません。

デジタルビデオテープの映像を取り込む

i.LINK対応のデジタルビデオカメラで撮った映像をパソコンで編集するには、「MotionDV STUDIO」を使います。

ここでは、MotionDV STUDIOの基本的な使い方を紹介します。

●デジタルビデオカメラを接続する

パソコンを立ち上げたあと、デジタルビデオカメラをパソコンに接続しましょう。

1 **デジタルビデオカメラの電源を入れ、動作モードを再生モードに設定してから、i.LINKケーブル（別売）をデジタルビデオカメラのi.LINKコネクターに接続する**

2 **i.LINKケーブルのもう一方を、パソコンのi.LINKコネクターに接続する**

ヒント

★ 本書で説明している以外の詳しい使い方は、「MotionDV STUDIO取扱説明書」をご参照ください。

重要

◎ デジタルビデオカメラで撮った映像を、Windowsに付属のムービーメーカーで編集しないでください。

重要

◎ i.LINKケーブルは、必ずパソコンとデジタルビデオカメラの電源を入れてから接続してください。

ヒント

★ i.LINKケーブルの接続はデジタルビデオカメラによって異なります。ケーブルの接続は、デジタルビデオカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

参照

パソコンへのi.LINKケーブルの接続について→『パソコン応用』3章の「i.LINK機器を接続する」

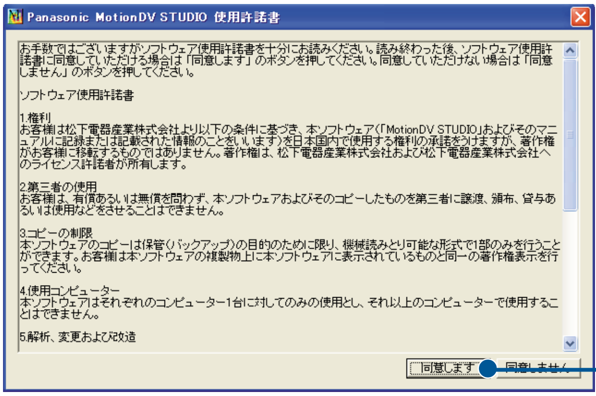
●MotionDV STUDIOを立ち上げる

MotionDV STUDIOを立ち上げましょう。

1

[わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[DV編集]メニュー、[MotionDV STUDIO]アイテムをクリック

▼初めて立ち上げたときは、使用許諾の画面が表示されます。



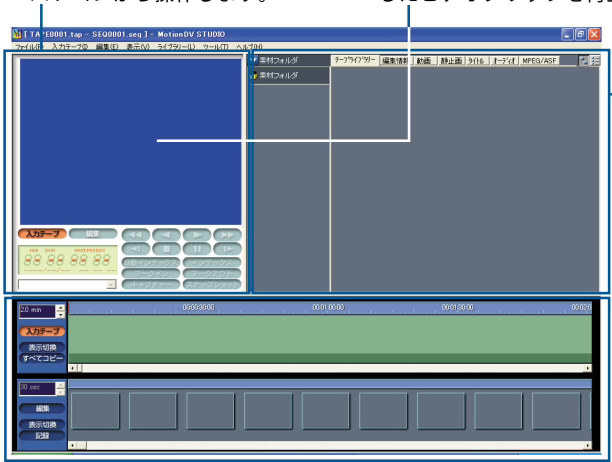
2

[同意します]ボタンをクリック

▼MotionDV STUDIOが立ち上がります。

コントロール画面
接続したデジタルビデオカメラをパソコンから操作します。

プレビュー画面
デジタルビデオカメラの映像や編集したビデオクリップを再生します。



ライブラリー画面
取り込んだ映像や編集したビデオクリップなどがアイコン表示されます。

編集画面
上段の入力テープトラックには、接続機器の映像、下段の編集トラックにはテープの映像やビデオクリップを配置して編集します。

ヒント
★デジタルビデオカメラを認識するのに時間がかかる場合があります。

ヒント
★うまく接続できないときは、次のことをご確認ください。
・デジタルビデオカメラの動作モードが再生側になっているか。
・デジタルビデオカメラにテープはきちんと入っているか。
・i.LINKケーブルはしっかり差し込まれているか。
それでも、認識されないときは、パソコンとデジタルビデオカメラの電源を切り、最初からやり直してください。

ヒント
★接続に関する詳しい説明は、『MotionDV STUDIO取扱説明書』(紙)の「Q & A」および、MotionDV STUDIOのPDF説明書をご参照ください。

ヒント
★パソコンの設定によって、MotionDV STUDIOの各画面やボタンの配列が異なります。左の画面は、出荷時状態の場合です。

参照
画面の領域の設定について→『パソコン応用』1章の「ディスプレイを調整する」

●映像を取り込む

映像を見ながら、好きなシーンを取り込みましょう。
映像を取り込むことを、「キャプチャー」と呼びます。

1 デジタルビデオカメラに編集するテープを入れ、デジタルビデオカメラとパソコンを接続する

2 [入力テープ]ボタンをクリック



3 [▶]ボタンをクリック

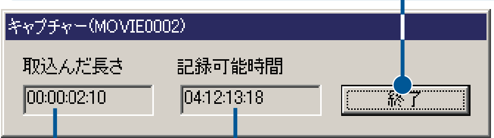
▼プレビュー画面に映像が映ります。

4 取り込みたいところで[キャプチャー]ボタンをクリック

▼取り込みが始まり、キャプチャー画面が表示されます。

5 取り込みを終了したいところで[終了]ボタンをクリック

▼取り込みが終了し、取り込んだ映像(ビデオクリップ)がライブラリー画面に表示されます。



取り込んだ映像の長さ(時間)

記録可能時間(残りどれだけの映像が記録できるかを示します。)

取り込んだビデオクリップの最初のシーン



重要

◎ビデオクリップは約4分の取り込みで約1GBのハードディスク容量が必要です。取り込む前にハードディスクに十分な空き容量を確保してください。

ヒント

★接続中は電源が入っている状態でテープの出し入れをしてください。

ヒント

★キャプチャー中は、プレビュー画面の映像が小さくなります。

ヒント

★取り込みが終了しても、テープの再生は続きます。

映像データを編集する

デジタルビデオカメラで撮った映像やMPEG形式の映像データを編集するには、「MotionDV STUDIO」を使います。
取り込んだ映像に特殊効果を入れたり、見たい部分だけのビデオクリップを簡単に作ることができます。
気に入った映像を静止画(スナップショット)として取り込んだり、編集した映像を保存することもできます。

取り込んだ映像を見る

Navistationで録画した映像は、Navistationで見ます。
デジタルビデオカメラで撮った映像は、MotionDV STUDIOで見ます。

●録画した映像をNavistationで見る

1 Navistationを立ち上げて、[ライブラリ]ボタンをクリック

▼[ライブラリ]画面が表示されます。



2 再生したいデータに合わせて、[動画]、[静止画]、[音声]のいずれかをクリック

▼データのタイトルが、画面右側に一覧表示されます。



3 再生したいタイトルのデータをダブルクリック

▼データが再生されます。

参照
Navistationの立ち上げについて→「映像データをパソコンに取り込む」の「TVの映像を録画する」

●取り込んだ映像をMotionDV STUDIOで見る

取り込んだ映像(ビデオクリップ)を再生しましょう。

1 MotionDV STUDIOを立ち上げる

2 ライブラリー画面の[動画]タブをクリック

▼取り込んであるビデオクリップが表示されます。



3 見たいビデオクリップをダブルクリック

▼Windows Media Playerが立ち上がり、ビデオクリップが再生されます。



終了するときは、ここをクリックします。

[一時停止]ボタン

[停止]ボタン

[音量調整]ボタン

参照

MotionDV STUDIOの立ち上げについて→「映像データをパソコンに取り込む」の「デジタルビデオテープの映像を取り込む」の「MotionDV STUDIOを立ち上げる」

ヒント

★AVIファイル(ビデオクリップのファイル形式)に対応したソフトウェアがインストールされている場合は、そのソフトウェアが立ち上がることがあります。

参照

Windows Media Playerの使い方は、ヘルプをご参照ください。

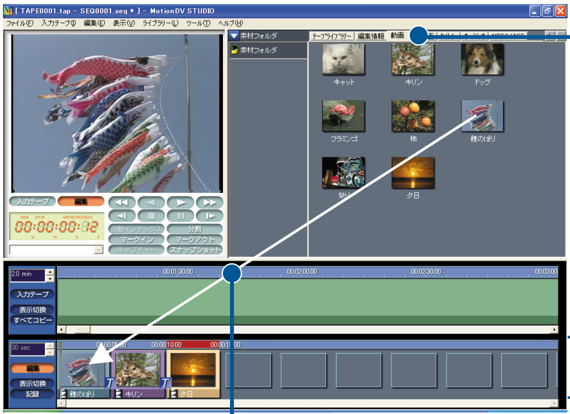
映像データを編集する

取り込んだビデオクリップを好きな順番につなぎあわせて、映像を編集しましょう。

●ビデオクリップをつなぐ

1 [ファイル]メニュー－[新規作成]をクリック

2 ライブラリー画面の[動画]タブをクリック



3 つなぎあわせる順番にビデオクリップを編集トラックにドラッグアンドドロップ

ヒント
★ 静止画を配置することもできます。

●ビデオクリップの順番を変える

編集トラックに配置したビデオクリップの順番を変えましょう。

1 順番を変えるビデオクリップを入れ替える場所にドラッグアンドドロップ



ヒント
★ 編集トラックのビデオクリップを削除しても、編集情報が削除されるだけです。ライブラリー画面に取り込んだビデオクリップは削除されません。

●編集トラックからビデオクリップを削除する

1 編集トラックで削除するビデオクリップをクリック

2 [編集]メニュー－[削除]をクリック

ヒント
★ 編集トラックのビデオクリップをすべて削除するときは、[編集]メニュー－[クリア]をクリックします。

編集した映像データを再生する

編集したビデオクリップを再生しましょう。

1 [編集]ボタンをクリック

2 [◀◀]ボタンを数回クリック

▼クリックするごとに1つ前のビデオクリップの開始点にカレントバーが戻ります。



3 [▶]ボタンをクリック

▼編集した映像を再生します。

カレントバー
再生する開始点を示します。

ヒント

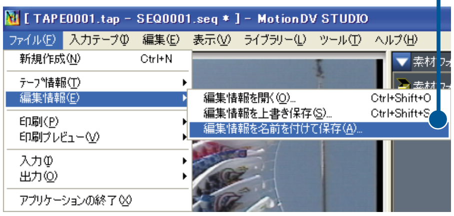
★ **カレントバーを直接ドラッグアンドドロップして先頭まで戻すこともできます。**

映像の編集情報をハードディスクに保存する

●編集したビデオクリップの編集情報を保存する

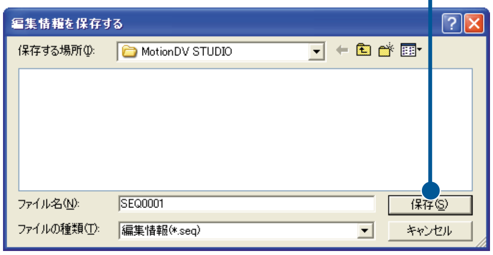
1 [ファイル]メニュー－[編集情報]－[編集情報を名前を付けて保存]をクリック

▼[編集情報を保存する]画面が表示されます。



2 ファイル名を入力して[保存]ボタンをクリック

▼編集したビデオクリップの編集情報が保存され、ライブラリー画面の[編集情報]タブに表示されます。



●保存したビデオクリップの編集情報を開く

1 ライブラリー画面の[編集情報]タブをクリック

▼保存したビデオクリップが表示されます。



2 開くビデオクリップをダブルクリック

重要

◎ 編集したビデオクリップは、MotionDV STUDIOでビデオクリップを保存している[共有ドキュメント]－[共有ピクチャ]－[Motion DV STUDIO]の下に保存されます。

●DVDのアルバムを作る

DVD-RAM/Rドライブ内蔵のパソコンの場合、DVD-RAMビデオレコーダーでDVD-RAMに書き込んだ映像を「DVD-MovieAlbumSE」を使って見たり、編集や保存することができます。
DVD-MovieAlbumSEを使うと、DVD-RAMの映像プレイリストを作り、頭出しができるようになります。

DVD-MovieAlbumSEを使うときは、次のようにします。

1 [わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[DVD作成]メニュー、[DVD-MovieAlbumSE]アイテムをクリック

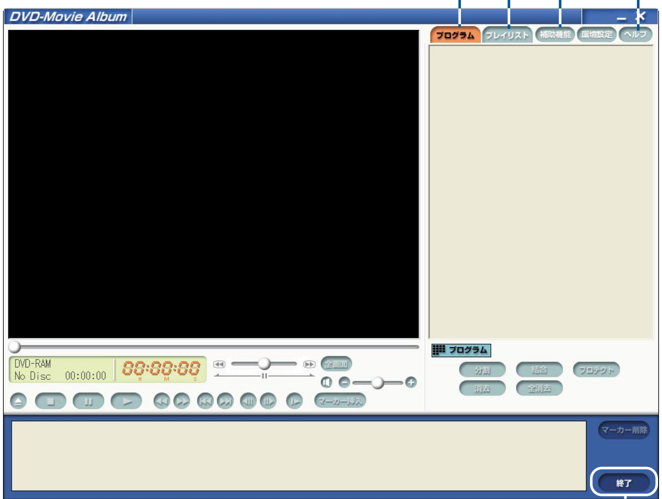
▼DVD-MovieAlbumSEの画面が表示されます。

プログラムを再生・編集します。

プレイリストを作成・編集します。

MotionDV STUDIOのDVAVIファイルや、DVD-MovieAlbumSEで切り出したMPEG2ファイルの取り込みと、MPEG2ファイルの動画切り出しを行います。

ヘルプを参照できます。



終了します。

ヒント

★ DVD-MovieAlbumSEを使って映像を見たり、編集するには、DVD-RAM/Rドライブが必要です。映像を見るだけのときは、DVD-RAM読み込み対応のDVD-ROM＆CD-R/RWマルチドライブやDVD-ROMドライブが必要です。

★ 詳しい使い方は、ヘルプをご参照ください。

★ DVD-MovieAlbumSEを立ち上げたとき、「ドライブE:は、他のアプリケーションで使用中です。」と表示される場合があります。このときは、ドライブEの中を表示しているウィンドウやドライブEを使用しているアプリケーションをすべて終了し、[再試行]ボタンをクリックしてください。

重要

◎ DVD-MovieAlbumSE以外で書き込んだデータは動作しません。

◎ ビデオ映像を記録したディスクをファイナライズしないでください。ファイナライズすると、映像が使えなかったり、DVD-RAMビデオレコーダーで読み込もうとしても、「フォーマットされていない」と判断されることがあります。

◎ 映像を記録・編集したものは個人またはご家族でお楽しみください。これ以外は著作権上、著作者に無断で使用できません。

ヒント

★ DVD-MovieAlbumSEを使用中に、DVD-RAMディスクを取り出すときは、アプリケーションの[取り出し]アイコンをクリックします。

重要

◎ DVAVIファイルの取り込み時、低ビットレート(LPモード)、高解像度設定の組み合わせでは、取り込めないことがあります。このときは、ビットレートを上げるか、取り込みサイズ(解像度)を低くしてください。

◎ 取り込めるMPEG2ファイルは、DVD-MovieAlbumSEで切り出したもののみです。

映像データをディスクやデジタル機器に出力する

MotionDV STUDIOで編集したデータやMPEG形式に変換した映像データをDVD-RAMやDVD-Rなどのディスクや、デジタル機器に保存します。

映像をDVD-RAMに保存する

DVD-RAMをご購入後、はじめて使用するときは、フォーマットする必要があります。DVD-RAMをフォーマットするには、「DVDForm」を使います。
フォーマットすると、ハードディスクと同じように操作できます。

●DVD-RAMをフォーマットする

DVDFormを使ってDVD-RAMをフォーマットするときは、次のようにします。

1 [わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[DVD作成]メニュー、[DVDForm]アイテムをクリック

▼フォーマット画面が表示されます。

2 DVD-RAM/Rドライブを選択



3 フォーマットの種類を選択

4 ボリュームラベルを入力

5 [開始]ボタンをクリック

▼フォーマットが始まります。

ヒント

★ DVDFormを使うには、DVD-RAM/Rドライブが必要です。

★ 詳しい使い方は、ヘルプをご参照ください。

重要

◎ フォーマット種別でUDF形式◆を選択した場合、ボリュームラベルを入力してください。入力しないと'PANA-UDF'が自動的に設定されます。

◎ DVD-RAMドライブに未フォーマットのDVD-RAMを入れ、マイコンピュータのDVD-RAMドライブアイコンをダブルクリックすると、FAT32形式でフォーマットできます。
UDF形式でフォーマットする場合は、「DVDForm」をお使いください。

◎ DVD-MovieAlbumSEでUDF2.0フォーマットができない場合があります。このときは、『アプリケーションCD Disc1』の「DVDRCHK」フォルダー内の「DVDRCHK.EXE」を実行してください。

ヒント

★ フォーマットにかかる時間は、ディスクの種類によって異なります。

ヒント

★ DVD-MovieAlbumSEで使用するDVD-RAMをフォーマットするときは、「UDF 2.0形式」にしてください。

重要

◎ DVD-RAMをフォーマットするときは、節電機能を設定しないでください。フォーマット中に節電状態になるとフォーマットが失敗します。
失敗したときは、節電機能を「なし」に設定し、再度フォーマットを行ってください。

DVD-RAMのデータをコピーする

DVD-RAM/Rドライブ内蔵のパソコンの場合、ビデオフォーマットに変換した映像データをハードディスクにコピーして保存するときは、「DVD-MovieAlbumコピーツール」を使います。
さらに、このコピーツールで保存した映像データを別のDVD-RAMに保存することもできます。

●DVD-RAMのデータをハードディスクにコピーする

1 **[わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[DVD作成]メニュー、[DVD-MovieAlbumコピーツール]アイテムをクリック**

▼メッセージが表示されます。

2 **[OK]ボタンをクリック**

3 **[▼]ボタンをクリックし、DVD-RAMドライブをクリック**

4 **[参照]ボタンをクリックし、コピー先のフォルダーを選択し、[OK]ボタンをクリック**



5 **[開始]ボタンをクリック**

ヒント

★コピーツールは、ビデオレコーディングされたDVD-RAMのデータをコピーするものです。ビデオレコーディングされたデータ以外のデータはコピーできません。

ヒント

★[ハードディスク→DVD-RAM]タブをクリックすると、左記の手順と同様にしてハードディスクのデータをDVD-RAMにコピーできます。

★コピー元の参照フォルダーには保存時に作成された「DVD_RTAV」を選択してください。
ただし、ハードディスクからDVD-RAMにコピーできるデータはこのコピーツールで保存したデータだけです。

映像データをDVD-Rに保存する

デジタルビデオカメラなどで撮った映像を編集してDVD-Rに保存するときは、「DVDit! LE」を使います。

●DVDit! LEを立ち上げる

1 **[わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[DVD作成]メニュー、[DVDit! LE]アイテムをクリック**

▼[DVDit! ユーザー登録]画面が表示されます。

2 **[後で登録する]ボタンをクリック**

▼確認のメッセージが表示されます。

3 **[OK]ボタンをクリック**

▼操作を選択する画面が表示されます。

4 **[新しいプロジェクトを始める]ボタンをクリック**

▼[プロジェクトの設定]画面が表示されます。



ヒント

★ DVDit! LEでは、DVD-RとCD-Rに映像データを書き込むことができます。

★ DVDit! LEの詳しい使い方は、ヘルプをご参照ください。

ヒント

★ DVDit! LEで書き込んだDVD-Rは、パソコンのDVD-RAM/R、DVD-ROM、DVD-ROM＆CD-R/RWマルチドライブや市販のDVDプレーヤーで再生できます。

★ DVDit! LEで作成されたDVDビデオを、市販のDVDプレーヤーと市販のTVを使って表示させると、映像の端が一部画面の外にはみ出して表示されないことがあります。
これは、映像の上下左右の端の部分では、ノイズやゆがみがあることが多いため、多くの家庭用テレビや家庭用DVDプレーヤーではデータとして存在する映像エリアの上下左右を見えないようにしているためです。DVDit! LEでは、映像の見えなくなる可能性のあるところまでを含め、データを作成しているため、このような現象が発生します。
このため、市販のDVDプレーヤーで再生するコンテンツを作るときは、上下左右にある程度の余白をとって作成してください。

重要

◎ すべてのDVDプレーヤーで再生を保証するものではありません。

ヒント

★ DVD-Rの最大記録時間は、読み込むMPEG2ファイルによって異なります。

ヒント

★ DVDit! LEで書き込んだCD-Rは、パソコンのDVD-RAM/R、DVD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM&CD-R/RWマルチドライブで再生できます。

★ CD-Rには約15分〜20分の映像が記録できます。

ヒント

★ [後で登録する]を選ぶと、1週間後に登録をお願いするメッセージが表示されます。

★ [ヘルプ]メニューの[登録]からもユーザー登録を行うことができます。

5 「ビデオ様式」と「ビデオフォーマット」を選択



6 [設定終了]ボタンをクリック

▼[DVDit! LE]画面が表示されます。

ヒント

★「ビデオ様式」では、作成するDVDの国際規格を設定します。日本国内で使用する場合は[NTSC]を選択します。

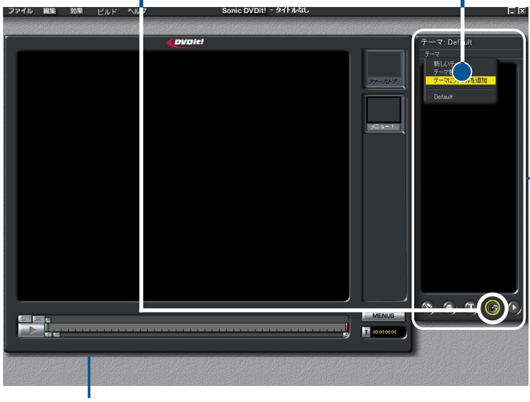
★「ビデオフォーマット」ではDVDビデオのフォーマット形式と使用ディスクを指定します。「MPEG2 for DVD-R/RW(DVD準拠)」では、MPEG2のデータをDVD-Rに書き込みます。

●映像ファイルを読み込む

1 をクリック

2 [テーマ]メニュー－[テーマにファイルを追加]をクリック

▼[ビデオファイルまたは静止画像ファイルを選択]画面が表示されます。



[パレット]ウィンドウ
作成するプロジェクトで使用するコンテンツ(背景、ボタン、文字、映像、音声)がテーマ別に分類されて表示されます。

[ビデオモニタ]ウィンドウ
プロジェクトのメニュー画面などを作成します。

ヒント

★読み込めるのは前項の「ビデオフォーマット」で選択したMPEG1またはMPEG2形式の動画データです。

ヒント

★DVDit! LEに読み込む映像ファイルは、あらかじめMotionDV STUDIOなどの編集ソフトで作成しておきます。

★DVDit! LEでは、映像ファイルのほかにタイトルに使う静止画像や、ボタンなどのグラフィックファイルも読み込めます。

ヒント

★エクスプローラから[パレット]ウィンドウに直接ドラッグ&ドロップしても取り込むことができます。

ヒント

★複数の映像ファイルを一度に読み込むときは、[Ctrl]キーを押しながら選択します。

3 映像ファイルをクリック



4 [開く]ボタンをクリック

▼[パレット]ウィンドウに読み込んだ映像ファイルがアイコンで表示されます。

●プロジェクトを作る

オープニングのタイトルにボタンをつけ、選択した映像を再生するDVDビデオを作ります。ここでは、DVD-Rをプレーヤーにセットすると、メニューが表示されるようにします。

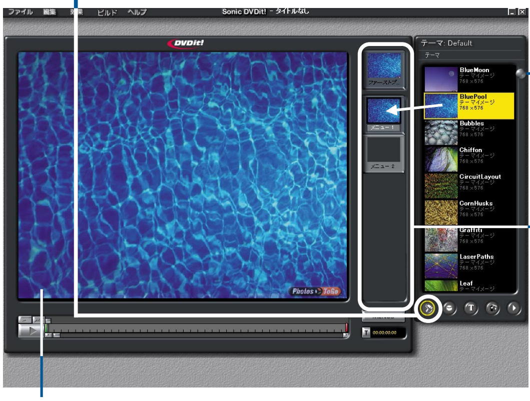
タイトルを作成する

1 **をクリック**

▼パレットに背景の一覧が表示されます。

2 **タイトルにする背景を[メニュープレイスフォルダ]までドラッグ**

▼[メイン]ウィンドウに背景が表示されます。



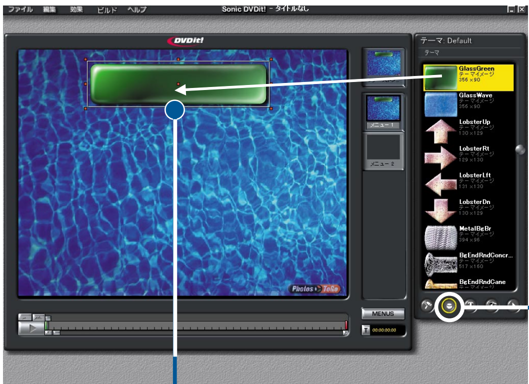
このボタンをドラッグすると画面がスクロールします。

[メニュープレイスフォルダ]

[メイン]ウィンドウ

3 **をクリック**

▼パレットにボタンの一覧が表示されます。



4 **ボタンを[メイン]ウィンドウの任意の位置までドラッグ**

ヒント

★タイトルとは、DVDをセットしたときに最初に表示される画面のことです。タイトルにはメニューやムービーを指定できます。

★タイトルにメニューを指定すると、メニュー画面のボタンをクリックすると、指定した映像が始まります。

★タイトルにムービーを指定すると、オープニングムービーが流れたあと、自動的に本編映像が始まります。

ヒント

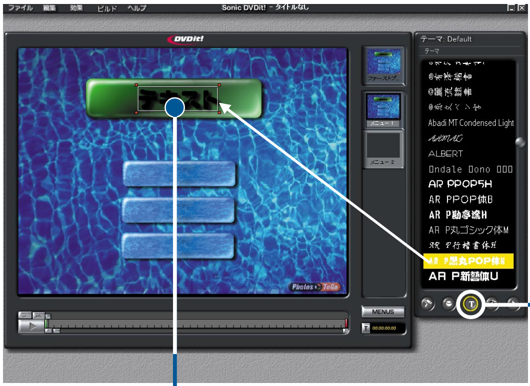
★1つのタイトルには最大36個までボタンを配置することができます。

ヒント

★ボタンをクリックして表示された■をドラッグして好みの大きさに変えることもできます。

5 ［T］をクリック

▼パレットにフォントの一覧が表示されます。



6 フォント名をボタンの上までドラッグ

7 テキストボックスをダブルクリックしてテキストを入力

8 [効果]メニューー[テキストプロパティ]をクリック

▼[テキストプロパティ]画面が表示されます。



9 必要に応じて設定を変え、[OK]ボタンをクリック

ヒント

★テキストを[メイン]ウィンドウに配置すると、最初は「テキスト」と表示されます。

ヒント

★文字の大きさを変えるときは[サイズ]に文字のポイントを入力します。

★文字の色を変えるときは[色]のグラデーションの上下の●をスライドさせます。

★テキストをクリックし、テキストボックスの回りの■をドラッグし大きさに変えることもできます。

ヒント

★[効果]メニューの[色彩調節]をクリックすると、背景やボタン、テキストなどの明るさやコントラストを調節することができます。

ボタンに映像をリンクさせる

ここでは、ボタンをクリックするとリンクされている映像が再生されるようにします。

1 **[アイコン]をクリック**

▼パレットに読み込んだ映像のアイコンが表示されます。



2 **映像アイコンをリンクさせるボタンまでドラッグ**

▼ボタンが映像ファイルにリンクされます。

3 **同じように映像とボタンをリンクさせる**

プレビューして確かめる

1 **[パレット]ウィンドウの[アイコン]をクリック**

▼リモートコントロールが表示されます。



リモートコントロール

2 **リンクされたボタンをクリック**

▼リンクされた映像が再生されます。

3 **[×]ボタンをクリック**

▼リモートコントロールが消えます。

ヒント

★[メイン]ウィンドウで右クリックして表示されるメニューから[ボタンリンクを表示]を選択すると、ボタンにリンクされている映像のファイル名などを確かめることができます。もとに戻すには、右クリックメニューから[ボタンリンクを隠す]を選択します。

1 [ファイル]メニュー－[プロジェクト設定]をクリック

▼[Project Settings]画面が表示されます。

2 プロジェクトを書き込むディスクを選択



3 [ディスク名]にディスクの名前を入力

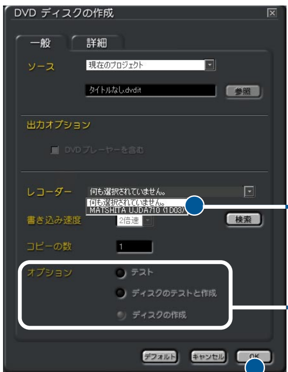
4 [OK]ボタンをクリック

●DVD-Rに書き込む

1 未使用のDVD-RをDVD-RAM/Rドライブにセット

2 [ビルド]メニュー－[DVDディスクの作成]をクリック

▼[DVDディスクの作成]画面が表示されます。



3 内蔵のDVD-RAM/Rドライブを選択

4 書き込む方法を選択

5 [OK]ボタンをクリック

▼プロジェクトがディスクに書き込まれます。

ヒント

★[現在のプロジェクトサイズ]に作成中のプロジェクトの容量が表示されます。容量に赤色のバーが表示されたときは、プロジェクトの容量がディスクの容量を超えています。そのときは、プロジェクトの編集に戻り、映像ファイルを減らすなどして容量を少なくしてください。

ヒント

★[出力サイズ設定]で、プロジェクトを書き込むディスクを選びます。
通常DVD-Rのビデオフォーマットでは[DVD-R(4.7GB)]、CD-Rのビデオフォーマットでは[CD-R(650MB)]を選びます。

ヒント

★プロジェクトを書き込めるのは未使用のDVD-Rです。

★1枚のディスクには1つのプロジェクトが書き込めます。

ヒント

★[オプション]で[ディスクのテストと作成]を選ぶと、作成したプロジェクトがセットしたディスクに書き込めるかどうかをテストした後、ディスクに書き込みます。

ヒント

★DVD-Rに書き込むときは、ハードディスクにプロジェクトサイズ＋プロジェクトサイズの30%の空き容量が必要になります。
例 4.7GBのファイルを書き込む場合
4.7GB＋(4.7×30%)＝約6.2GB

★設定によっては書き込み後も、C:\Windows￥temp\Sonicフォルダー内に一時ファイルが残ります。必要に応じて一時ファイルを削除してください。削除しないとハードディスクの空き容量が極端に少なくなることがあります。

★DVD-Rに書き込むときは、最低12分の書き込み時間と、内部処理時間がかかります。

編集した映像をデジタル機器に出力する

編集した映像をデジタルビデオカメラやビデオなどのテープに録画したり、ビデオレコーディングフォーマット(VRO形式◆)のファイルに変換してDVD-RAMに書き込むときは、「MotionDV STUDIO」と「DVD-MovieAlbumSE」を使います。

●映像をテープに録画する

デジタルビデオカメラやデジタルビデオカセットレコーダーなどをパソコンと接続し、編集内容をテープに録画することができます。
録画するときは、録画する側のデジタルビデオ機器でどのように録画されるかをリハーサルすることもできます。

参照
テープへの録画は、『MotionDV STUDIO取扱説明書』の「編集内容をテープに録画しよう」をご参照ください。

●映像を市販のDVD-RAMビデオレコーダーで再生できるように書き込む

DVD-RAM/Rドライブ内蔵のパソコンの場合、編集した映像をVRO形式◆のファイルに変換すると、DVD-RAMに書き込めます。書き込まれた映像は、市販のDVD-RAMビデオレコーダーで再生することができます。

参照
MotionDV STUDIOの立ち上げについて→「デジタルビデオテープの映像を取り込む」の「MotionDV STUDIOを立ち上げる」

1 DVD-RAM/RドライブにDVD-RAMをセット

2 MotionDV STUDIOを立ち上げる



3 ライブラリー画面でビデオクリップを右クリック

4 [DVD-RAMへ出力]をクリック

▼DVD-MovieAlbumSEが立ち上がり[ファイルからの画像取り込み]画面が表示されます。

5 [開始]ボタンをクリック

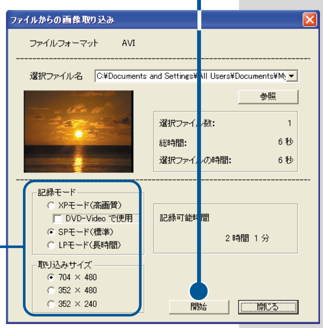
▼編集したビデオクリップがVRO形式の映像としてDVD-RAMに書き込まれます。

●書き込み時間(目安)

記録モードと取り込みサイズの設定によって、次のように書き込み時間(目安)が変わります。

取り込みサイズ / 記録モード	720×480	352×480	352×240
XPモード(高画質)	2分14秒	1分40秒	1分01秒
SPモード(標準)	2分02秒	1分30秒	54秒
LPモード(長時間)	1分57秒	1分28秒	52秒

取り込み元ファイル:1分のDVAVIファイル
CPU:Pentium 4 1.6GHzの場合



3

オリジナルCD、MDを作成しよう

好きな曲を録音した音楽CDを作ったり、MDに録音することができます。
CDのラベルを作ることもできます。

音楽CDを録音する

音楽CDを聴いたり、音楽CDをWAVE形式◆でパソコンに録音するときは、「BeatJam XX-TREME(以下、BeatJam)」を使います。
BeatJamを使うと、パソコンで音楽を編集できます。

BeatJamを使う

1 [わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[デジタルオーディオ]メニュー、[BeatJam XX-TREME]アイテムをクリック

▼BeatJamのミニプレーヤーまたはメインプレーヤーが立ち上がります。

ミニプレーヤー



メインプレーヤー



重要
◎録音した音楽は個人またはご家族でお楽しみください。これ以外は著作権上、著作者に無断で使用できません。

WAVE形式で音楽を録音する

音楽をWAVE形式に変換して録音し、ハードディスクに保存します。

1 CD-R/RWドライブなどに音楽CDを入れる

2 メインプレーヤーで、[CD]ボタンをクリック

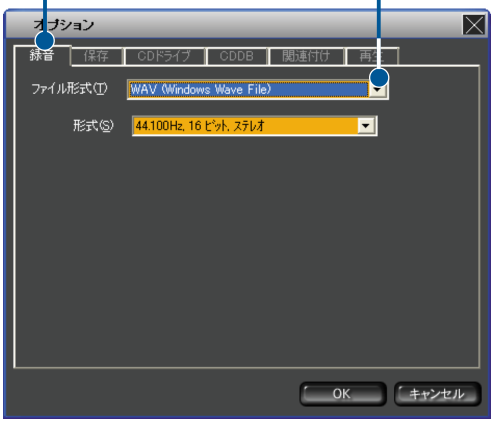


3 [メニュー]ボタン－[オプション]をクリック

▼[オプション]画面が表示されます。

4 [録音]タブをクリック

5 [ファイル形式]欄をクリックし、[WAV(Windows Wave File)]をクリック



オリジナルCD、MDを作成しよう

6 ［保存］タブをクリック

7 ［保存先］欄に保存先のフォルダー名を入力

［参照］ボタンをクリックして保存先を指定できます。



8 ［OK］ボタンをクリック

▼メインプレーヤーの画面に戻ります。

9 保存しない曲をクリックし、□ にする



10 ［録音］ボタンをクリック

▼指定したフォルダーに音楽データが保存され、プレイリストが作成されます。

ヒント

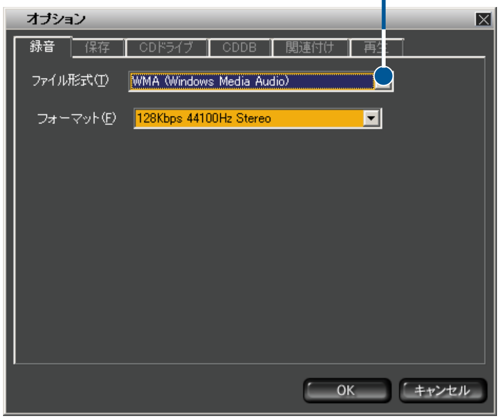
★再生するプレイリストを、録音した曲から新しく作成することができます。
［プレイリスト］ボタンをクリックし、プレイリストの画面で［編集メニュー］ボタン－［プレイリストの作成］をクリックし、プレイリストの名前を入力します。
［編集メニュー］ボタン－［曲の追加］－［フォルダから検索して追加］をクリックします。
［フォルダの参照］画面で録音した曲のあるフォルダーをクリックし、［ＯＫ］ボタンをクリックします。
［音楽ファイルの検索］画面でプレイリストを入れる曲を選択し［追加］ボタンをクリックして録音した曲を追加します。

WMA形式のデータで保存する

音楽をWMA形式に変換して保存するには、「BeatJam　XX-TREME（以下、BeatJam）」を使います。

1 「音楽CDを録音する」「WAVE形式で音楽を録音する」の手順１〜４までを行う

2 [ファイル形式]欄をクリックし、[WMA(Windows Media Audio)]をクリック



3 「音楽CDを録音する」「WAVE形式で音楽を録音する」の手順６以降を行う

音楽CDを作る

CD-Rに音楽データを書き込んで音楽CDを作るときは、「BeatJam」を使います。音楽データを書き込むには、CD-R/RWドライブが必要です。

BeatJamで音楽CDを作る

1 「音楽CDを録音する」の「BeatJamを使う」と同じ手順でBeatJamを立ち上げる

2 [プレイリスト]ボタンをクリック

3 音楽CDに書き込むプレイリストをクリック

4 [CD作成]ボタンをクリック

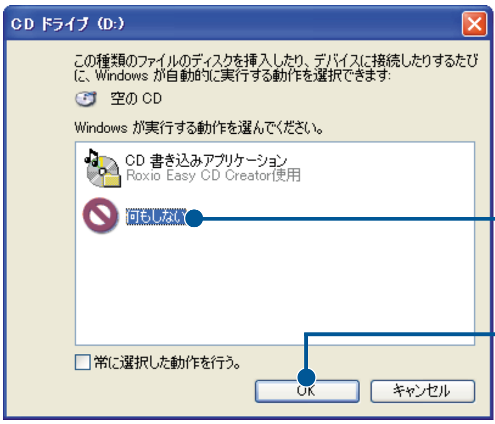
▼Writingの画面が表示されます。



5 CD-Rを、CD-R/RWドライブに入れる

6 [何もしない]をクリック

7 [OK]ボタンをクリック



ヒント

★音楽データの書き込みは、Easy CD Creatorでもできます。
[プロジェクトの選択]画面で[音楽CDの作成]－[musicCD]をクリックします。このあとデータのバックアップと同様にして音楽CDを作成します。

参照

「CD-R/CD-RWにデータをバックアップする」

ヒント

★PriusサウンドRECで録音したデータもCD-Rに書き込めます。

★音楽CDプレーヤーで再生する音楽CDは、CD-Rで作ります。

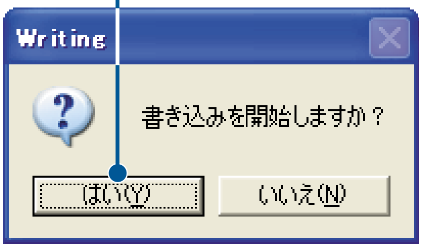
8 [開始]ボタンをクリック



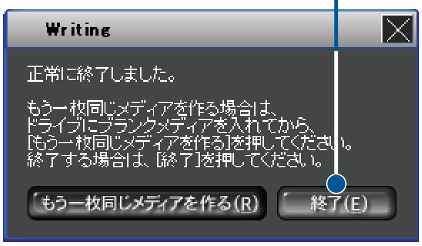
ここをクリックすると、終了します。

9 [はい]ボタンをクリック

▼[Writing Start]画面が表示され、書き込みが始まります。書き込みが終わると、CD-R/RWドライブからCD-Rが自動的に出てきます。



10 CD-Rを取り出し、[終了]ボタンをクリック



オリジナルCD、MDを作成しよう

MDに録音する

音楽CDの曲をMD◆に録音するときは、「BeatJam XX-TREME(以下、BeatJam)」を使います。

MDに録音する

1 光デジタル出力コネクターとMDレコーダーの光デジタル入力コネクターを市販の光デジタルケーブルで接続する

2 「音楽CDを録音する」の「BeatJamを使う」の手順1を行う

3 メインプレーヤーで、[プレイリスト]ボタンをクリック

4 [プレイリスト]でMDにコピーするプレイリストをクリック

5 [メニュー]ボタン－[オプション]をクリック

▼[オプション]画面が表示されます。



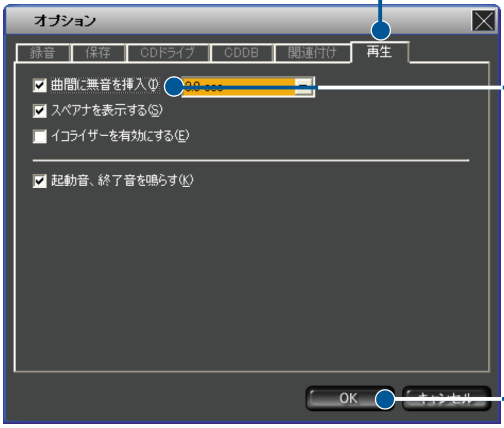
ヒント

★光デジタルケーブルには角型と丸型があり、パソコンによって接続できるコネクターが異なります。形状にあわせてご購入ください。

参照

『パソコン応用』3章の「光デジタルオーディオ機器を接続する」

6 [再生]タブをクリック



7 [曲間に無音を挿入]をクリックし、☑にする

8 [OK]ボタンをクリック

▼メインプレーヤーの画面に戻ります。

9 MDレコーダーを録音状態にする



10 [▶]ボタンをクリック

▼再生と同時にMDにも録音されます。

アナログ機器から音声をハードディスクに録音する

オーディオカセットプレーヤーや、レコードプレーヤーなどのアナログ機器から音声をハードディスクに録音するときは、「PriusサウンドREC」を使います。
オーディオ機器とパソコンを接続するには、市販のオーディオケーブルが必要です。ここで録音したデータを使って、オリジナル音楽CDなどを作成できます。

ヒント

★ レコードプレーヤーなどのオーディオ機器を接続するには、パソコンのライン入力端子などへの出力レベルを確保する必要があります。場合によってはオーディオ機器向けの特別な機器（フォノイコライザーなど）を使ってください。

参照

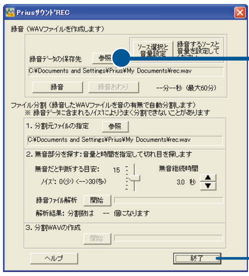
ライン入力コネクターについて
→『接続と準備』「5.各部の名称とはたらきを知っておこう」

1 アナログ機器に市販のオーディオケーブルを接続する

2 オーディオケーブルのもう一方を、パソコンのライン入力コネクターに接続する

3 [スタート]ボタン－[すべてのプログラム]－[PriusサウンドREC]－[PriusサウンドREC]をクリック

▼[PriusサウンドREC]画面が表示されます。

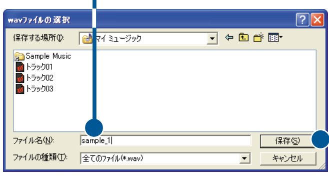


終了するときは、ここをクリックします。

4 [参照]ボタンをクリック

▼[wavファイルの選択]画面が表示されます。

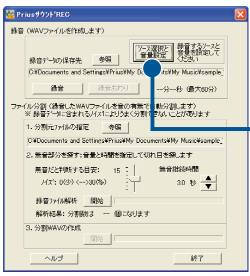
5 録音するwavファイルを保存するフォルダーを指定し、ファイル名を入力



6 [保存]ボタンをクリック

▼[PriusサウンドREC]画面に戻り、[参照]ボタンの下に入力したファイル名が表示されます。

7 録音する音声を調節するために、アナログ機器で音声を再生する



8 [ソース選択と音量設定]ボタンをクリック

▼[録音コントロール]画面または[Recording Control]画面が表示されます。

表示される画面は機種によって異なります。

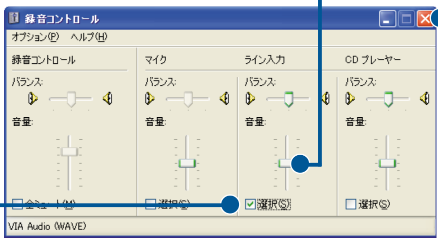
9 [ライン入力]の[選択]の左の☐をクリックし☑にする

▼音声が再生されます。

機種によっては、[Line]や[Line in]の[選択]の左の☐を☑にしてください。

10 スライドバーをドラッグして音量を調節する

画面例



11 [×]ボタンをクリック

▼画面が閉じます。

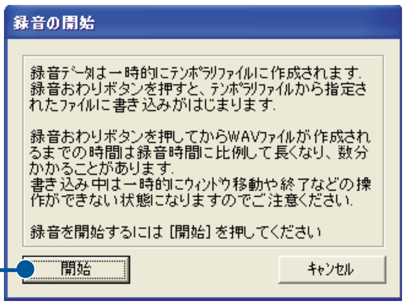
12 アナログ機器で、再生を停止し、録音する音声の開始位置(頭出し位置)まで戻す

13 [録音]ボタンをクリック

▼[録音の開始]画面が表示されます。



14 [開始]ボタンをクリック



15 アナログ機器で録音する音声を再生する

▼録音が始まります。

16 [録音おわり]ボタンをクリック

▼録音が終了し、録音データが保存されます。

[録音おわり]ボタンが薄くなり、[録音]ボタンが濃くなると、保存が終了します。



重要

◎録音中は一時的にウィンドウの移動や終了などの操作ができません。

ヒント

★PriusサウンドRECの使い方は、[PriusサウンドREC]画面の[ヘルプ]ボタンをクリックすると、参照できます。

CD-R/CD-RWにデータをバックアップする

CD-R/CD-RWにデータをバックアップ◆するときは、「Easy CD Creator」を使います。
データをバックアップするには、CD-R/RWドライブが必要です。

Easy CD Creatorを立ち上げ、バックアップする

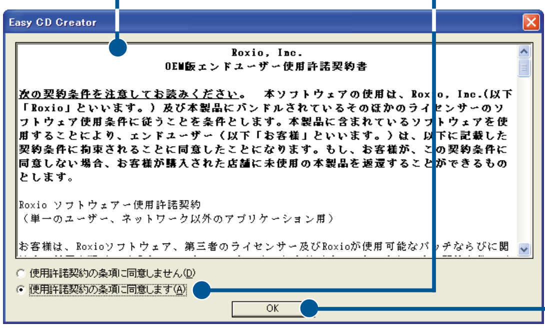
通常、CD-R/CD-RWをCD-R/RWドライブに入れると、Easy CD Creatorが立ち上がります。
ここでは、Easy CD Creatorを立ち上げたあと、CD-R/CD-RWをCD-R/RWドライブに入れ、データをバックアップします。

1 [わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[CD作成]メニュー、[Project Selector]アイテムをクリック

▼[OEM版エンドユーザー使用許諾契約書]画面が表示されます。

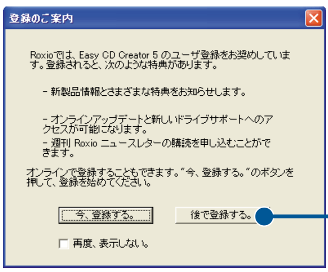
2 契約条件を読む

3 [使用許諾契約の条項に同意します]をクリック



4 [OK]ボタンをクリック

▼[登録のご案内]画面が表示されます。



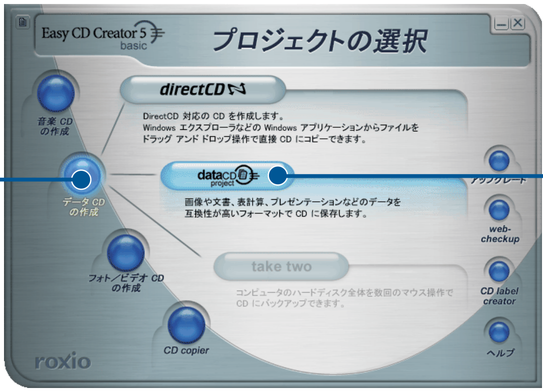
5 [後で登録する。]ボタンをクリック

ヒント
★DirectCDフォーマットユーティリティを立ち上げCD-R/CD-RWをCD-R/RWドライブに入れると、DirectCD用にフォーマットできます。そのCD-R/CD-RWには、「マイコンピュータ」やエクスプローラでファイルのコピーができるようになります。

ヒント
★[OEM版エンドユーザー使用許諾契約書]画面は初回立ち上げ時に表示されます。
次回からは[プロジェクトの選択]画面が表示されます。

ヒント
★[再度、表示しない。]の□をクリックして、□を☑にすると、次回以降この画面が表示されません。

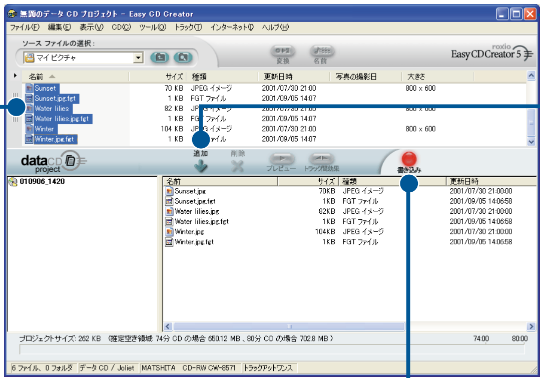
6 [データCDの作成]ボタンをポイント



7 [dataCD]ボタンをクリック

▼[Easy CD Creator]画面が表示されます。

8 バックアップするフォルダーやファイルをクリック



ここをクリックすると、終了します。

9 [追加]ボタンをクリック

▼下のデータCDレイアウトに選択したフォルダーやファイルが表示されます。

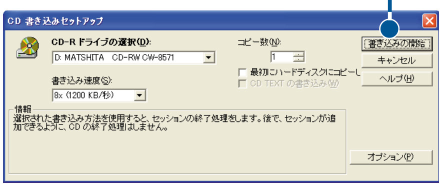
10 CD-R/CD-RWを、CD-R/RWドライブに入れる

11 [書き込み]ボタンをクリック

▼[CD書き込みセットアップ]画面が表示されます。

12 [書き込みの開始]ボタンをクリック

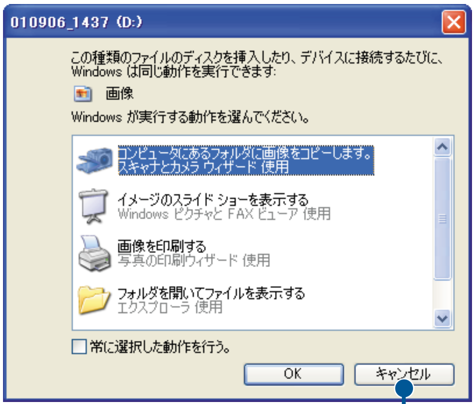
▼[システムテスト]画面に続いて[CD書き込み進行状況]画面が表示され、データのバックアップが始まります。バックアップが終わると、「CDが適切に作成されました。」と表示されます。また、Windowsが実行する動作を選択する画面が表示されます。



重要

◎ CD-RWディスクに8倍速以上で書き込むときは、High Speed対応のディスクを使用してください。

13 [OK]ボタンをクリック



14 [キャンセル]ボタンをクリック

▼データCDプロジェクトの変更を保存する画面が表示されます。



15 [いいえ]ボタンをクリック

ヒント

★[常に選択した動作を行う。]をチェックすると、この選択画面は表示されず、常に選択した動作が実行されます。

CDレーベルを作る

オリジナルのCDやMDのレーベルを作るときは､｢ラベル王｣を使います。
ラベル王を使うと､CDレーベルだけでなく､MDラベルを作ることもできます。
デジタルカメラで撮った写真にタイトルを付けて､オリジナルのラベルが作れます。用紙メーカーから提供されている用紙などを利用します。

ラベル王を使う

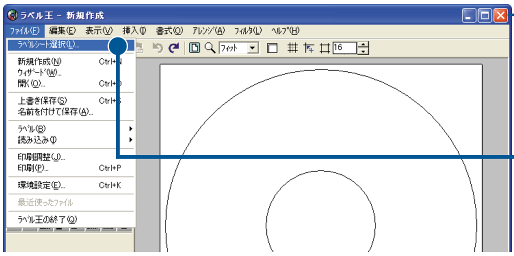
1 [わくわくナビ]画面で､[アプリケーション]を選択し､[CD作成]メニュー､[ラベル王]アイテムをクリック

▼ラベル王が立ち上がり､[新規作成]画面が表示されます。

ヒント

★ ラベル王は､レーベルを作る以外にも､名刺や写真シールなど､いろいろなものが作成できます。
詳しい使い方は､ヘルプをご参照ください。

レーベルを印刷する用紙を選択する



ここをクリックすると､終了します。

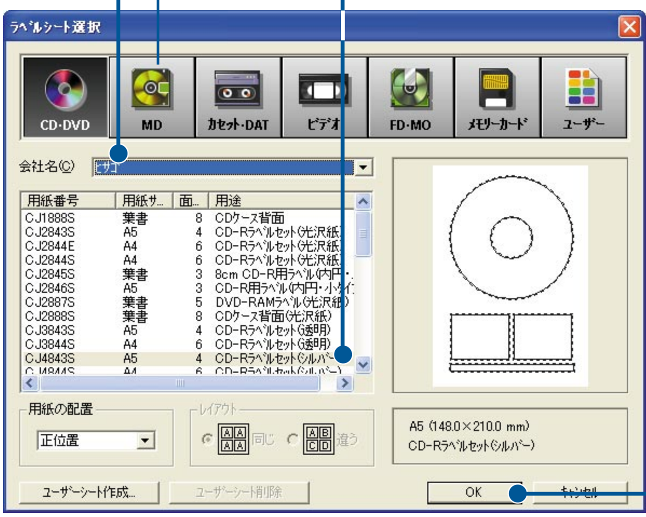
1 [ファイル]メニュー－[ラベルシート選択]をクリック

▼[ラベルシート選択]画面が表示されます。

2 使用する用紙の会社名をクリック

3 使用する用紙をクリック

MDのレーベルを作るときは､ここをクリックします。



4 [OK]ボタンをクリック

▼CDレーベル新規作成画面が表示されます。

ヒント

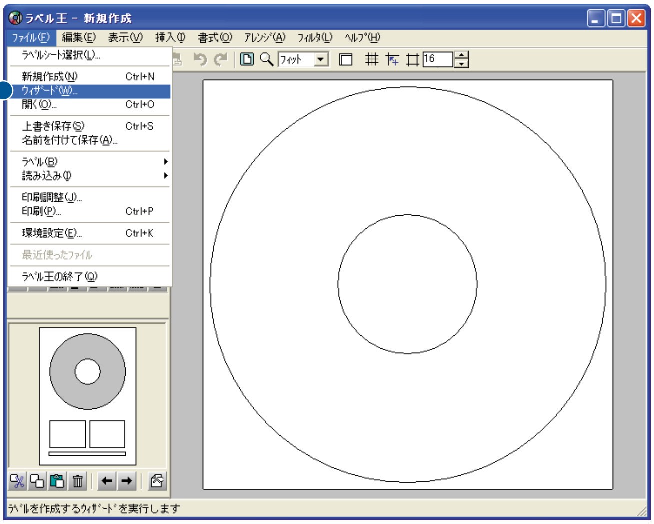
★ 印刷に使用する用紙は､市販されています。印刷方法やCDへのはり方は､用紙に付属の説明をご参照ください。

★ 使用する用紙が用紙一覧にない場合は､ラベル王のホームページ(http://www.fanfare.co.jp/library/library_locdsheet.html)をご参照ください。

CDレーベルを作る

1 [ファイル]メニュー－[ウィザード]をクリック

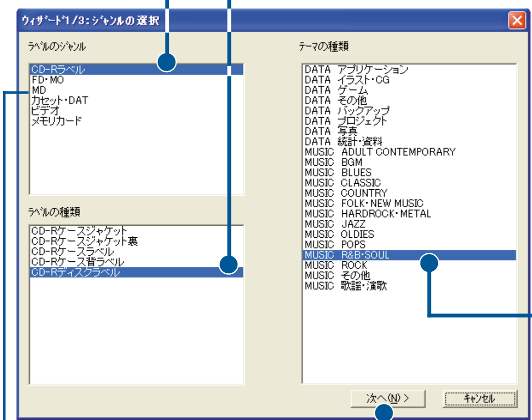
▼[ウィザード1/3:ジャンルの選択]画面が表示されます。



2 [CD-Rラベル]をクリック

3 [CD-Rディスクラベル]をクリック

4 テーマをクリック

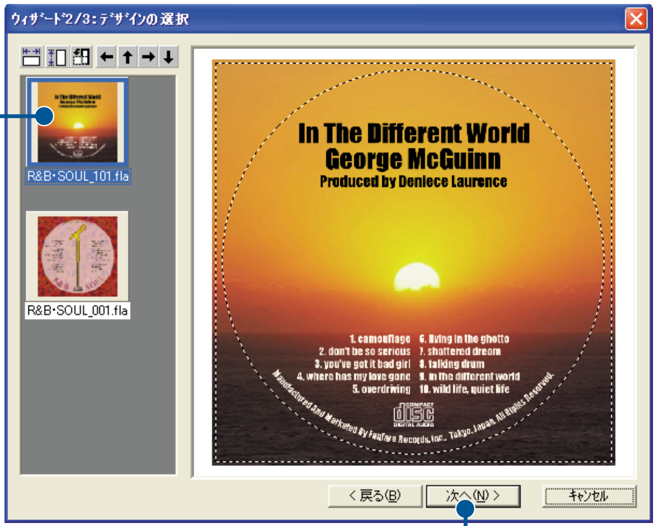


MDのレーベルを作るときは、ここをクリックします。

5 [次へ]ボタンをクリック

▼[ウィザード2/3:デザインの選択]画面が表示されます。

6 デザインをクリック



7 [次へ]ボタンをクリック

▼[ウィザード3/3:ラベル情報の入力]画面が表示されます。

8 タイトル、アーティスト、内容などを入力



9 [完了]ボタンをクリック

ヒント

★デザインは、前画面の[テーマの種類]で選択した項目に応じて変わります。[戻る]ボタンをクリックすると、テーマを選択し直すことができます。

CDレーベルを印刷する

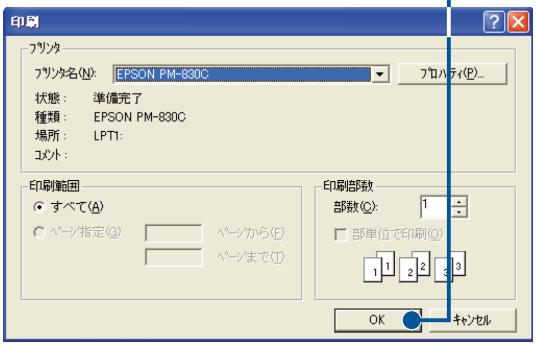
1 [ファイル]メニュー－[印刷]をクリック

▼[印刷]画面が表示されます。



2 [OK]ボタンをクリック

▼CDレーベルが印刷されます。



ヒント

★ 印刷するにはプリンターが必要です。

★ 新規作成画面に表示されたタイトルなどを修正するときは、[文字]アイコンをクリックし、修正する文字を選択し、[再編集]ボタンをクリックします。

DVDホームシアターを楽しもう

パソコンにテレビを接続すると、テレビの大画面でDVDの映像を楽しむことができます。
パソコンにヘッドホンをつなぎ、ドルビーヘッドホン機能を使うと、臨場感のあるサウンドでDVDを楽しむことができます。

ここでは、テレビでDVDを見る方法などを紹介します。

重要
◎ Prius770、570、530は、テレビには接続できません。

テレビ、ヘッドホンを接続する

パソコンの電源を切った状態で、テレビ、ヘッドホンを接続します。接続する操作方法は、『パソコン応用』3章の「家庭用テレビを接続する」、「ヘッドホン、マイクを接続する」をご参照ください。

表示先をテレビにする

DVDをテレビで見られるようにしましょう。

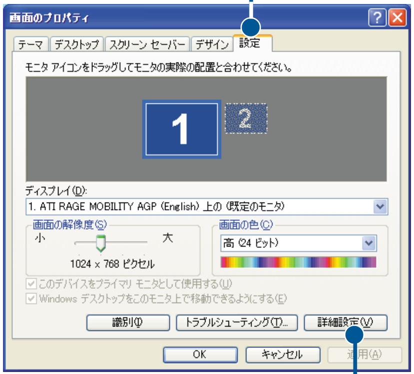
ここでは、パソコンに接続したテレビにDVD再生画像を表示できるようにしましょう。

1 **[スタート]ボタン－[コントロールパネル]をクリック**
▼[コントロールパネル]画面が表示されます。

2 **[画面]アイコンをダブルクリック**
▼[画面のプロパティ]画面が表示されます。



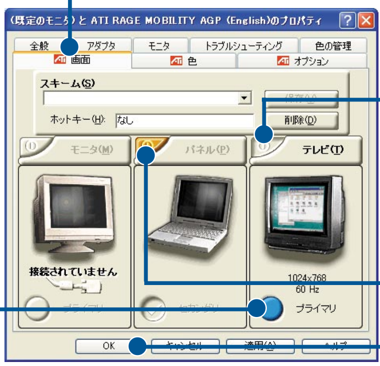
3 [設定]タブをクリック



4 [詳細設定]ボタンをクリック

5 [画面]タブをクリック

[画面]タブの表示は、接続されているディスプレイによって異なります。



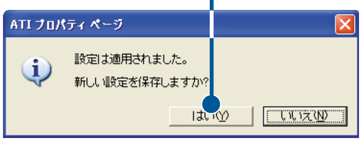
6 [テレビ]の を クリック

7 [パネル]の を クリック

8 [テレビ]のボタンをクリック

9 [OK]ボタンをクリック

10 [はい]ボタンをクリック



ヒント

★[画面]タブが表示されていない場合や、[テレビ]の項目が画面に表示されていない場合は、テレビが接続されていることをご確認ください。そのあと、パソコンを立ち上げ直して、同じ操作を行ってください。

ヒント

★テレビを接続していないと、[テレビ]は表示されません。

参照

表示位置や明るさ、コントラストの設定→『パソコン応用』3章の「家庭用テレビを接続する」「テレビ画面の調整」

重要

◎テレビを接続している場合、画面の表示は、パソコンのディスプレイかテレビのどちらか一方になります。

◎テレビの をクリックすると、パネルがプライマリーからセカンダリーに、テレビがプライマリーになります。テレビがセカンダリーのままのときは、ボタンをクリックしてプライマリーにしてください。

DVDを見る

DVDを見る場合、TV機能付きモデル(以下、TVモデル)では「Prius Navistation」(以下、Navistation)を使います。TV機能なしモデル(以下、TVなしモデル)では「WinDVD」を使います。

TVモデル

1 **[わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[テレビ・録画]メニュー、[Prius Navistation]アイテムをクリック**

▼[Prius Navistation]画面が表示されます。

2 **DVDをDVD-ROMドライブまたは、DVD-RAM/Rドライブに入れ、▶をクリック**

▼NavistationにDVDが再生されます。



3 **停止するときは、■をクリック**

4 **DVDを取り出すときは、⏏の上の● をクリック**

TVなしモデル

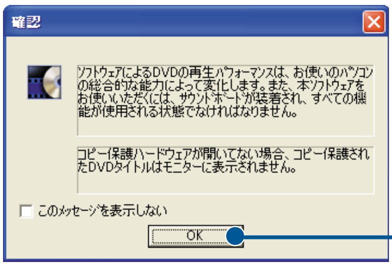
●DVDを再生する

通常、DVD-ROM&CD-R/RWマルチドライブやDVD-RAM/RドライブにDVDを入れると、WinDVDが自動的に立ち上がり、再生されます。

●WinDVDを立ち上げ、設定を変える

ドルビー対応ヘッドホン◆を使うときは、次のようにして立ち上げ設定を変更します。

1 **[わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[実用ソフト]メニュー、[InterVideo WinDVD]アイテムをクリック**



2 **[OK]ボタンをクリック**

ヒント
★TVモデルには、WinDVDは入っていません。Navistationでご覧ください。TVなしモデルには、Navistationは入っていません。WinDVDでご覧ください。

ヒント
★テレビの表示が見にくいときは、[画面のプロパティ]画面で調整することができます。詳しい操作は、『パソコン応用』3章の「家庭用テレビを接続する」「テレビ画面の調整」をご参照ください。

ヒント
★Navistationの使い方は、『始めよう！ TVエンターテインメント』4章の「DVDを見てみよう」をご参照ください。

ヒント
★ご購入時に、自動的に再生する設定になっています。

ヒント
★[このメッセージを表示しない]の□をクリックして☑にすると、次回以降この画面が表示されません。

3 [プロパティ]ボタンをクリック

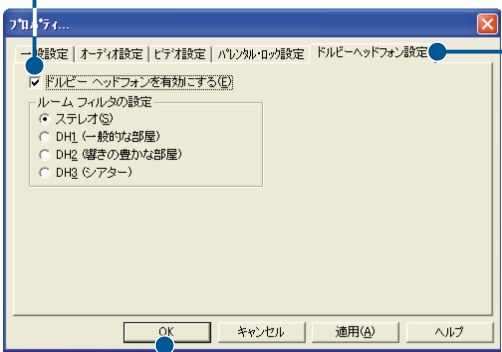
▼[プロパティ]画面が表示されます。



ここをクリックすると、終了します。

4 [ドルビーヘッドフォン設定]タブをクリック

5 [ドルビーヘッドフォンを有効にする]をクリックし、□を☑にする



6 [OK]ボタンをクリック

重要

◎ [一般設定]タブの「地域(リージョン)コード設定」については、[2.西ヨーロッパ、日本、南アフリカ]から変更しないことをお勧めします。
本設定はDVD-ROM&CD-R/RWマルチドライブやDVD-RAM/Rドライブにハードウェア的に記録されるもので、最大4回まで変更できるようになっています。
4回目の変更を行ったあとは、最後に設定したリージョンに固定され、DVD-ROM&CD-R/RWマルチドライブやDVD-RAM/Rドライブを交換しない限り、リージョンを変更することができなくなります。この場合、製品の保証期間内であっても有償での修理になります。
日本国内向けのDVDのタイトルは[2.西ヨーロッパ、日本、南アフリカ]ですので、通常変更する必要はありません。

映像や音声を再生する

ストリーミングファイルの映像や音声の再生には、「BeatStream」を使います。

BeatStreamを使う

1 「音楽CDを録音する」の「BeatJamを使う」の手順1を行う

2 メインプレーヤー画面で、[ストリーミング]ボタンをクリック

▼BeatStreamのプレーヤーと、ブラウザウィンドウが立ち上がります。



3 お好みのジャンルを選び、チャンネルをクリック

プレーヤー



ブラウザウィンドウ

4 一覧からアクセスしたいホームページをクリック

▼ブラウザウィンドウにホームページが表示され、ストリーミングファイルが再生されます。
のついたホームページを選ぶと、ストリーミングファイルを自動的に再生できます。

ヒント

★再生するストリーミンファイルの関連付けを行う
ストリーミングファイルの種類を関連付けしておくと、ブラウザなどでストリーミングファイルのリンクをクリックしたとき、BeatStreamが立ち上がり、再生することができます。

1. プレーヤーで[MENU]をクリックし、[オプション]を選ぶ
2. [関連付け]タブで、再生したいストリーミングファイルの種類の □ を☑ にする
3. [OK]をクリックする
4. ブラウザで ☑ にした種類のストリーミングファイルのリンクをクリックする

BeatStreamで映像や音声が再生されます。

★BeatStreamで再生できるストリーミングファイル
BeatStreamで再生できるWindows Media形式のファイルは、Windows Mediaオーディオファイル(.asf.asx.wm.wmx)と、Windows Media オーディオ・ビデオファイル(.wmv)です。詳しくはヘルプをご参照ください。

重要

◎ストリーミングファイルは保存できません。

3 旅先までの交通費と交通手段を調べよう

出発地から目的地までの交通手段を調べたり、最速の乗り継ぎ経路を探すときは、「ハイパーダイヤ」を使います。
「ハイパーダイヤ」を使うと、次のようなことができます。

- **出発日と時刻、出発地、目的地から検索した結果を、所要時間順に表示し、運賃、乗り換え時間、料金など、必要に応じて表示する。**
- **どの電車を利用すると、最短の所要時間になるかを調べる。**
- **駅名が不明なときは、利用する路線や会社名で駅を選べる。**
- **到着時間を指定して、出発便を調べる。**

ここでは、ハイパーダイヤの使い方などを紹介します。

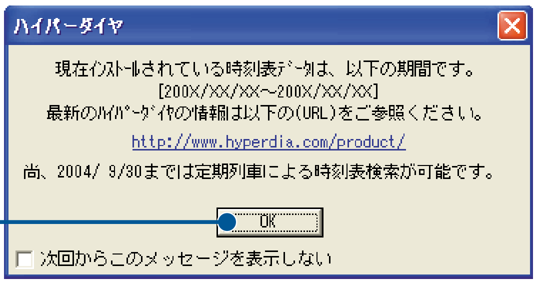
重要
◎ Prius570、530、200には、「ハイパーダイヤ」は入っていません。

ハイパーダイヤを立ち上げる

ハイパーダイヤを立ち上げましょう。

1 [わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[▼]ボタン、[実用ソフト]メニュー、[ハイパーダイヤ]アイテムをクリック

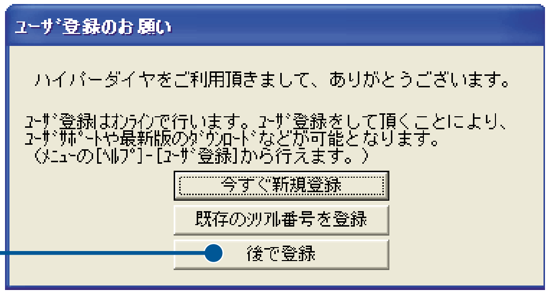
2 [OK]ボタンをクリック
▼[ユーザー登録のお願い]画面が表示されます。



ヒント
★ [次回からこのメッセージを表示しない]の □ をクリックし ☑ にすると、左のメッセージが次回から表示されません。

3 [後で登録]ボタンをクリック

▼[ハイパーダイヤ]画面が表示されます。





終了するときは、ここをクリックします。

ヒント

★［ユーザ登録のお願い］画面は、2回目以降は表示されません。
あとでユーザー登録をオンラインで行う場合は、［ヘルプ］メニューから登録してください。

3

一番早く着く経路を調べる

東京・新宿から金沢まで、一番早く到着する経路を調べましょう。

1 [出発地]欄に半角ローマ字で駅名を入力

▼[駅選択]画面が表示されます。

ここでは、「sinjyuku」を入力します。



2 出発地の駅名をダブルクリック

▼[出発地]に選択した駅名が表示されます。

3 [目的地]欄に出発地と同じようにして目的地を指定

4 カレンダーで出発日をクリック

5 [出発時刻]の[時]の▼をクリック

6 出発の「時」をクリック

7 「時」と同じようにして、出発の「分」を指定する



8 [検索開始]ボタンをクリック

▼[検索結果経路]画面に一番早く着く経路が表示されます。

ヒント

★目的地を複数指定すると、指定した目的地をすべて経由する経路を探します。

ヒント

★年月日を指定して出発日を決めるときは、カレンダーの上の[200X年XX月XX日]ボタンをクリックします。[探索基準日設定]画面で年月日を指定し、[設定]ボタンをクリックすると、出発日が指定されます。

9 [②]タブをクリック

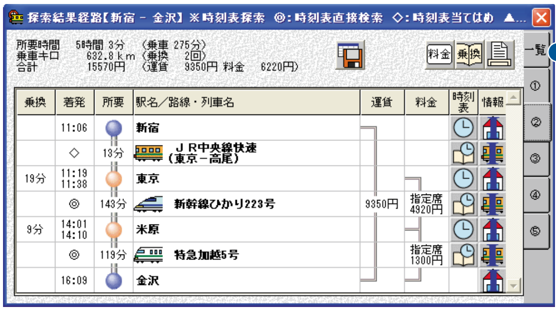
▼二番目に早く着く経路が表示されます。

[③]タブ、[④]タブ、[⑤]タブをクリックすると、所要時間順に経路が表示されます。



10 [一覧]タブをクリック

▼探した経路の一覧が表示されます。



11 検索画面に戻るときは、❎をクリック



3

ほかのアプリケーションを使おう

パソコンには、これまで紹介した以外にもいろいろなアプリケーションが用意されています。

ここでは、これらのアプリケーションを簡単に紹介します。

事典で調べる

症状や病名から応急手当ての方法や健康のことを調べたいときは、「家庭の医学」を使います。

「家庭の医学」で調べる

症状から病気を調べるときは「一般的な症状」から、応急手当てを調べるときは「応急手当て」などから、病名がはっきり分かっているときは「索引」から調べると便利です。

1 [スタート]ボタンー[すべてのプログラム]ー[時事通信社 家庭の医学 デジタル第II版]ー[家庭の医学]をクリック

▼「家庭の医学」のタイトル画面が表示されたあと、メニュー画面が表示されます。

2 症状から調べるときは、[一般的な症状]ボタンをクリック



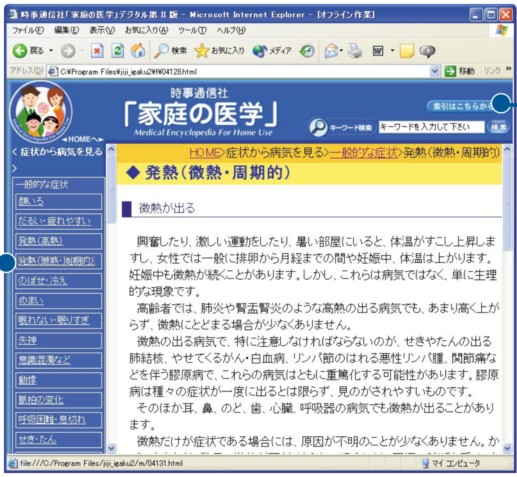
重要
◎Prius770、570、530には、「家庭の医学」は入っていません。

ヒント
★タイトル画面から自動的に左の画面にジャンプしないときは、タイトル画面中央の「ＳＫＩＰ」をクリックしてください。

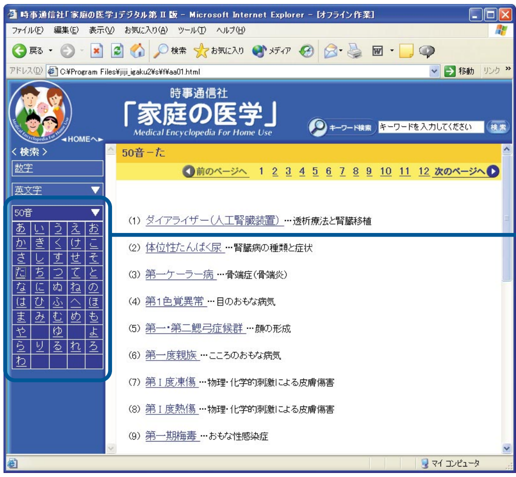
ヒント
★[使い方]ボタンをクリックすると、家庭の医学の詳しい使いかたが表示されます。

3 調べたい症状をクリック

▼症状の説明と関連する病名が表示されます。病名をクリックすると、詳しい説明が表示されます。



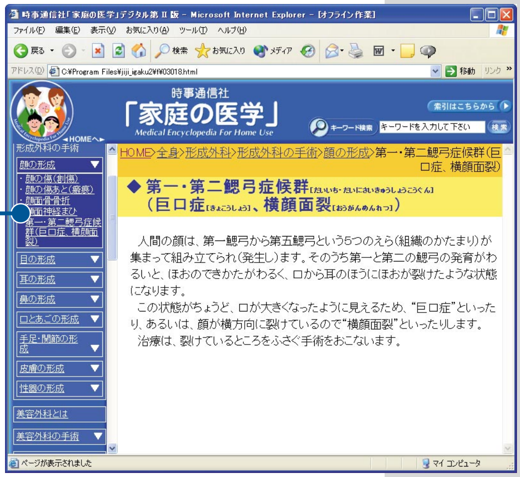
4 病名から調べたいときは、[索引はこちらから]ボタンをクリック



5 「50音」をクリックし、病名のある最初の文字の50音をクリック

6 調べたい病名をクリック

▼説明が表示されます。



ヒント

★応急手当の方法を調べるときは、メニューの[応急手当て]をクリックします。症状に合わせた応急手当の方法が調べられます。

ヒント

★1つ前の画面に戻るときは[戻る]ボタンをクリックします。

ヒント

★説明文中の青字で下線のある病名などをクリックすると、その病名の説明画面が表示されます。

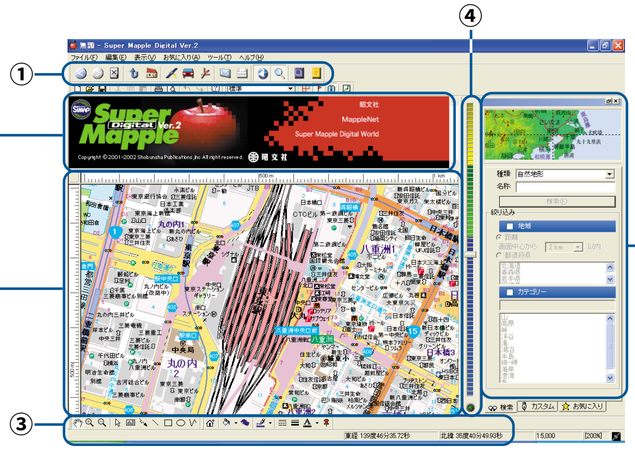
地図で場所を調べる

場所を知りたいときには、「Super Mapple Digital」を使います。

「Super Mapple Digital」で場所を検索する

1 **[スタート]ボタン－[すべてのプログラム]－[昭文社 Super Mapple Digital Ver.2]－[Super Mapple Digital]をクリック**

カスタム情報プレビュー
インターネット上のWebページなどを表示する画面(ブラウザ)です。
「昭文社」の文字をクリックすると昭文社のWebページが表示されます。



地図の表示画面
地図上には「情報記入・ルート作成」などを行った結果が表示されます。

①マップバー
地図の拡大・縮小・移動や保存・印刷・略地図作成などを行うときに使用します。

②エクスプローラバー
施設等の検索やカスタム情報、お気に入りの整理を行うことができます。
地図画面では、現在表示されている位置が＋マークで表示されています。日本全国の位置をダブルクリックすると地図画面が移動します。

③コマンドバー／カスタム情報バー／ステータスバー
情報書込み時に使用したり、選択した機能の説明などが表示されます。

④ズームバー
地図の拡大・縮小に利用します。

重要
◎Prius770、570、530には、「Super Mapple Digital」は入っていません。
◎Super Mapple Digitalはセットアップされていません。セットアップしてご使用ください。

参照
セットアップ方法について→『パソコン応用』4章の「ご購入時の状態に戻すには」の「3 アプリケーションをセットアップする」、「添付ソフトウェアのCD-ROMからセットアップ」

ヒント
★詳しい説明は、ヘルプをご覧ください。

2 [種類]で検索したい項目を選択

3 [名称]に検索したい物件名を入力



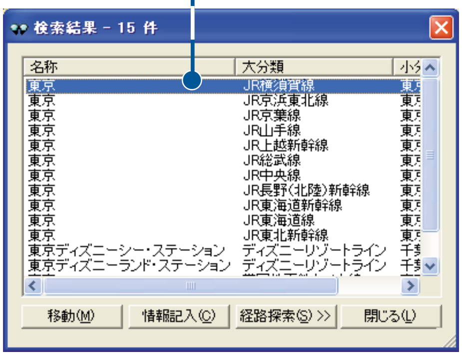
4 [検索]ボタンをクリック

▼検索結果が表示されます。

検索したい物件の名称があいまいな場合は、キーワード１文字だけでも検索することができます。

5 探したい名称をダブルクリック

▼ 地図画面に探したい物件が表示されます。
表示されたら、[閉じる]ボタンをクリックしてください。



ヒント

★「絞り込み」を使用するとより早く正確に検索できます。

家計簿をつける

パソコンで家計簿をつけるときは、「らくらく家計簿ゆとりちゃん(以下、ゆとりちゃん)」を使います。
ここでは、新しい家計簿の作り方や簡単な家計簿のつけ方を説明します。

新しい家計簿を作る

1 [わくわくナビ]画面で[アプリケーション]を選択し、[▼]ボタン、[実用ソフト]メニュー、[ゆとりちゃん5]アイテムをクリック

▼[らくらく家計簿ゆとりちゃん:[表紙]]画面が表示されます。



2 [▼]をクリック

3 [《新しい家計簿》]をクリック

4 [家計簿を開く]ボタンをクリック

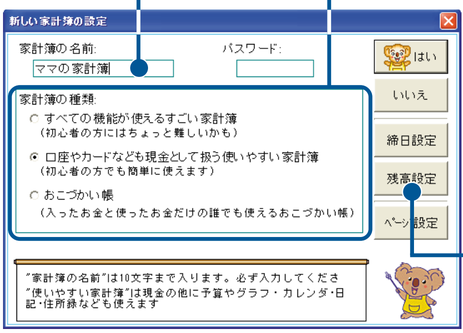
▼[新しい家計簿の設定]画面が表示されます。

5 家計簿の名前を入力

全角10文字(半角20文字)以内で入力します。

6 作りたい家計簿の◯をクリックして◉にする

選んだ家計簿の種類によって、家計簿を作成する画面が異なります。
ここでは、[口座やカードなども現金として扱う使いやすい家計簿]を例に説明します。



7 [残高設定]ボタンをクリック

▼[家計簿の残高設定]画面が表示されます。

重要

◎Prius570、530、200には、「らくらく家計簿ゆとりちゃん」は入っていません。

重要

◎「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーしか立ち上げられません。

ヒント

★「らくらく家計簿ゆとりちゃん」の詳しい使い方は、ヘルプまたはマニュアルをご参照ください。

★「ゆとりちゃん5ユーザーズマニュアル」を参照するときは、[わくわくナビ]画面で[困ったときに]を選択し、[実用ソフト]メニューをクリックしてください。

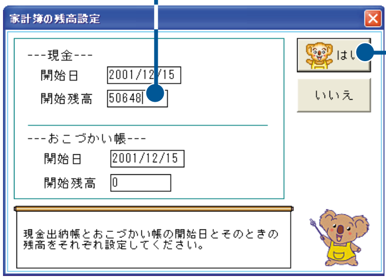
ヒント

★サンプルとして「ゆとりちゃんの家計簿」という家計簿が1つ登録されています。
名前を変えて新しい家計簿を作ることもできます。

ヒント

★家計簿の種類は、家計簿を開いたあとでも変更することができます。

8 現金の開始残高を半角で入力

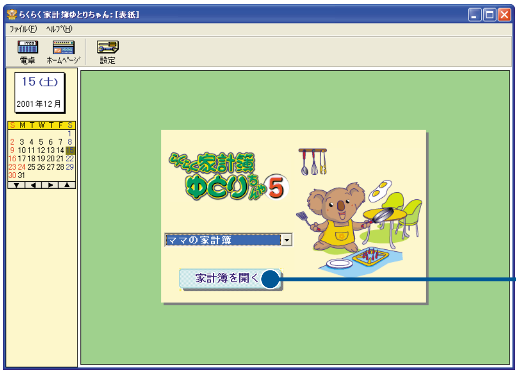


9 [はい]ボタンをクリック

▼[新しい家計簿の設定]画面に戻ります。

10 [はい]ボタンをクリック

▼[表紙]画面に戻ります。



11 [家計簿を開く]ボタンをクリック

▼[ママの家計簿]画面が表示されます。

重要

◎ 金額や日付などの数字は、必ず半角の数字で入力してください。全角の数字で入力すると正しく認識されません。

ヒント

★ 家計簿の名前を変えたり設定を変更するときは、[表紙]画面で変更する家計簿を選択します。[ファイル]メニュー－[家計簿の設定変更]をクリックし、[家計簿の設定変更]画面で設定を変更します。

家計簿をつける

ここでは、1日の食費などを入力してみましょう。

1 [現金]タブをクリック

2 [費目]欄の一番上のセルをクリック

▼費目の一覧が表示されます。



終了するときは、ここをクリックします。

3 [食費]をクリック

▼費目に[食費]と入力され、[内訳]の一覧画面が表示されます。

ヒント

★ [現金]タブでは、その日の買い物の内訳や収入、支出金額を入力します。支出の合計金額や残高などが計算されます。

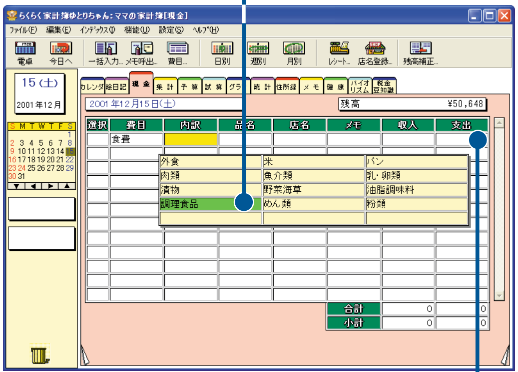
★ [費目]では、「食費」や「交通費」などといった大きな分類を一覧から選びます。

★ [内訳]では「魚介類」や「タクシー代」などより具体的な内容を一覧から選びます。

★ [品名][店名][メモ]は必要に応じて入力します。

4 [調理食品]をクリック

▼内訳に[調理食品]と表示され、[品名]にカーソルが移動します。



5 必要に応じて[品名]、[店名]、[メモ]を入力

入力しないときは、[Enter]キーを３回押す

6 金額を半角で入力

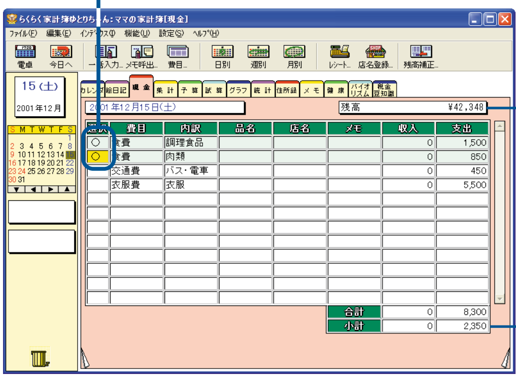
7 同じようにデータを入力

小計を見る

入力した支出項目の合計額や残高を見てみましょう。

1 小計を出す行の左端のセルをクリック

▼選択した行の合計額が計算され、小計欄に表示されます。



小計を出すと、総残高から合計額を引いた現在の残高が自動的に計算されます。

食費の合計金額が表示されます。

ヒント

★ 収入を入力するときは、費目一覧で[収入]か[雑収入]を選択します。

ヒント

★ [支出]欄のセルを直接クリックしてもカーソルを移動できます。

ヒント

★ [合計]欄にはその日の支出や収入の合計額が表示されます。

★ [小計]欄には、選択している項目の支出や収入の合計額が表示されます。

自分のホームページを作る

自分のホームページを作って、インターネットに公開しましょう。
ホームページを公開するには、入会しているプロバイダーにホームページ開設を申し込む必要があります。
ここでは、ホームページ開設を申し込み、FTP◆のサーバー名やアカウント、パスワードの取得が済んでいることにします。
ホームページを作るには、「ホームページNinja」を使います。

ヒント
★ホームページを開設できるかはプロバイダーにお問い合わせください。

新しいホームページを作る

写真を入れた旅行記のホームページを作ります。

1 **[わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[インターネットツール]メニュー、[ホームページNinja]アイテムをクリック**

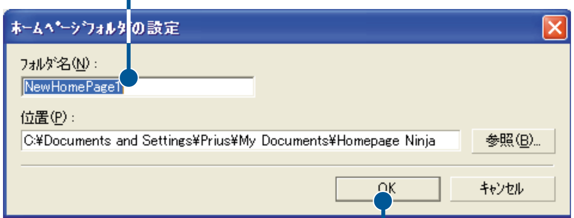
▼[ホームページNinja]画面が表示されます。



2 **[ウィザードを使わない]ボタンをクリック**

▼[おまかせウィザード]画面が表示されます。

3 **ホームページのフォルダー名を入力**



4 **[OK]ボタンをクリック**

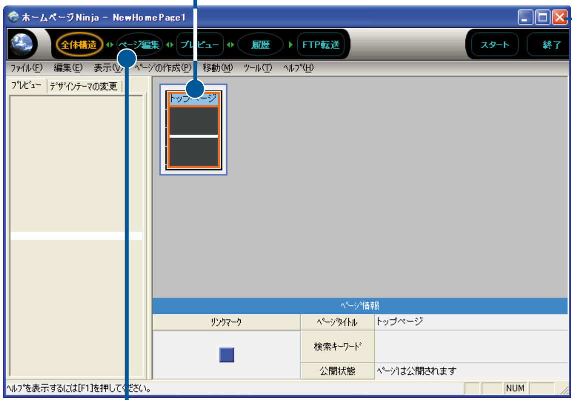
▼作成したホームページが表示されます。

ヒント
★ホームページのフォルダーには、作成するホームページや材料の画像などが自動的に作られます。
★ホームページのフォルダーの場所を変更するときは、[参照]ボタンをクリックし指定します。

タイトルを入力する

ホームページのタイトルを入力します。

1 [トップページ]をクリック



ここをクリックすると、終了します。

2 [ページ編集]をクリック

3 タイトルを入力

4 文字をドラッグして選択

5 文字の飾り、サイズ、色、左右の揃えを設定



写真を入れる

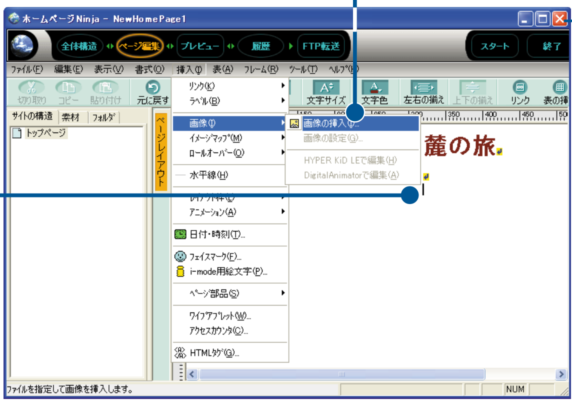
ホームページに写真を入れます。

1 [→]キーを押し、[Enter]キーを2回押す

▼改行されます。

2 [挿入]メニュー－[画像]－[画像の挿入]をクリック

▼[画像の挿入]画面が表示されます。



ここをクリックすると、終了します。

3 画像のあるフォルダーを指定する

ここでは、[マイドキュメント]の[Homepage Ninja]フォルダーの[sample]フォルダーを指定します。

4 挿入する画像をクリック

5 [開く]ボタンをクリック

▼画像が原寸のまま挿入されます。



ヒント

★ホームページに使う写真などの画像は、あらかじめ新しいフォルダーを作り、コピーしておきます。

6 写真を右クリック



7 [画像の設定]をクリック

▼[画像の設定]画面が表示されます。

8 [幅]の をクリックし にし、写真の幅を入力



9 [高さ]の をクリックし にし、写真の高さを入力

10 [OK]ボタンをクリック

▼写真が指定したサイズで表示されます。

ヒント

★大きいサイズの写真は、ホームページを表示するときに時間がかかります。見やすい大きさに縮小してください。

アルバムのページを作る

写真とコメントを入れるアルバムのページを作ります。

1 **[全体構造]ボタンをクリック**

▼全体構造を編集する画面が表示されます。

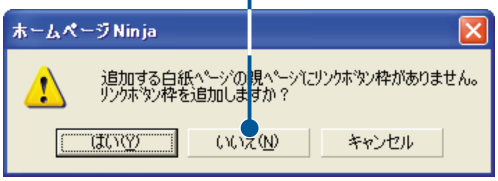
2 **[ページの作成]メニュー－[白紙ページ]をクリック**

▼リンクボタン枠追加のメッセージが表示されます。



3 **[いいえ]ボタンをクリック**

▼新しいページが作成されます。





ヒント

★ [はい]ボタンをクリックすると、新しいページとリンクするボタンとメール送信用のボタンが自動的に作成されます。

タイトルを入力する

アルバムのページのタイトルを入力します。

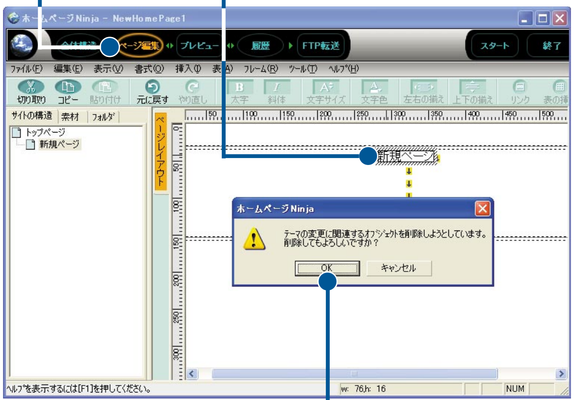
1 [ページ編集]ボタンをクリック

▼ページ編集の画面に切り替わります。

2 [新規ページ]をクリック

3 [Delete]キーを押す

▼削除確認のメッセージが表示されます。



4 [OK]ボタンをクリック

5 タイトルを入力し、「タイトルを入力する」と同様に文字をレイアウトする



6 「写真を入れる」と同様に、写真を挿入し縮小する

既存のHTMLファイルを利用する

既存のHTMLファイルの本文をコメントとして利用します。

1 コメントを挿入する位置にカーソルを移動する

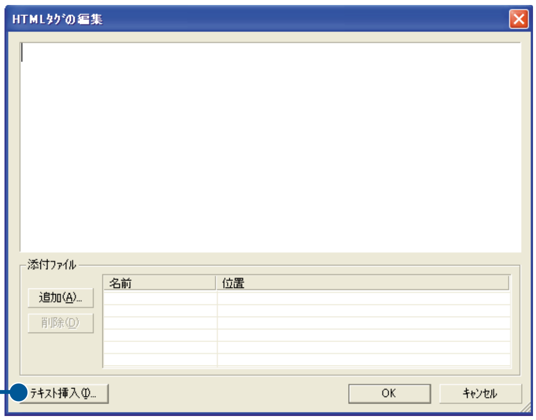


2 [挿入]メニュー－[HTMLタグ]をクリック

▼[HTMLタグの編集]画面が表示されます。

3 [テキスト挿入]ボタンをクリック

▼[ファイルを開く]画面が表示されます。

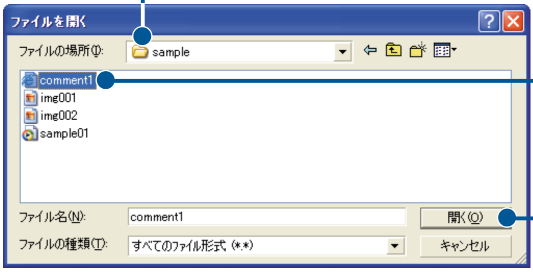


ヒント

★ 既存のHTMLファイルの内容を、ホームページNinjaの機能を使って編集することはできません。[HTMLタグの編集]画面でHTMLタグを使用して編集するか、利用する前に既存のHTMLファイルを他のエディタで編集してください。

★ 既存のHTMLファイルをそのまま利用するときは、[全体構造]ボタンをクリックし、トップページを選択し、[ページの作成]メニュー－[白紙ページ]をクリックして白紙ページを作成します。このあと、ページ編集画面で[挿入]メニュー－[HTMLタグ]をクリックしてHTMLファイルを挿入します。

4 既存のHTMLファイルのあるフォルダーを選択する

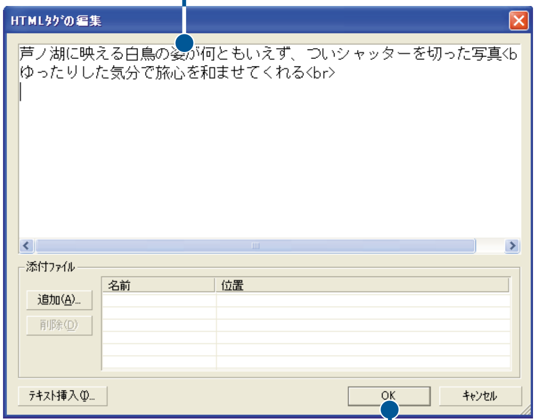


5 既存のHTMLファイルをクリック

6 [開く]ボタンをクリック

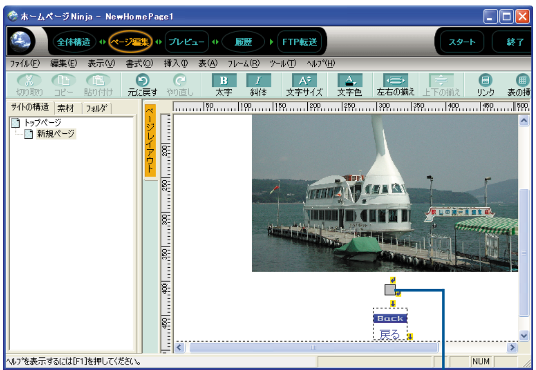
▼[HTMLタグの編集]画面に選択したHTMLファイルの内容が表示されます。

7 HTMLファイルを編集する



8 [OK]ボタンをクリック

▼HTMLタグが挿入されます。



挿入されたHTMLタグを示します。

ヒント

★ 挿入したHTMLタグの内容は □ で表示されます。内容を確認するときは、[プレビュー]ボタン、[ブラウザでページをプレビュー]ボタンをクリックしてインターネット エクスプローラで見てください。

音楽を鳴らす

アルバムのページを開いたときに音楽が鳴るようにします。

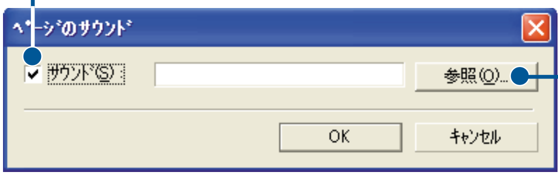
ヒント
★サウンドファイルはあらかじめ作成してください。



1 **[書式]メニュー－[ページのサウンド]をクリック**

▼[ページのサウンド]画面が表示されます。

2 **[サウンド]の□をクリックし、□を☑にする**



3 **[参照]ボタンをクリック**

▼[ファイルを開く]画面が表示されます。

4 **音楽データのフォルダーを選択する**

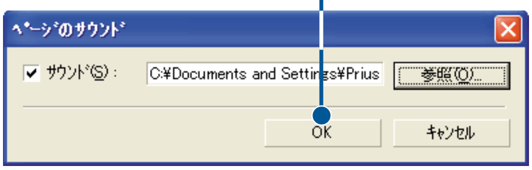


5 **音楽データをクリック**

6 **[開く]ボタンをクリック**

7 **[OK]ボタンをクリック**

▼ページを開くと音楽が鳴る設定になります。



ヒント
★WAVE形式やWMA形式の音楽データを鳴らすときは、[ファイルの種類]で[すべてのファイル形式(*.*)]を選択します。

リンクを設定する

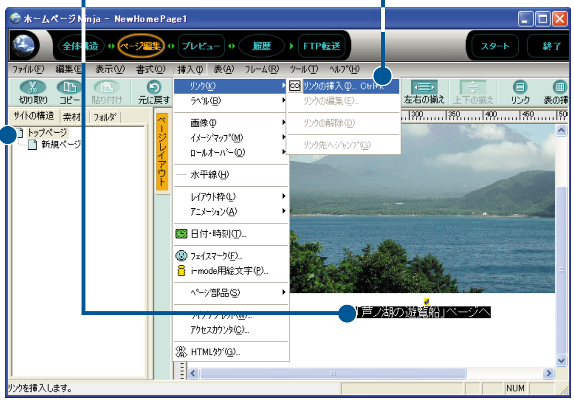
トップページに「「芦ノ湖の遊覧船」ページへ」を入力し、「芦ノ湖の遊覧船」ページにリンクを設定します。

1 [トップページ]をクリック

2 「「芦ノ湖の遊覧船」ページへ」を入力し選択する

3 [挿入]メニュー－[リンク]－[リンクの挿入]をクリック

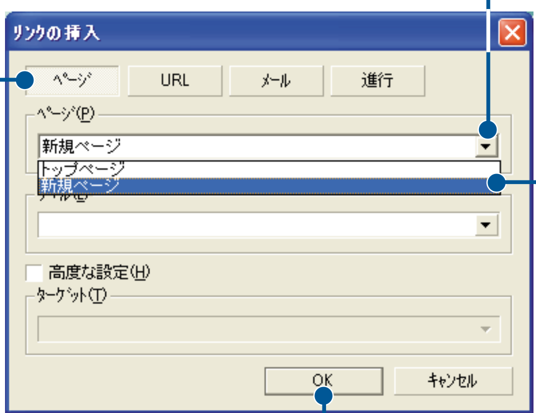
▼[リンクの挿入]画面が表示されます。



4 [ページ]ボタンをクリック

5 [ページ]の[▼]をクリック

6 リンクするページをクリック



7 [OK]ボタンをクリック

▼選択した文字にリンクが設定され、下線付きの青文字に変わります。

ヒント

★「新規ページ」などのページタイトルは、[書式]メニュー－[ページタイトル]をクリックして変えることができます。

作ったホームページをブラウザで見る

1 [プレビュー]ボタンをクリック

2 [ブラウザでトップページからプレビュー]ボタンをクリック





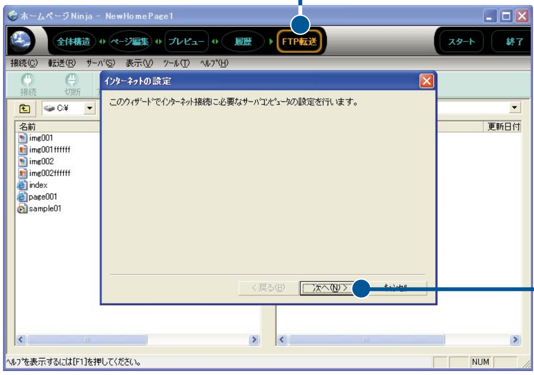
ここをクリックすると、プレビューが終了します。

ホームページを公開する

ホームページ開設を申し込んで指定されたサーバーにアップロードして、ホームページを公開します。

1 [FTP転送]ボタンをクリック

▼[インターネットの設定]画面が表示されます。

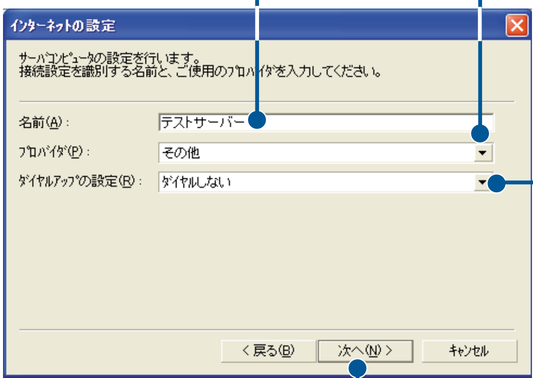


2 [次へ]ボタンをクリック

3 サーバー名を入力

ここでは、「テストサーバー」と入力します。

4 [▼]ボタンをクリックし、プロバイダーを選択する



5 [▼]ボタンをクリックし、ダイヤルアップの設定を選択する

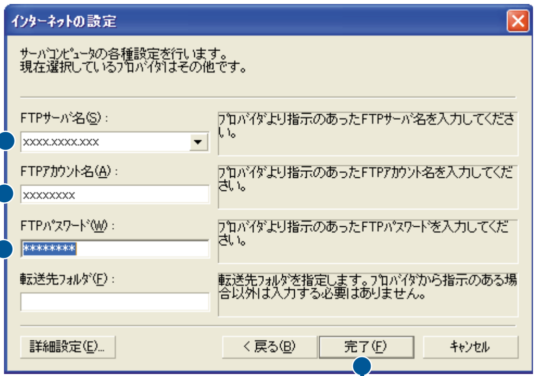
6 [次へ]ボタンをクリック

ヒント

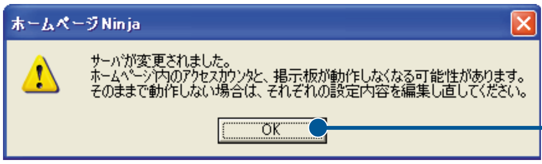
★ プロバイダー名がリストにないときは、[その他]を選択します。

★ ADSL接続では[ダイヤルアップの設定]で[ダイヤルしない]を選択します。

7 FTPサーバー名、FTPアカウント名、FTPパスワードを入力



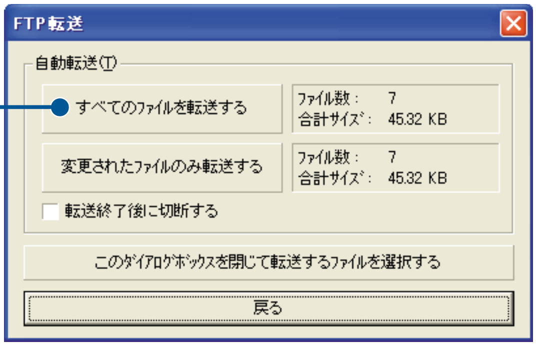
8 [完了]ボタンをクリック



9 [OK]ボタンをクリック

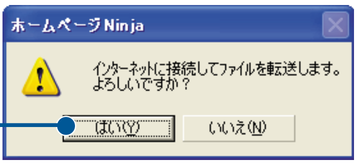
▼[FTP転送]画面が表示されます。

10 [すべてのファイルを転送する]ボタンをクリック



11 [はい]ボタンをクリック

▼サーバーに転送され、終了すると「転送が終了しました」と表示されます。



12 [OK]ボタンをクリック

▼ホームページが公開されます。

13 インターネット エクスプローラを立ち上げ、自分のホームページのURLを入力

▼自分のホームページが表示されます。

ヒント

★FTPサーバー名、FTPアカウント名、FTPパスワードは、ホームページ開設手続きで通知されたものです。

★転送先フォルダーを指定されたときは、[転送先フォルダ]に入力します。

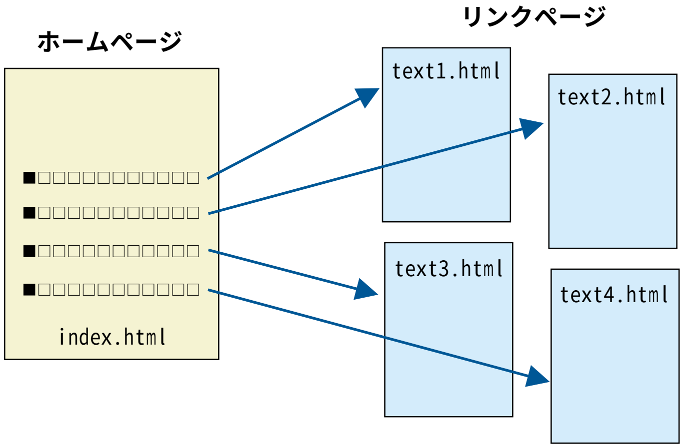
ヒント

★更新したファイルのみを転送するときは、[変更されたファイルのみ転送する]ボタンをクリックします。

iモード用のホームページを作る

株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ(以下、NTTドコモ)のiモード用のホームページを作るときは、「i-Maker for Win(以下、i-Maker)」を使います。作成したホームページは、ドリームネットに開設したPLAZAサーバーにアップロードして公開することができます。

ここでは、次のようなホームページとリンクページを作ります。



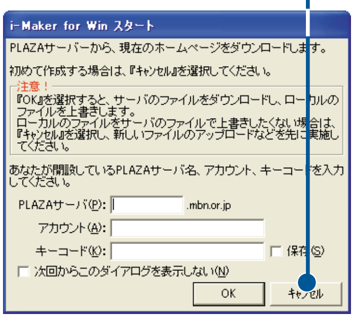
i-Makerを立ち上げる

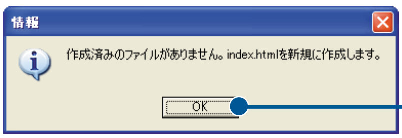
1 **[わくわくナビ]画面で[アプリケーション]を選択し、[インターネットツール]メニュー、[i-Maker for Win]アイテムをクリック**

▼[i-Maker for Win スタート]画面が表示されます。

2 **[キャンセル]ボタンをクリック**

はじめてホームページを作るときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。





3 **[OK]ボタンをクリック**

▼[i-Maker for Win]画面が表示されます。

重要

◎i-Makerで作成したホームページをアップロードして公開するためには、ドリームネットに加入し、DREAM★PLAZAにホームページを開設する必要があります。

参照

ドリームネットについて→『始めよう！ インターネット』1章の「ドリームネットに加入する」

ヒント

★i-Makerで作成したホームページをPLAZAサーバーにアップロードすると、自動的にURL登録され、DREAM iサーチで検索できます。

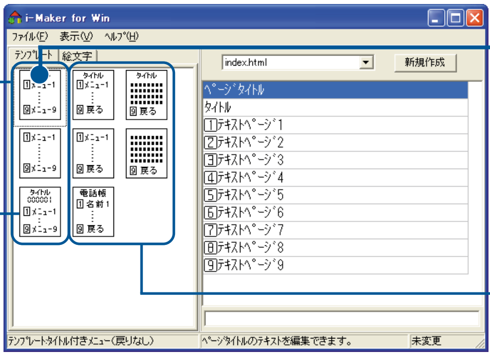
ヒント

★アップロードしていない作成済みのホームページを編集するときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。

★PLAZAサーバーにアップロードしたホームページをダウンロードして編集するときは、PLAZAサーバー名、アカウント、キーコードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

★[次回からこのダイアログを表示しない]の□をクリックし☑にすると、左のメッセージが次回から表示されません。

ホームページを作る



ホームページ用のテンプレート

アクセスカウンタ付きのテンプレート

リンクページ用のテンプレート

1 ホームページ用のテンプレートをクリック



2 「ページタイトル」をダブルクリック

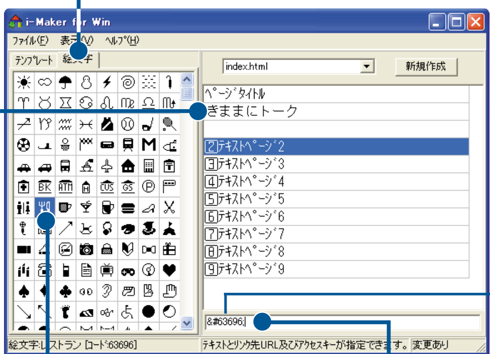
変更すると、「未変更」から「変更あり」に変わります。

3 ページタイトルを入力し、[Enter]キーを押す

▼1行目にページタイトルが表示されます。

4 同じようにしてタイトルなどを入力

5 絵文字を入力するときは、[絵文字]タブをクリック



絵文字のコード番号

6 絵文字をダブルクリック

7 文字を入力し、[Enter]キーを押す

ヒント

★ページタイトルはブラウザーのウィンドウタイトルに表示されます。ホームページには表示されません。

ヒント

★タイトルはホームページのタイトルです。

ヒント

★空白行は、スペースを1文字入力し、[Enter]キーを押します。

★行の削除は、行を選択し、右クリックし、[行削除]をクリックします。

ヒント

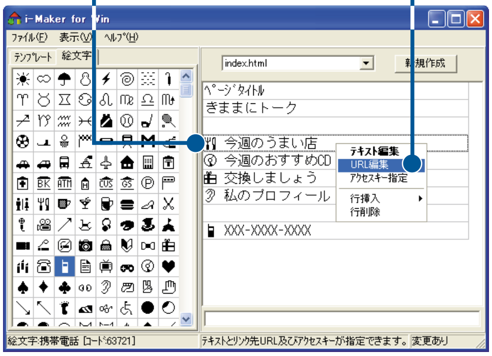
★絵文字とは、iモードで表示できる特殊な文字です。パソコンでは「」などと表示されます。

リンクページのURLを指定する

ホームページからリンクするページのURLを指定します。

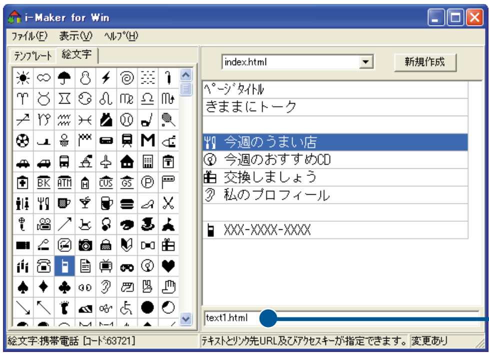
1 リンクさせる行をクリック

2 右クリックし、[URL編集]をクリック



3 リンク先のページのファイル名を入力

ここでは、「text1.html」と入力します。



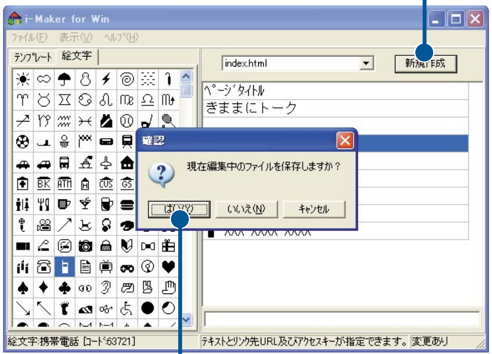
ヒント

★リンク先を指定した行は、ホームページでは下線付きで表示されます。

リンクページを作る

1 [新規作成]ボタンをクリック

▼ファイル保存のメッセージが表示されます。

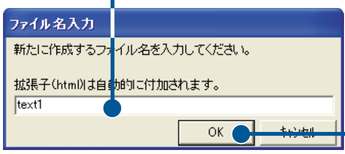


2 [はい]ボタンをクリック

▼[ファイル名入力]画面が表示されます。

3 ファイル名を入力

ここでは、「text1」と入力します。

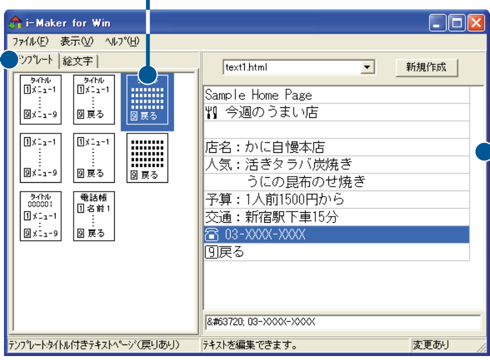


4 [OK]ボタンをクリック

▼新しいホームページ作成画面が表示されます。

5 [テンプレート]タブをクリック

6 リンクページ用のテンプレートをダブルクリック



7 リンクページを作る

ヒント

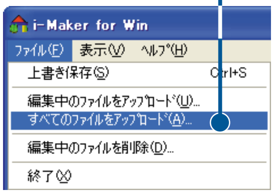
★リンクページ用のテンプレートの「9 戻る」には、ホームページ(index.html)へのリンクが指定されます。

PLAZAサーバーにアップロードする

作成したホームページとリンクページをPLAZAサーバーにアップロードし、公開します。

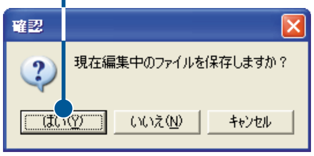
1 [ファイル]メニュー－[すべてのファイルをアップロード]をクリック

▼ファイル保存のメッセージが表示されます。

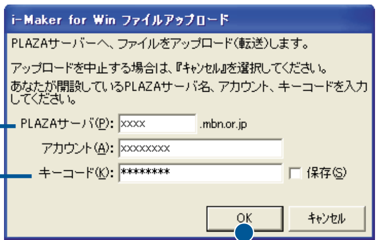


2 [はい]ボタンをクリック

▼[i-Maker for Win ファイルアップロード]画面が表示されます。



3 PLAZAサーバー名、アカウント、キーコードを入力



4 [OK]ボタンをクリック

▼ドリームネットのホームページサーバーにデータが転送されます。

このあと、ドリームネットにアクセスすると、作成したホームページを確認できます。

ヒント

★作成したホームページは、C:\Program Files\MBN\i-Maker for Win\iDocにあります。アップロードする前にパソコンでホームページの内容をご確認ください。
絵文字はパソコンでは正しく表示されません。

★ダウンロードして更新したホームページをアップロードすることができます。更新したページを表示し、[ファイル]メニュー－[編集中のファイルをアップロード]をクリックします。

ヒント

★[保存]の左の□をクリックし☑にすると、次回からこの画面が表示されず、自動的にアップロードされます。

★アップロードしたページを削除して公開をやめるときは、そのページを画面に表示し[ファイル]メニュー－[編集中のファイルを削除]をクリックします。ローカルファイルの削除確認のメッセージで[いいえ]ボタンをクリックします。PLAZAサーバーのファイル削除確認のメッセージで[はい]ボタンをクリックします。

コンピューターウイルスをチェックする

ハードディスクやフロッピーディスクなどがコンピューターウイルス（以下、ウイルス）に感染しているかどうかをチェックするときは、「VirusScan」を使います。
VirusScanを使うと、ウイルスを検出したとき、ウイルスを除去したり、感染ファイルを削除することもできます。ウイルスを検出する日時を指定することもできます。

ウイルスは、ディスクのプログラムや、パソコンのメモリーに常駐しているプログラムなどに感染します。そのあと、ファイルやプログラムの消去、パソコンの誤動作などを起こします。

VirusScanを使う

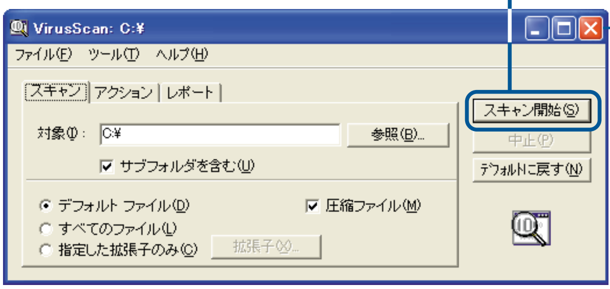
VirusScanを使うときは、次のようにします。

1 [スタート]ボタンー[すべてのプログラム]ー[Network Associates]ー[McAfee VirusScan]をクリック

▼VirusScanの画面が表示されます。

2 [スキャン開始]ボタンをクリック

▼ドライブCの検出が始まります。
検出が終わると、下に検出結果が表示されます。



ここをクリックすると、終了します。

VirusScanの自動検出を止める

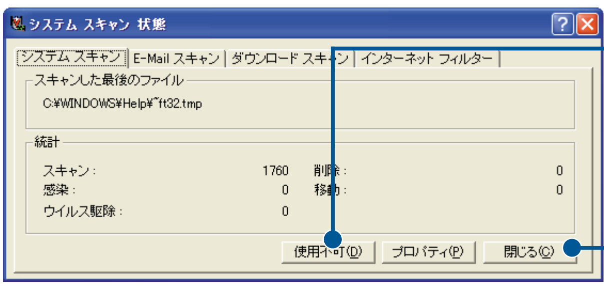
VirusScanの自動検出を停止するときは、次のようにします。

1 タスクバー右の をダブルクリック

▼[システムスキャン状態]画面が表示されます。

2 [使用不可]ボタンをクリック

3 [閉じる]ボタンをクリック



重要

◎「VirusScan」はご購入時セットアップされていません。ご使用になる前にアプリケーションCDを使ってセットアップしてください。
セットアップの方法は『パソコン応用』4章の「アプリケーションのセットアップ」をご参照ください。

ヒント

★VirusScanの使い方は、手順2の画面の[ヘルプ]メニューをクリックしてヘルプをご参照ください。

ヒント

★日本ネットワークアソシエイツ株式会社では、ユーザー登録を行っていただいたお客様に、サポートセンターによる1年間の無償サポートを行っています。
技術情報や技術的なお問い合わせについて対応いたします。
さらに、新種ウイルスの検出・駆除に必要なウイルス検出エンジンSuperDATのダウンロードサービスも行っています。180日間無償でアップグレードできます。
詳しくは、[スタート]ボタンー[すべてのプログラム]ー[Network Associates]ー[ウイルススキャン ユーザー登録]をご参照ください。

コンピュータウイルスの検出日時を指定する

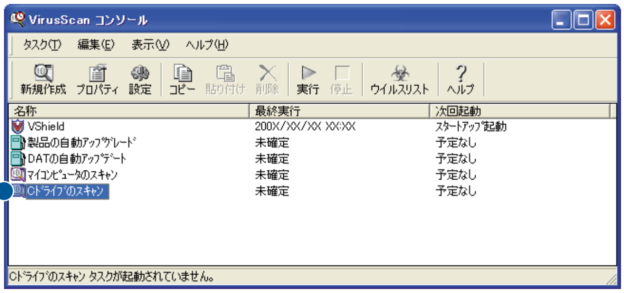
ウイルスを検出する日時を指定するには、次のようにします。
ここでは、毎日決まった午後9時に自動的にウイルスを検出するように設定します。

1 タスクバー右の  をダブルクリック

▼[VirusScan コンソール]画面が表示されます。

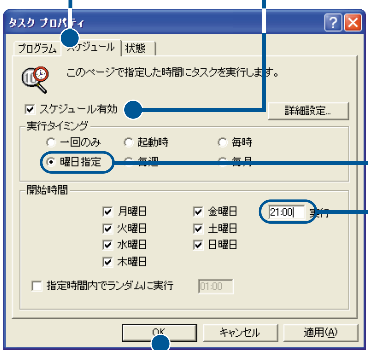
2 ドライブCを検出するときは、[Cドライブのスキャン]をダブルクリック

▼[タスクプロパティ]画面が表示されます。



3 [スケジュール]タブをクリック

4 [スケジュール有効]の左の □ をクリックし ☑ にする



5 [曜日指定]をクリック

6 [21:00]を入力

7 [OK]ボタンをクリック

ゲームをする

囲碁、将棋、麻雀やそのほかいろいろなゲームで楽しく遊べます。
ここでは、各ゲームの立ち上げ方を説明します。

囲碁

1 **[わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[▼]ボタン、[ゲーム他]メニュー、[AI囲碁]アイテムをクリック**

▼囲碁の画面が表示されます。



ここをクリックすると、終了します。

将棋

1 **[わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[▼]ボタン、[ゲーム他]メニュー、[AI将棋]アイテムをクリック**

▼将棋の画面が表示されます。



ここをクリックすると、終了します。

麻雀

1 [わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[▼]ボタン、[ゲーム他]メニュー、[AI麻雀スタンダード]アイテムをクリック

▼麻雀の画面が表示されます。



ここをクリックすると、終了します。

そのほかのゲーム

1 [わくわくナビ]画面で、[アプリケーション]を選択し、[▼]ボタン、[ゲーム他]メニューをクリック

2 遊びたいゲームをクリック

ヒント

★[スタート]ボタン－[すべてのプログラム]－[ゲーム]をクリックし、遊びたいゲームをクリックしてもゲームを楽しめます。

付録

3 用語集

英字

■C

CD-R/RWドライブ
データを書き込みできるCD-R、データの書き込みや消去ができるCD-RWを扱える装置。CD-ROMの映像や音も再生できます。

■D

DVD-RAM/Rドライブ
データを一度だけ書き込みできるDVD-Rや、データの書き込みや消去ができるDVD-RAMを扱える装置。DVD-ROMやCD-ROMの映像や音も再生できます。

DVD-ROMドライブ
音や映像を再生するDVD-ROMを扱える装置。CD-ROMの映像や音も再生できます。

DVD-ROM&CD-R/RWマルチドライブ
データを書き込みできるCD-R、データの書き込みや消去ができるCD-RW、音や映像を再生するDVD-ROMを扱える装置。CD-ROMの映像や音も再生できます。

■F

FTP
ネットワークでファイルを転送するための取り決めです。

■M

MD
2.5型の磁気光ディスクを使った記憶媒体。音声を保存できます。

MPEG形式
圧縮されたカラー動画データの形式。DVD-Videoなどに利用されています。

■P

PCカードスロット
PCカードを装着します。

POPアカウント
電子メールをメールサーバーから読み出すための、利用者の登録情報。

■S

SMTPサーバー
電子メールを配信するサーバーのこと。メールサーバーともいいます。

■U

UDF形式

DVD-RAMディスクのフォーマット形式。1.02、1.5、2.0の3種類があり、OSによって対応していない形式があります。

■V

VRO形式

DVD-RAMでビデオレコーディングを可能にするためのファイル形式。
この形式で書き込むと、DVD-RAMビデオレコーダーやDVD-RAMカメラで保存した映像を見ることができます。

■W

WAVE形式

Windows標準のサウンドファイル形式。

■あ

アイコン

アプリケーションやデータなどを絵柄で分かりやすくしたもの。

アプリケーション

パソコンを使って文章を書いたり絵を描いたりするなど、それぞれの目的を行うためのプログラムのこと。応用ソフトやソフト、APなどと呼ばれることもあります。

一括セットアップ

パソコンの動作が不良になったときなどに、買ったときとほぼ同じ状態に戻すこと。同梱の「一括インストールCD」を使ってセットアップします。

インストール

アプリケーションをパソコンで使えるように、パソコンに組み込む作業のこと。アプリケーションをパソコンから削除することをアンインストールといいます。

■か

クリック

マウスのボタンやポインティングパッドのクリックボタンを1回押すこと。メニューやアイコンなどを選択するときに行います。

コンパクトフラッシュカード

PCカードよりさらに小さいサイズで大容量データを記録できるようにしたカード。パソコンによっては、PCカードアダプターに差し込んでからPCカードスロットにセットします。

■さ

ショートカット

アプリケーションを素早く立ち上げるためのアイコン。ショートカットアイコンは左下に矢印が表示されます。

[スタート]ボタン
Windowsのいろいろな作業を始めるためのボタン。アプリケーションを立ち上げたり、Windowsを終了することができます。

■た

ダウンロード
インターネットを利用して画像データや音楽データなどを、自分のパソコンのハードディスクなどに保存すること。

ダブルクリック
マウスのボタンやポインティングパッドのクリックボタンを2回続けて押すこと。ファイルを開いたりアプリケーションを立ち上げるときに行います。

デスクトップ
アイコンやショートカット、[スタート]ボタンなど、よく使うものが置かれている机のようなもの。

電子メールアドレス
電子メールを届けるための住所のようなもの。

テンポラリーファイル
大きなファイルを扱っているときなどに、一時的に作成される作業用ファイルのこと。通常、操作が終わると、自動的に削除されます。

ドラッグ
マウスのボタンやポインティングパッドのクリックボタンを押しながらマウスポインターを移動すること。

ドルビーヘッドホン
ヘッドホンを接続して、あたかも映画で聴くような立体的な音声をヘッドホンから聴くことができるようにしたもの。

■は

パスワード
プロバイダーに接続するためなどの暗証番号のこと。

バックアップ
パソコンにトラブルが発生したときに備えて、データの予備をCD-R、CD-RW、DVD-RAM、DVD-R、MO(エムオー)やフロッピーディスクに取っておくこと。大切なデータは、定期的にバックアップを取るようにしましょう。

ブラウザー
インターネットのWebサイトを閲覧するためのアプリケーションのこと。代表的なものにInternet ExplorerやNetscape Navigatorなどがあります。

ファイナライズ
UDFフォーマットのDVD-RAMディスクを読み込めないパソコンでも読めるようにすること。ファイナライズすると、ISO9660の情報がDVD-RAMディスクに追加され、パソコンはCDとして認識してデータを読み込むことができます。ただし、CDと認識されるため、データの書き込みができない場合があります。CD-ROMドライブなど、DVD-RAMディスクが読み込めないドライブでは、読み込めません。

フォルダー
ファイルなどを保管するもの。フォルダーの中にフォルダーを入れて階層的に整理することもできます。

フレーム
ホームページを分割する枠のこと。

プロバイダー
インターネットに接続するためのサービスをしている会社のこと。インターネットを利用するにはプロバイダーと契約することが必要です。

ポイント
マウスポインターを移動し目的の位置に合わせること。

ホームページ
インターネットに接続すると表示されるページのこと。ホームページはWWW(World Wide Web)を通して世界中に点在しています。ホームページにあるリンクスポットをクリックすると、別のホームページへ次々にジャンプすることができます。

3 さくいん

3

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに配給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。それ以外の場合は該当ソフトウェア配給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。また、マニュアル中に出てくる各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

Microsoft Windows	Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corp.の米国およびその他の国における登録商標です。
@nifty	@niftyは、ニフティ株式会社の商標です。 Copyright© 1999-2001 NIFTY Corporation. All rights reserved.
AOL	「ＡＯＬ」はAmerica Online,Inc.の商標です。 Copyright© 1999-2001, America Online, Inc.
BIGLOBE	「BIGLOBE」は、日本電気(株)の登録商標です。 Copyright© NEC Corporation 1997-2002
DION	DIONはＫＤＤＩ株式会社の登録商標です。 Copyright© 2001 KDDI Corpration.
ODN	「ＯＤＮ」は日本テレコム株式会社の商標です。 Copyright© 2001 Japan Telecom Co.,Ltd.
So-net	So-net、ソネット、およびSo-netのロゴはソニー株式会社の商標または登録商標です。 Copyright 2001 Sony Communication Network Corporation.Engineered by 2001 Hitachi Software Engineering Co.,Ltd.
AI将棋	AI将棋は(株)アイフォーの登録商標です。 ©1999 HIROSHI YAMASHITA ©1999 i4 CORPORATION
AI囲碁	AI囲碁は(株)アイフォーの登録商標です。 ©1999 David Fotland ©1999 i4 CORPORATION
AI麻雀	AI麻雀は(株)アイフォーの登録商標です。 ©1999 David Fotland ©1999 i4 CORPORATION
デジカメNinja2001	デジカメNinja２001は(株)アイフォーの登録商標です。 ©2000 i4 Corporation
ホームページNinja	Ninjaはアイフォーの登録商標です。 ©2001 i4 CORPORATION ©2001 Fanfare Inc.
SoftDVD MAX	Copyright© 1996-1999 MGI Software Corp.
(ADAMS-EPG)	ADAMSは、テレビ朝日データ(株)の登録商標です。
BeatJam XX-TREME	「BeatJam」は株式会社ジャストシステムの商標です。 Copyright© 2001 株式会社ジャストシステム／DigiOn Inc.
Easy CD Creator 5 Basic	Easy CD Creator、DirectCDはRoxio,Inc.の商標です。 Copyright© 1999-2001 Roxio,Inc. All rights reserved.

DVDit! LE	DVDit! は Sonic Solutions の登録商標です。 ©2001 Sonic Solutions. All rights reserved.
WinDVD 3.1	WinDVDはInterVideo,Incの商標です。 Copyright 2001, InterVideo, Inc. All rights reserved.
ハイパーダイヤ	ハイパーダイヤは(株)日立情報システムズの登録商標です。 Copyright© 1997-2001 (株)日立情報システムズ
VirusScan	VirusScanおよびNetShieldは米国法人Network Associates,Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。 Copyright© 1995 - 2001 Networks Associates Technology, Inc. All Rights Reserved.
Super Mapple Digital	Super Mapple Digital は㈱昭文社の登録商標です。 Copyright© 2001-2002 Shobunsha Publications,Inc.All Right Reserved.
サイバーサポート	CyberSupport、ConceptBaseは株式会社ジャストシステムの商標または登録商標です。 CyberSupport© 2001 株式会社ジャストシステム
Odigo	©Copyright 2001 DreamNet Corporation. All rights reserved.
i-Maker for Win	©Copyright 2001 DreamNet Corporation. All rights reserved.
インターネットCITY (Prius Support Page)	Copyright© 1996-2001 Hitachi, Ltd.
DreaamNet	©Copyright 2002 DreamNet Corporation. All Rights Reserved.
ASAHIネット	Copyright© ASAHI Net,Inc.
isao.net	©ISAO Co. 2000-2001
eAccess	Copyright© 2000-2001. eAccess Ltd. All rights reserved.
MotionDV STUDIO Ver.3.1	Copyright© 1997-2001 Matsushita Electric Industrial Co.,Ltd.
PriusサウンドREC	Copyright© 2001 Hitachi, Ltd.
PriusAVランチャー	Copyright© 2001 Hitachi, Ltd.
DVD-MovieAlbumSE	Copyright© Matsushita Electric Industrical Co.,Ltd. 2000-2002
らくらく家計簿ゆとりちゃん	Copyright© 1995-2000 CORPUS CORPORATION
筆ぐるめ	Copyright© 1993-2001 FujisoftABC,Inc. All rights reserved.
ラベル王	©2001 i4 CORPORATION ©2001 Fanfare Inc.
家庭の医学	©2002 JIJI PRESS, LTD.
調べtel	Copyright© 2000-2001. Hitachi Keiyo Engineering & Systems, Ltd. All rights reserved.
わくわくナビ	Copyright© 1998-2000 Hitachi, Ltd.
Prius Navistation	Copyright© 2000 Hitachi, Ltd.
Prius壁紙	Copyright© 2001 Hitachi, Ltd.

重要なお知らせ

1. 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、禁止されています。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容について、万一ご不審な点や誤りなどお気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響については3項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

始めよう！アプリケーション

初　版　2002年１月

株式会社 日立製作所
デジタルメディアグループ
〒243-0435　神奈川県海老名市下今泉810番地

PR0B732P0-1

3

HITACHI
Inspire the Next

Prius
Bモデル

PR0B732P0-1

Prius Bモデル 3 始めよう! —アプリケーション—

PR0B732P0-1